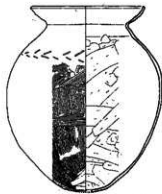


太宰府市の文化財 第35集

太宰府  
佐野地区遺跡群 VII

フケ遺跡第1・2・3・4次調査報告



1997

太宰府市教育委員会

太宰府在野地区遺跡群VII (太宰府市の文化財第35集) 正誤表

ページ	行(NO)	誤	正
15			85以下は1SB245
16		1SX001	1SK001
16	スケール	1m	50cm
17		1SX010	1SK010
17	スケール	1m	50cm
19	1行目	46.327.50	-46.327.50(1SK217)
55	S-44	2SD044	2SX044
69			162.163の左肩に2SK033を挿入
69			164の左肩に2SK095を挿入
70			189の左肩に2SX047を挿入
77			9の左肩に2SX012を挿入
106	22	(S-92)	(S-111)
106	28	R-001	R-006
106	29	(S-92)	(S-111)
110	318	壺	壺
110	319	壺	壺
110	321	壺	壺
110	322 (底径)	9.0	-
110	333 (底径)	4.2	4.2*
111	364 (底径)	-	4.3
111	393 (底径)	-	4.2
111	395 (底径)	-	18.2*
112	454 (高さ)	3.2	4.0
112	455	(S-3)	(S-5)
112	460	(S-112)	(S-23)
112	460 (高さ)	4.1+	3.9+
113	25 (図版番号)	60	61
113	26 (図版番号)	60	61
113	30	R-059	R-058
113	34 (図版番号)	60	61
114	52	○	○を消す
114	62	24-2	消す
114	66 (高さ)	3.0	3.0+
114	77	25-2	26-2
114	79	25-2	26-2
114	80	25-2	26-2
115	90	○(内面はけ)	○(内面けずり)
116	132	R-032	R-051
116	151	28-2	消す
116	155	2SD035(S-35)	2SD042(S-42)
117	193	S-174	S-74
117	202	坏	壺
117	202	R-018	R-011

ページ	行(NO)	誤	正
117	203	壺	坏a×c
117	203	R-003	R-018
118	206	R-002	R-003
118	207 (口径)	9.0*	-
118	207 (高さ)	4.1+	2.4+
118	235	白磁皿IV	白磁皿III
120	1	(S-1)灰色粘土	大溝
120	2	(S-1)灰色粘土	大溝
120	3	(S-1)灰色粘土	大溝
120	4	(S-1)灰色粘土	大溝
120	5	(S-1)灰色粘土	大溝
120	6	(S-1)灰色粘土	大溝
120	6	團型土器	丸型土器
120	10	国産陶器	国産陶器 近世
121	37	(S-92)	(S-111)
121	39	(S-94)	(S-108)
121	39	R-001	R-004
121	42	(S-92)	(S-111)
121	43	(S-92)	(S-111)
122	326	(S-110上層)	(S-110)
122	327	(S-110上層)	(S-110)
122	328	(S-110上層)	(S-110)
122	382	(S-93)	(S-112)
122	382	R-001	R-005
124	(2SD011)	R-003	R-005
124	(2SD011)	R-004	R-006
124	3SK006	(S-16)	(S-6)

宝満山遺跡群II (太宰府市の文化財第34集) 正誤表

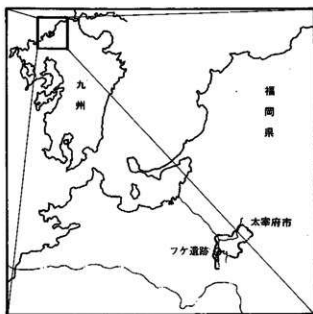
ページ	行(NO)	誤	正
24	11	17	18
38	右上	暗黄褐色土	明黄褐色土

太宰府市の文化財 第33集 辻遺跡 正誤表

P	行	誤	正
34	Fig.26-2		
50	27	蓋c3 (1)	蓋c3 (2)
50	30	「磨」と読むか。	釈読不明。
50	31	坏a (2)	坏a (1)
50	32	釈読不明。	「磨」と読むか。

太宰府  
佐野地区遺跡群 VII

フケ遺跡第1・2・3・4次調査報告



1997

太宰府市教育委員会

## 序

太宰府市の大字向佐野、大佐野地区では土地区画整理事業に伴う発掘調査が昭和62年来よりおこなわれており、今回の報告はその一連の調査の中で大字大佐野字フケでおこなわれたものを収録したものです。

本報告が弥生時代から古墳時代にかけての地域相研究の一助として、また広く文化遺産の保存と啓発に活用していただければ幸いに存じます。

調査及び整理に参加されました作業員の皆様、調査にご理解ご協力いただきました地権者をはじめとする区画整理事業に係わられた皆様に対し厚く御礼申し上げます。

太宰府市教育委員会  
教育長 長野 治己

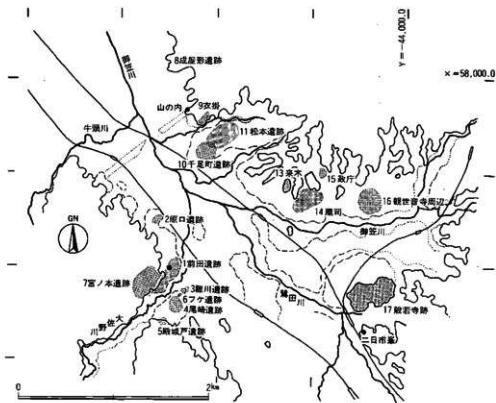
## 例 言

1. 本書は昭和63年度から平成3年度までに太宰府市教育委員会が調査した佐野地区遺跡群内の区画整理事業に伴う発掘調査に関係する調査の成果をまとめたものである。
2. 本書に掲載した調査は、第1次（昭和63年度）、第2次、第3次（平成3年度）、第4次（平成5年度）の4地点の緊急調査である。
3. 本書に掲載した発掘調査の原因、期間、面積、担当者などは各調査の報告部分に記載している。
4. 遺構の実測は各調査担当者がおこなった。写真撮影は狭川真一・城戸康利・山村信榮が、調査区全景の空中写真は（有）空中写真企画がおこなった。  
また遺構全体図は、写真測量による作図をアジア航測株式会社に委託した。
5. 遺構の実測には国土調査法第II座標系を利用した。したがって本書に示される方位は特に注記のない限りG.N.（座標北）を示している。
6. 遺物の実測は山村の他、森田レイ子、山本麻里子、酒井美保子、鶴味加代子、白水文恵、松隈里恵子、相川寿美子、上村英士、塩地潤一がおこない調査担当者が検査の上必要部分を補足した。また遺物写真撮影は山村がおこなった。
7. 図版の浄書は主として実測者と狭川、中島恒次郎、宮崎亮一、谷由紀子が分担しておこなった。
8. 本書の執筆は山村と狭川が、編集は上村、谷の協力のもと山村がおこなった。
9. 本書に使用した図、写真、遺物については一括して太宰府市教育委員会が太宰府市文化ふれあい館で収蔵、管理している。
10. 調査報告の手法については既刊の報告を参照されたい。



## 目次

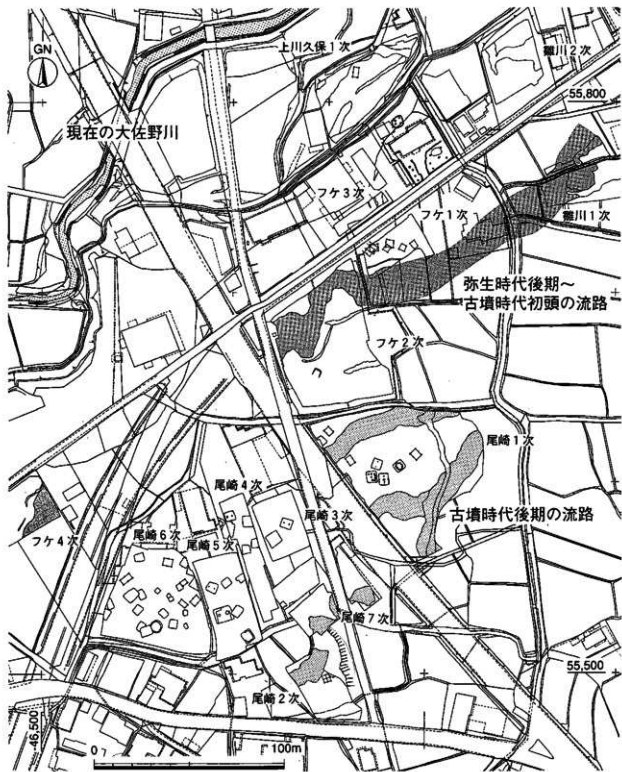
(1) フケ遺跡第1次調査	2
(2) フケ遺跡第2次調査	54
(3) フケ遺跡第3次調査	74
(4) フケ遺跡第4次調査	78
(5) 総括	82
(6) フケ遺跡出土遺物一覧表	83
(7) フケ遺跡出土遺物観察表	106



太宰府市弥生時代遺跡一覧

遺跡名	前期		中期		後期		古墳		
	東谷	坂付1	坂付2宮	坂付3宮	高田1	高田2	前	中	
1 東谷遺跡 (住居)	+	○	●	○		○	○	○	●
2 坂付遺跡 (住居)			●						○
3 高田遺跡 (集落)				●			+	○	○
4 尾崎遺跡 (住居)			+						●
5 東谷遺跡 (墳墓)						○	+		○
6 フタ遺跡 (集落)			+			+		○	○
7 坂ノ本遺跡 (墳墓)									●
8 坂付遺跡 (住居)	○								○
9 坂付 (墳墓)				+		○	+	+	+
10 千足野遺跡 (集落)				○	●				○
11 坂付遺跡 (住居)				○		●			○
12 坂付遺跡 (墳墓)						○	+	+	+
13 坂付 (塚墓?)				○	+	+	+	+	+
14 高田 (塚墓)	○	○	○	○	+	+			+
15 坂付 (集落)				○					+
16 坂付 (集落)			+	+					○
17 坂付 (集落)				○					○
18 坂付遺跡 (集落)				○					○
19 坂付遺跡 (住居)						●	●		○

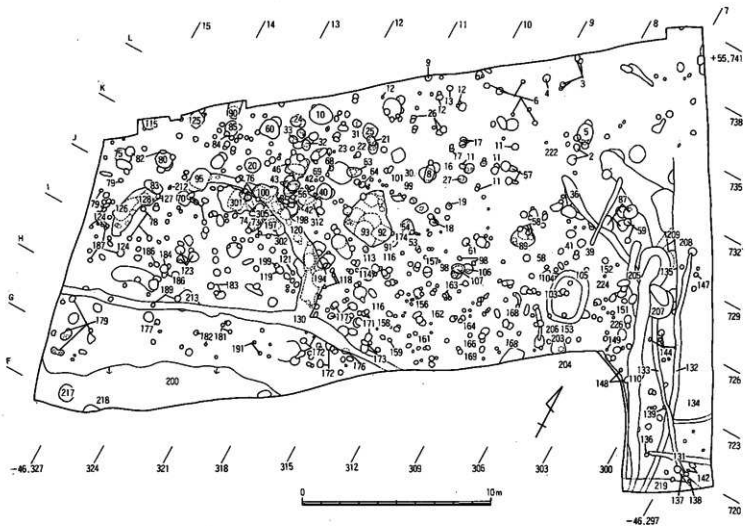
第1図 太宰府市周辺の弥生時代遺跡 (1/40,000)



第2図 調査地周辺の既調査地(1/2,000)



第3図 7ヶ遺跡第1次調査遺構略図(1/200)



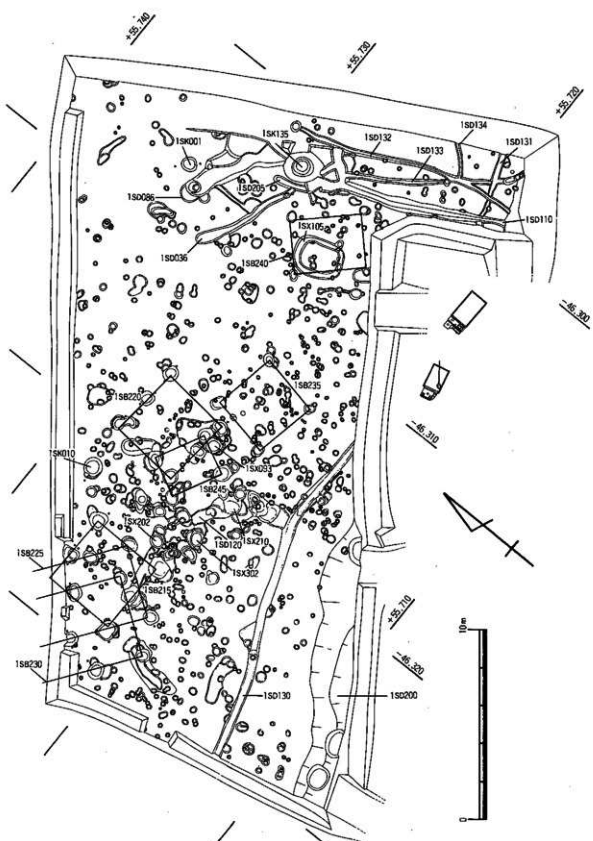
フケ遺跡第1次調査遺構番号台帳(1)

5-番号	遺構番号	種類	台-番	地区
1	18X201	ビッド		M7
2		ビッド群		M8
3		ビッド群		O8
4		ビッド		
5		ビッド		M8
6		ビッド		M9
7		ビッド		M9
8		土層		L12
9		ビッド		M9
10	18X210	ビッド		L12
11		ビッド群		M9
12		ビッド群		M10
13		ビッド		M10
14		ビッド		L11
15	18X220	ビッド		L10
16		ビッド		L10
17		ビッド群		M9
18		ビッド	柱痕あり	M9
19		ビッド	柱痕あり	L9
20	18X226	ビッド		K13
21		ビッド	柱痕あり	L11
22		ビッド		L11
23		ビッド群		L11
24		ビッド	柱痕あり	L12
25	18X226a	ビッド		L11
26		ビッド群		M10
27		ビッド	柱痕あり	L9
28		ビッド		M10
29		ビッド群		M11
30	18X226b	ビッド	30-8	L10
31		ビッド	柱痕あり	L11
32		ビッド	柱痕あり	K13
33		ビッド	柱痕あり	K13
34		ビッド	柱痕あり	L9
35	18X346	ビッド		K11
36	18X346	溝		M7
37		ビッド	柱痕あり	M7
38		ビッド群		M7
39		ビッド群		L9
40	18X226c	ビッド		K13
41		ビッド群		L9
42		ビッド群		K12
43		ビッド群		K12
44		ビッド		K12
45		ビッド		K11
46		ビッド	46-44	K12
47		ビッド		K11
48		ビッド	48-10	L12
49		ビッド		L11
50	18X346a	ビッド		K11
51		ビッド	5-49の柱痕あり?	L11
52		ビッド群	柱痕あり	K10
53		ビッド		K10
54	18X226d	ビッド群	54-22	K10
55		ビッド		K11
56		ビッド		K9
57		ビッド群		M8
58		ビッド群		L8
59		ビッド群		M6
60	18X226e	ビッド		K13

5-番号	遺構番号	種類	台-番	地区
61		ビッド		M9
62		ビッド		
63		ビッド		K11
64		ビッド		K11
65	18X226f	ビッド		J13
66		ビッド		K11
67		ビッド		K11
68		ビッド群		K11
69		ビッド		K11
70	18X226g	ビッド		J13
71		ビッド群		J12
72		ビッド		J12
73		ビッド		J12
74		ビッド群		J12
75	18X226h	ビッド		J15
76		ビッド群		J12
77		ビッド群		J13
78		ビッド群		J14
79		ビッド群		J15
80	18X226i	ビッド	(掘り方柱(18X226cと共有))	J14
81		ビッド		J14
82		ビッド群		J14
83		ビッド		J14
84		ビッド群		K13
85	18X226j	ビッド		K13
86	18X226k	溝		M7
87		ビッド群		M6
88		ビッド		L7
89		土流?		
90	18X226l	ビッド		K15
91		溝(掘り方?)		K10
92	18X226m	ビッド		K10
93	18X112	ビッド		K10
94	18X226n	ビッド		K10
95	18X226o	ビッド		J13
96	18X226p	溝(掘り方?)		J14
97	18X226q	溝(掘り方?)		J13
98		ビッド		K9
99		ビッド群		K10
100		ビッド		J12
101		ビッド群		K10
102		ビッド群		L8
103		ビッド群		L8
104	18X404	ビッド		L8
105	18X108	溝(掘り方?)		K7
106		ビッド		L9
107	18X226r	ビッド		L9
108	18X226s	ビッド		K10
109	18X346b	ビッド		K10
110	18X210	溝		K-M2
111	18X226t	ビッド		K10
112		ビッド		K10
113		ビッド群		J10
114	18X226u	ビッド		J10
115	18X226v	ビッド		J10
116		ビッド群		J10
117		ビッド群		J10
118		ビッド群		J10
119		ビッド		J11
120	18X123	溝		120-130
121		ビッド		J11
122		ビッド		J12

フケ遺跡第1次調査遺構番号台帳(2)

工一番号	遺構番号	種類	古一野	地区	工一番号	遺構番号	種類	古一野	地区
123		ビツト		H12	197		ビツト		H12
124		ビツト		H14	198		ビツト		H12
125	150210a	ビツト		K14	199		遺		H11
126		土塼		H4	200	150200	遺		タインロ
127	150201	土塼?		H4	201		ビツト		H12
128	150206	ビツト		H4	202	15X320	ビツト		H12
129		ビツト		H11	203		土塼		H6
130	150130	遺	130→130	310F	204	150206	ビツト		H6
131	150131	遺	131→131	H4	205	180320	遺		L6
132	150132	遺	132→133	450F	206		ビツト群		H6
133		遺		390F	207		土塼		L5
134	150134	遺		H4	208		母ち		M5
135	150135	土塼		L5	209		遺		M3
136		ビツト		L6	210		ビツト		H11
137		ビツト		H	211		ビツト		H11
138		ビツト		H	212	15X112	ビツト		H14
139		ビツト		H4	213		ビツト		H12
141		ビツト		K2	214		ビツト		H15
142		ビツト群		H	215		竪立柱建物		K14
143		ビツト		H4	216		ビツト		H6
144		ビツト		H	217	15K217	土塼		F14
146		ビツト群		K2	218	15K218	土塼		F13
147		ビツト		M5	219		遺?		H4
148		ビツト群		K3	220		竪立柱建物		K10
149		ビツト		K3	221		ビツト		O6
151		ビツト群		L6	222		ビツト		H8
152	150240a	ビツト群		L6	223		ビツト		M7
153		ビツト群		K6	224		ビツト		L6
154		ビツト		K9	225		竪立柱建物		K13
156		ビツト群		H	226		ビツト群		H9
157		ビツト群		H	230		竪立柱建物		H4
158		ビツト群		H	233		竪立柱建物		H
159		ビツト		H	240		竪立柱建物		K6
161		ビツト群		L6	243		竪立柱建物		K11
162	150220b	ビツト群		H	201	150210	ビツト		H12
163		ビツト群		H	202		ビツト		H12
164		ビツト群		H	203	150240	ビツト		K10
166		ビツト群		H	204	150240	ビツト		H11
167		ビツト群		H	205		ビツト		
168		ビツト群		H	206		ビツト群		
169		ビツト群		H	207		ビツト		H11
171		ビツト群		H	208		ビツト		
172		ビツト群		H10	209		ビツト	300→40	H14
173		ビツト群		H	210		ビツト		K13
174		ビツト群		K10	211		ビツト	311→43	K12
176		ビツト		H0	212		ビツト	312→25→50	K21
177		ビツト		G13					
178		ビツト		G13					
179		ビツト群		G14					
181		ビツト群		H12					
182		ビツト群		H12					
183		ビツト群		H12					
184		ビツト		H13					
186		ビツト群		H13					
187		ビツト群		H14					
188		ビツト群		H13					
189		ビツト群		H13					
191		ビツト群		H11					
192		ビツト		H11					
193	150120	ビツト		H11					
194	150120	ビツト		H11					
196		ビツト群		H11					



第4図 フケ遺跡第1次調査遺構図 (1/200)

## (1) フケ遺跡第1次調査

調査地は、太宰府市大字大佐野字フケ109-1、109-4に所在する。調査は平成元（1989）年1月17日から2月23日まで実施した。調査対象面積は800m<sup>2</sup>で、調査は狭川真一、城戸康利、山村信榮が担当した。

### 1. 遺構検出状況

調査区は大佐野川に沿った東西に延びる自然堤防上にあり、高位の北側では山側（西側）から供給された花崗岩風化土に由来する粘土質と砂質の堆積地盤からなり、南側は低くなりながら漸次砂地盤に移行している。遺構の検出環境は表土である灰色の旧耕作土（灰色土）下の遺物包含層（黒褐土）を除去した時点で大半の遺構プランは認識された。

### 2. 遺構

遺構は調査区の南側にある西から東に流れるISD200に沿って東西に帯状に集中し、北側は多少希薄である。自然堤防の背の中央の高位部が帯状に利用されていると解される。掘立柱建物、土坑、溝のほか多くのピット群が検出された。以下遺構の性格別に報告する。

#### 掘立柱建物

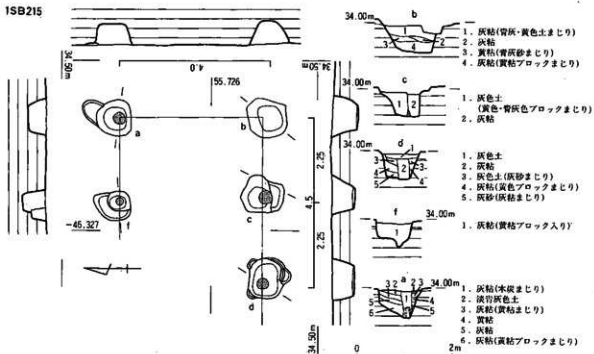
ISB215（第5区、Pla.4.5.8）東西2間（4.2m）、南北1間（3.8m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が2.1m・2.1mで、南北列は3.8mである。土層観察では柱穴c,dには柱痕跡が、aには柱材が残されていた。b,fは柱が抜き取られたと考えられる。建物の規模はその一部が調査区域外に延びているがISB220のプランからこの規模で完結するものと思われる。柱掘り方は概ね方形に近い円形で、直径は0.8m程度である。深さは遺構面から0.6～0.8mで、掘り方底部の標高にもばらつきがある。建物の主軸方向の振れはN-90° 48' -Wである。

ISB220（第5区、Pla.5.6）東西2間（3.5m）、南北1間（4.0m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が1.5m・1.5mである。土層観察では柱穴a,fには柱痕跡が残されていた。柱掘り方は概ね方形に近い円形で、直径は0.8m程度である。深さは遺構面から0.2～0.6mで、掘り方底部の標高にもばらつきがある。建物の主軸方向の振れはN-79° 48' -Wである。

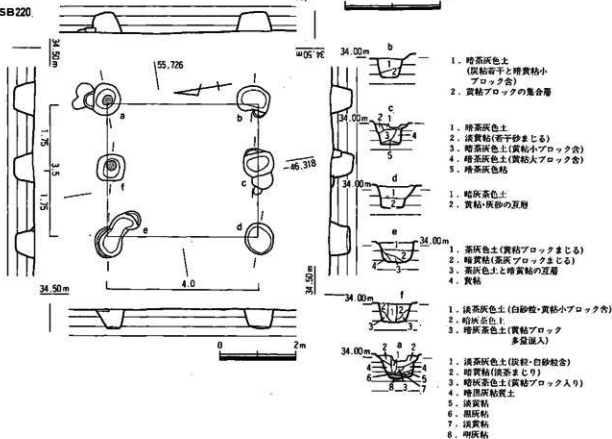
ISB225（第6区、Pla.6）東西2間（4.6m）、南北1間（4.0m）の掘立柱建物である。柱間は東西列が2.3m・2.3mである。柱掘り方は概ね円形で、直径は0.8m程度である。深さは遺構面から0.4～0.6mである。建物の振れは、東南辺の方向から、N-33° 7' -Eである。

ISB230（第6区、Pla.6.7.8）東西1間（2.5m）以上、南北1間（4.5m）の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね円形で、直径は0.8m程度である。土層観察では柱穴cには柱痕跡が残されていた。深さはおおむね遺構検出面から0.6mである。建物の振れは、東南辺の方向から、N-33°

1SB215

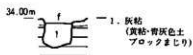
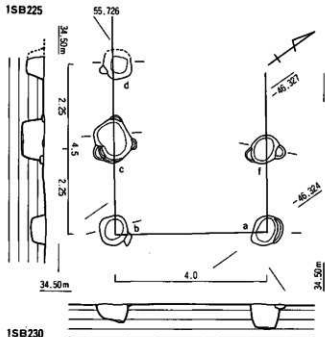


1SB220



第5図 1SB215・220実測図 (1/100・1/80)

1SB225



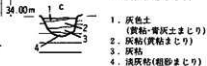
1. 灰粘  
(黄粘・青灰色土  
ブロックまじり)



- 1 灰色土
- 2 灰粘  
(青灰土まじり)
- 3 灰粘  
(黄粘・青灰砂まじり)

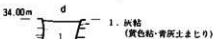
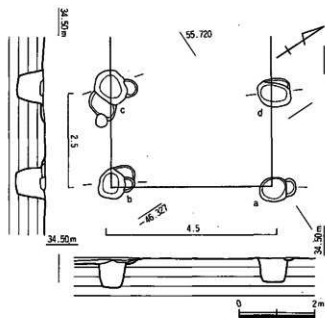


1. 灰色土(木炭まじり)
- 2 灰粘
- 3 黄粘(灰砂まじり)
- 4 灰粘(黄粘まじり)
- 5 灰粘(灰砂まじり)

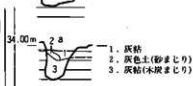


1. 灰色土  
(黄粘・青灰土まじり)
- 2 灰粘(黄粘まじり)
- 3 灰粘
4. 淡灰粘(粗砂まじり)

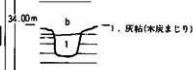
1SB230



1. 灰粘  
(黄色粘・青灰土まじり)



1. 灰粘
2. 灰色土(砂まじり)
3. 灰粘(木炭まじり)



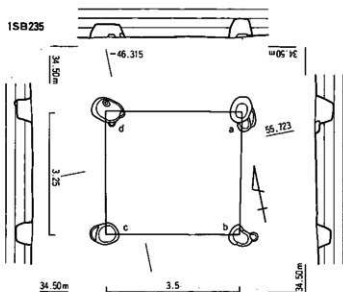
1. 灰粘(木炭まじり)



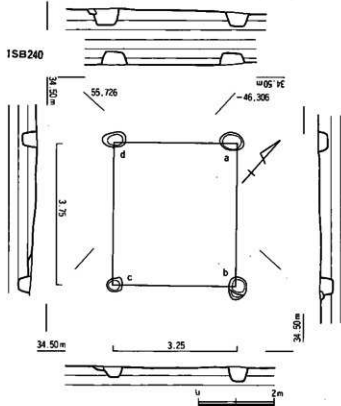
1. 灰粘(木炭まじり)
2. 灰色土
3. 灰粘(黄粘まじり)
4. 灰粘(黄粘・灰砂まじり)

第6図 1SB225・230実測図 (1/100・1/80)

1SB235



1SB240



第7図 1SB235・240実測図 (1/100)

19° -Eである。

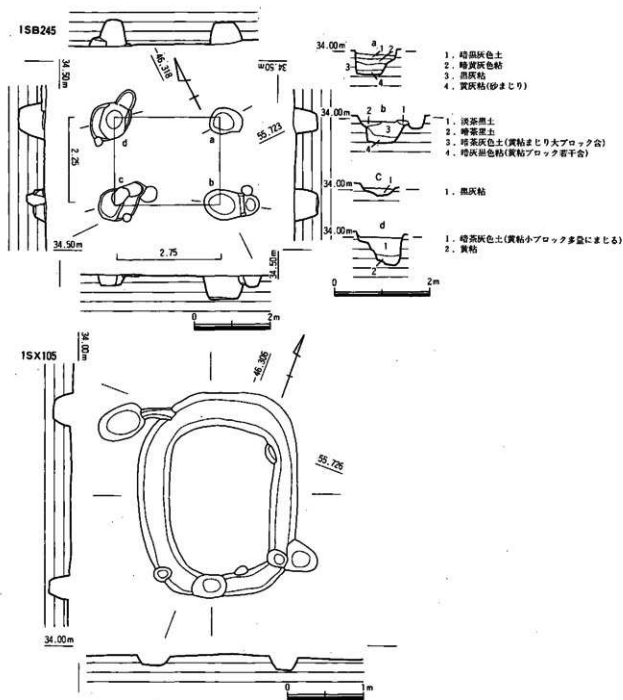
1SB235 (第7図) 東西1間 (3.5m)、南北1間 (3.3m) の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは概ね遺構検出面から0.3mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-11° 19' -Eである。

1SB240 (第7図) 東西1間 (3.3m)、南北1間 (3.8m) の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは遺構検出面から0.2mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-40° 22' -Wである。

1SB245 (第8図、Pla.7) 東西1間 (2.8m)、南北1間 (2.3m) の掘立柱建物である。柱掘り方は概ね楕円形で、直径は0.4m程度で、深さは遺構検出面から0.1~0.6mである。建物の振れは、東辺の方向から、N-26° 34' -Eである。

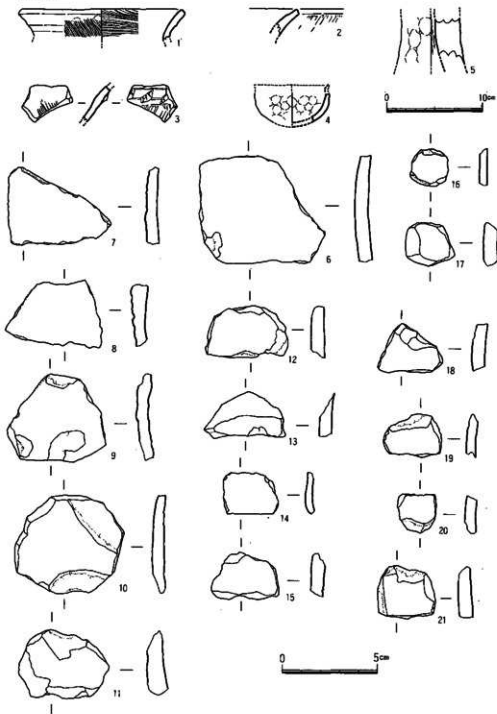
出土遺物は一部に須恵器が混入するものの古墳時代初頭の時期を示す。



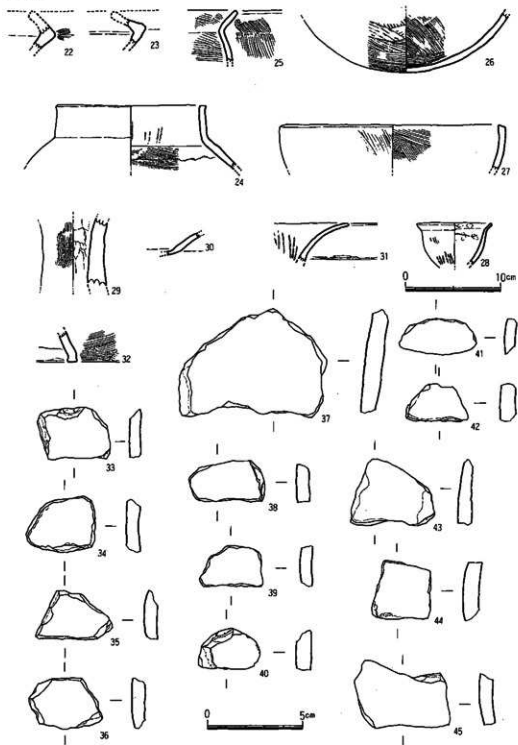


第8図 1SB245(1/100・1/80)・1SX105(1/50)実測図

1SB215

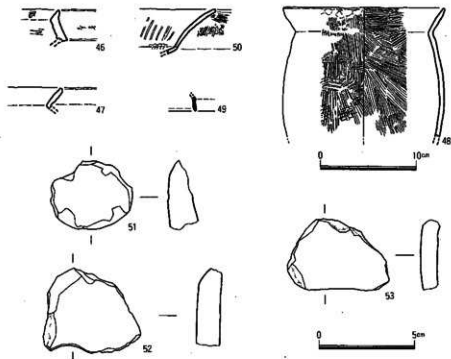


第9図 フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)1~21



第10図 フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)22~45

1SB225



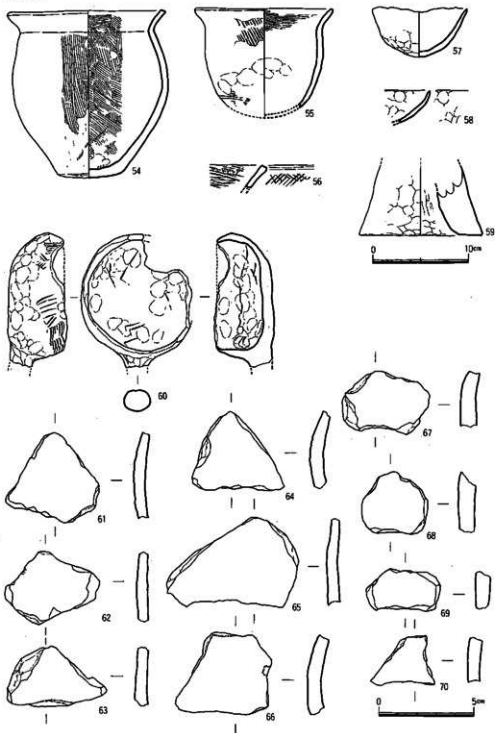
第11図 フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)46~53  
円形周溝状遺構

ISX105 (第8回、Pl.9) 調査区の東側で検出した。溝が円形に回る遺構で、平面形は方形に近い円形を呈す。溝の外側は長辺2.8m、短辺2.2m。内側は長辺2.0m、短辺1.4m、溝の深さは0.1mを測る。長辺が正方位に沿うような形で溝が穿たれている。溝上や内側に小さなピットがあるが、埋土の土色の違いや切り合い関係から時期的には異なる時代のもと思われる。このような遺構の性格については集落内の祭祀に関わる遺構との意見がある。(片岡宏二「周溝状遺構」の検討」福岡考古 第14~17号)

#### 土坑

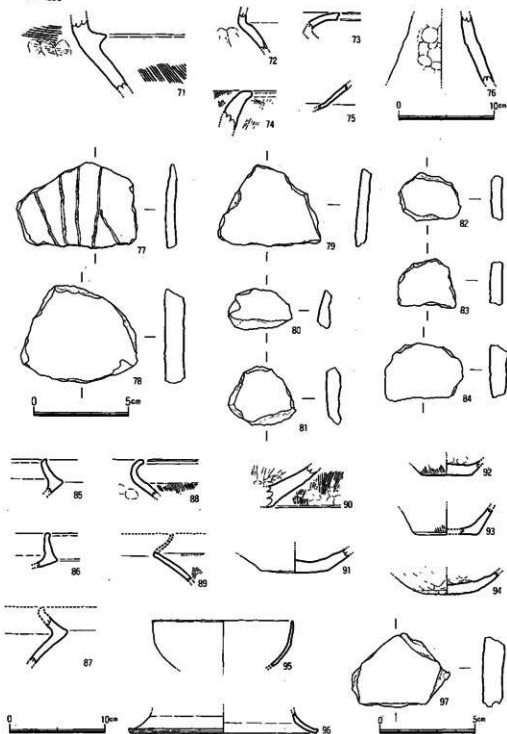
ISK001 (第15回、Pl.10) 調査区の東側で検出した。平面形は方形に近い円形を呈す。南北0.8m、東西0.75m、深さ約0.15mを測る。遺構の上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていないが、破碎した土器を廃棄した遺構と思われる。

ISK010 (第16回、Pl.11) 調査区の中央北よりで検出した。平面形は方形に近い楕円形を呈す。断面形は中央に深い掘り鉢状を呈す。南北2.0m、東西1.9m、深さ約0.6mを測る。土層観察から穴を穿ってしばらくの間、砂や粘土が供給された後に花崗岩礫や炭とともに破碎した土器が廃棄され、黒色の腐植土が漸次遺構を覆ったものと考えられる。出土した土器はいわゆる

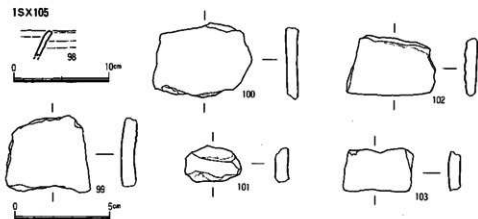


第12図 フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(4)(1/4・1/2)54~70

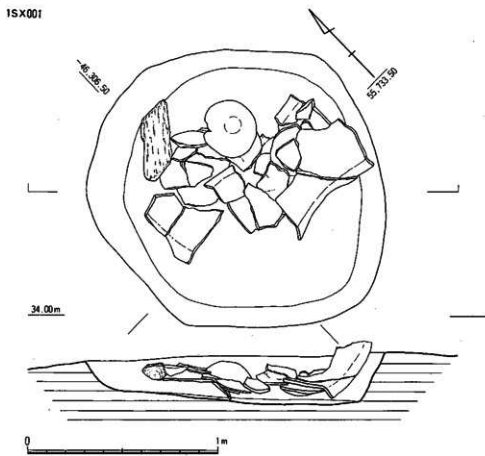
1SB235



第13図 フケ遺跡第1次調査掘立柱建物出土遺物実測図(5)(1/4・1/2)71~97

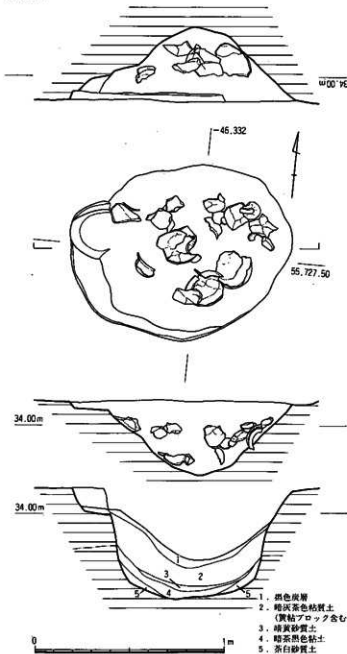


第14図 フケ遺跡第1次調査円形周溝状遺構出土遺物実測図(1/4・1/2)98~103



第15図 1SX001実測図(1/20)

1SX010



第16図 ISK010実測図(1/20)

る畿内系の古相の布留式土器で占められている。

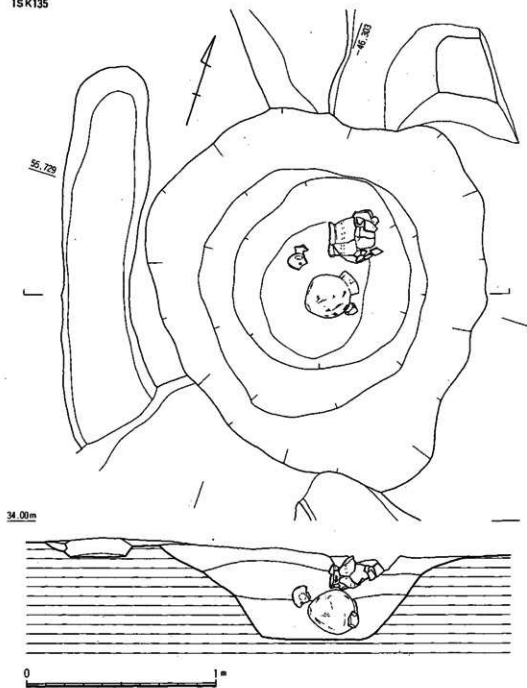
ISK135 (第17図、Pl.12) 調査区の東側で検出した。平面形は円形を呈す。断面形は中央に深い楕状を呈し底はやや平坦である。南北0.95m、東西1.2m、深さ約0.5mを測る。ISD205,110に切られる。埋土中には多くの土器片が含まれていたが、特に中央付近には畿内系の完形の壺(V様式系)と甕(布留式系)と坏部と裾が壊された高坏が出土している。底は地盤の粘土層を貫き砂層に達しており、水貯め機能があった可能性も想定される。

ISK217 (第18図) 調査区の西南側のISD200の埋土下で検出した。平面形は楕円形を呈す。南北1.1m、東西1.3m、深さ約0.6mを測る。ISK218とともに難川遺跡1次ISK050と同様に湿気を利用した堅果類の貯蔵穴であった可能性が高い(難川遺跡「太宰府・佐野地区遺跡群VI」1996太宰府市教育委員会)。

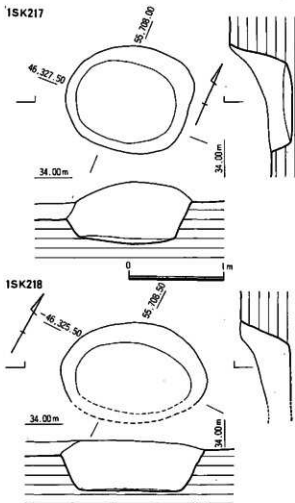
ISK218 (第18図) 調査区の西南側のISD200の埋土下のISK217西側で検出した。平面形は楕円形を呈す。南北0.8m以上、東西1.55m、深さ約0.5mを測る。埋土中で堅果類(イチイガシカ)



ISK135



第17图 ISK135实测图(1/20)



第18図 ISK217・218実測図(1/40)

11mほどの円形を呈していた可能性がある。そういった意味では円形周溝状遺構であった可能性も考えられる。溝の深さは深いところで0.2mほどである。

ISD130 (第28図) 調査区の西側で検出した東西方向の溝で、ISD200に切られる。ISD120との前後関係は土色などの関係でも今一つ明確にできなかった。溝の深さは深いところで0.2mほどである。

ISD131 (第28図) 調査区の東側で検出した東西方向の溝で、ISD133,132を切る新しい遺構である。溝の深さは深いところで0.1mほどである。

ISD132 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝で、ISD133,131に切られる。溝の深さは深いところで0.1mほどである。

ISD133 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝で、ISD131に切られる。溝の深さは深いところで0.1mほどである。

の断片が複数見つかり、湿気を利用した堅果類の貯蔵穴であった可能性を示した。

#### 溝

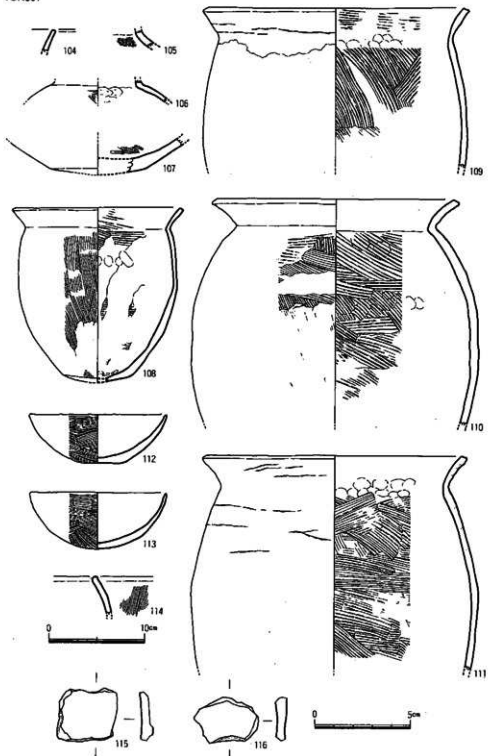
ISD036 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝で、その方向性からISD133に連なる可能性がある。ISD205,ISK135に切られる。溝の深さは深いところで0.2mほどである。

ISD086 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝である。ISK135に切られる。溝の深さは深いところで0.35mほどである。

ISD110 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝で、その方向性からISD133に連なる可能性がある。ISD205,ISK135を切る。溝の深さは深いところで0.3mほどである。

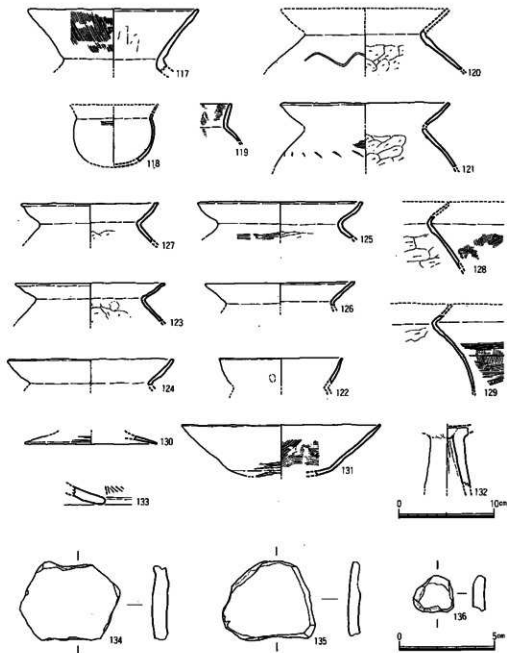
ISD120 (第28図) 調査区の西側で検出した。多くの後世のピットに切られ、西側は切れ切れになっている。時期的には今回検出した遺構の中では古い時期に属するものと思われる。直径

ISK001



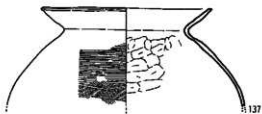
第19図 フケ遺跡第1次調査土坑出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)104~116

15K010灰粘

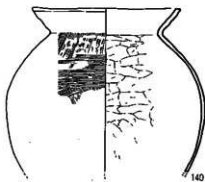
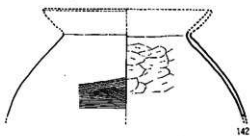
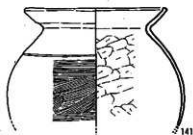
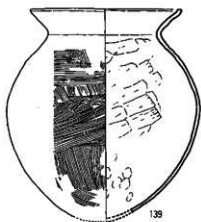
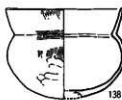


第20図 フケ遺跡第1次調査土坑出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)117~136

1SK010最下層

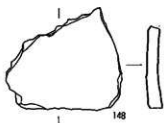
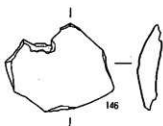
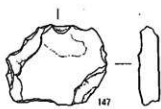
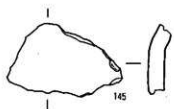


1SK010

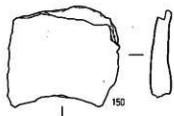
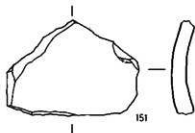
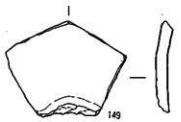


第21図 フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(3)(1/4)137~144

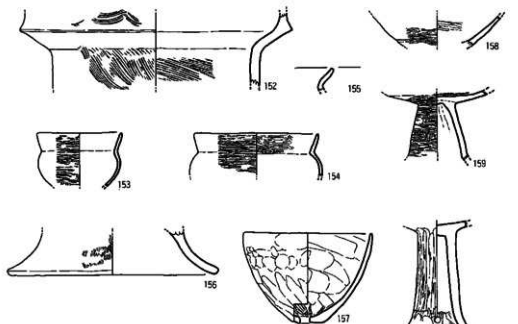
ISK135黒灰粘



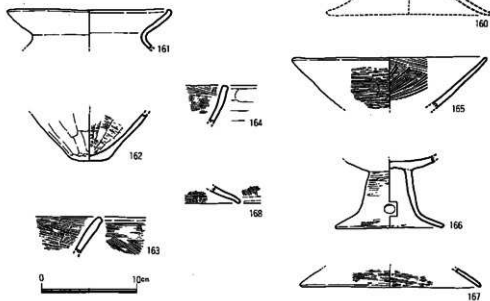
ISK135灰粘



ISK135黒灰色土

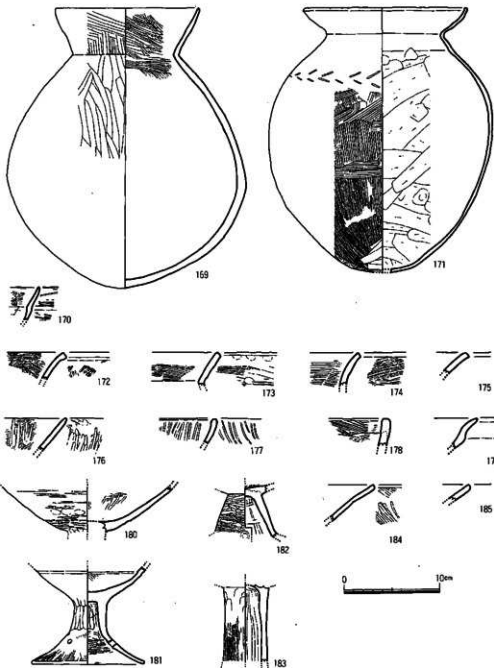


ISK135黒灰粘



第23図 フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(5)(1/4)152~168

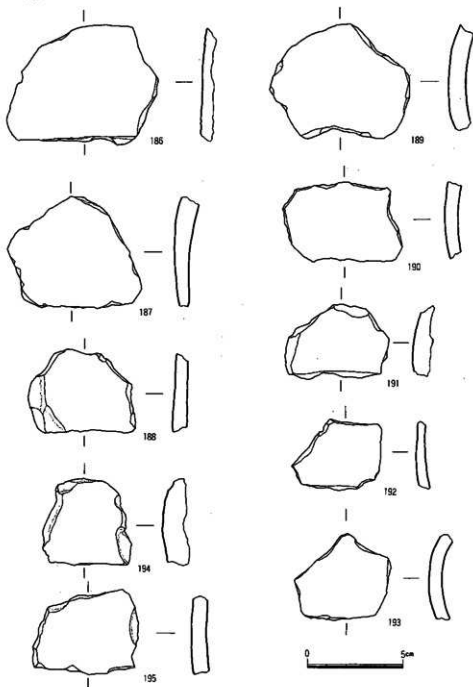
ISK135



第24図 フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(6)(1/4)169~185

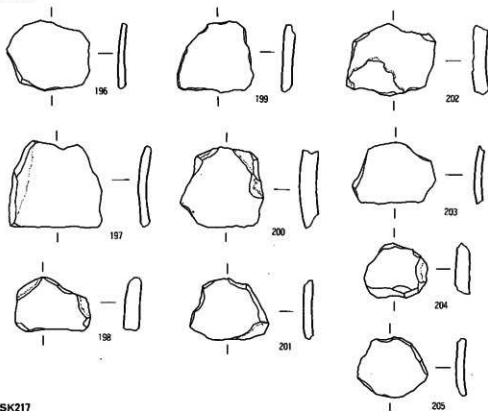


ISK135



第25図・フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(7)(1/2)186～195

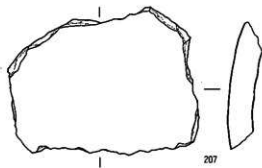
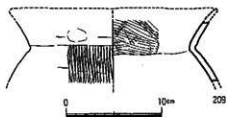
1SK135



1SK217

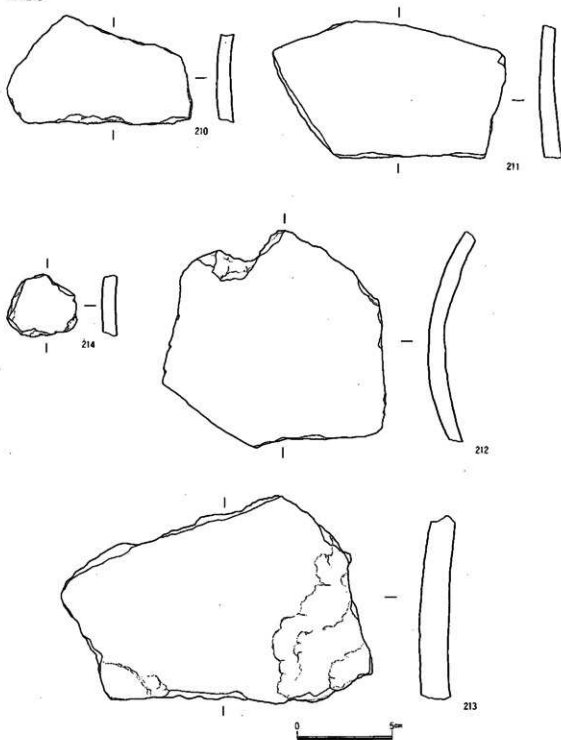


1SK218

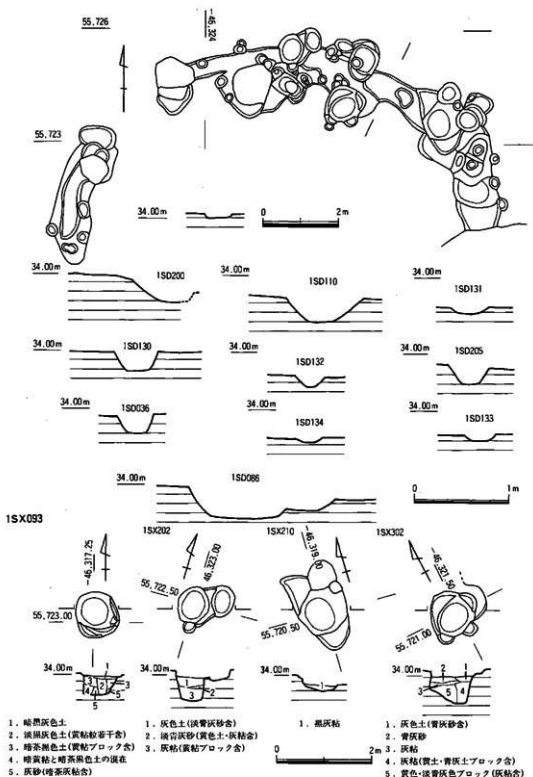


第26図 フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(8)(1/2・1/4)196~209

1SK218



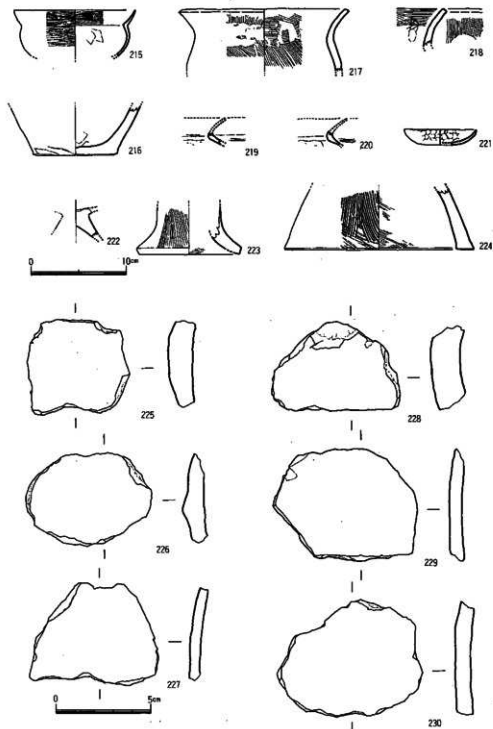
第27図 フケ遺跡第1次調査土壌出土遺物実測図(9)(1/2)210~214



第28図 ISD120実測図(1/100)

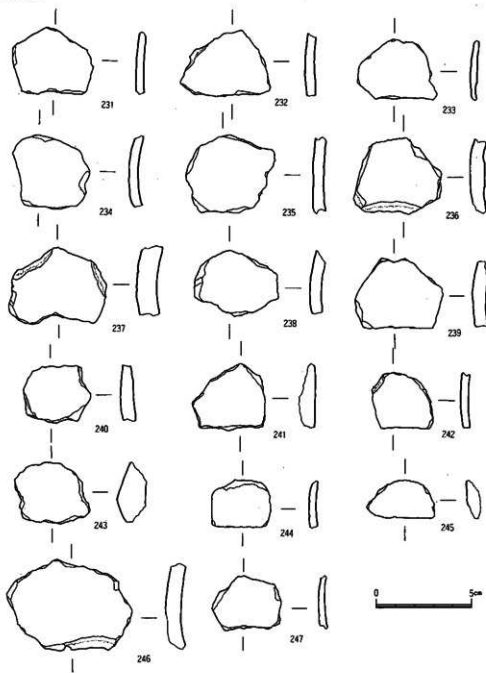
ISD036・086・110・130・131・132・133・134・200・205土層観察実測図(1/40)

その他の遺構実測図(1/80)



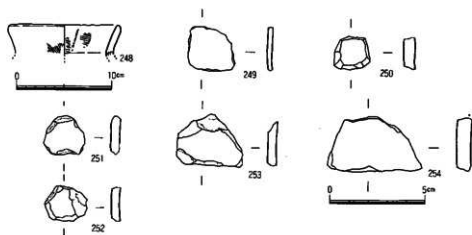
第29図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(1)(1/4・1/2)215~230

ISD120

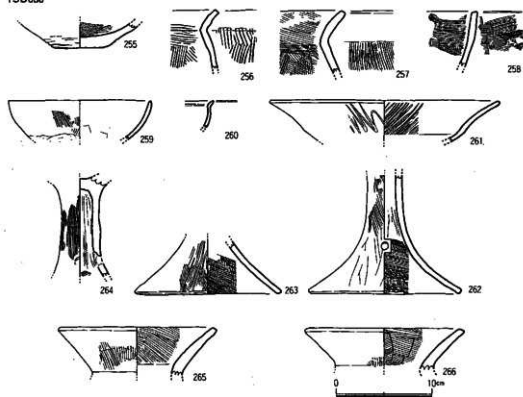


第30図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(2)(1/2)231~247

1SD036



1SD086



第31図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)248～266

ISD134 (第28図) 調査区の東側で検出した南北方向の溝で、ISD132に切られる。溝の深さは深いところで0.1mほどである。

ISD200 (第28図) 調査区の南側で検出した東西方向の溝で、黒褐色の腐植土で覆われて埋没している。溝の深さは深いところで0.1mほどである。その方向性から難川遺跡1次ISX001に連なる可能性が高い(第2図参照)。土層観察の所見から土坑ISK217,218はこの溝の埋没とともに埋まっていると理解される。

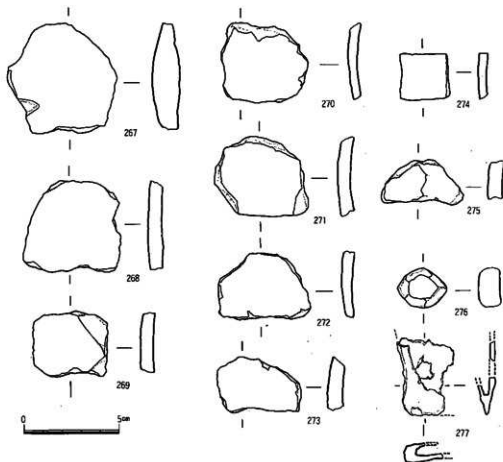
その他の遺構(第28図、Pl.9)

調査区内には今回提示した掘立柱建物の復元案で使用しなかった、それら柱穴と同規模のピットが複数存在する。それらの遺構の土層観察図を提示しておく。

### 3. 遺物

詳細については本文末の観察表を参照のこと。

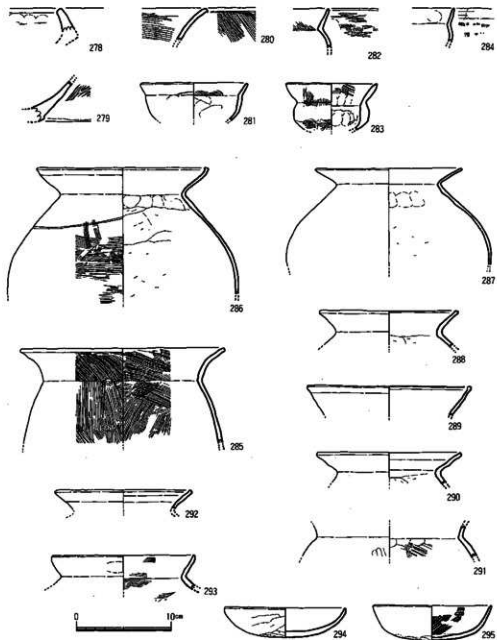
ISD086



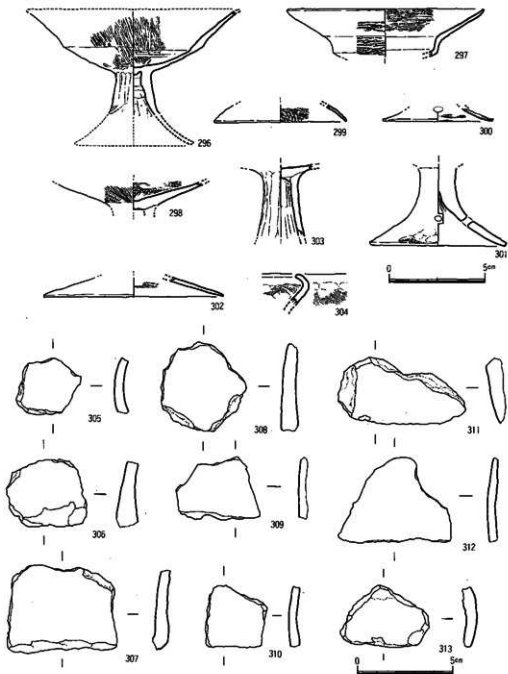
第32図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(4)(1/2)267~277



ISD110上層

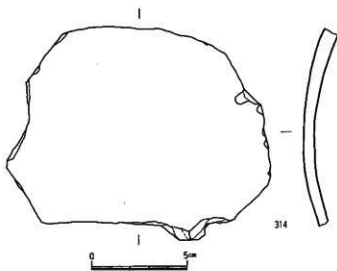


第33図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(5)(1/4)278~295



第34図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(6)(1/4・1/2)296~313

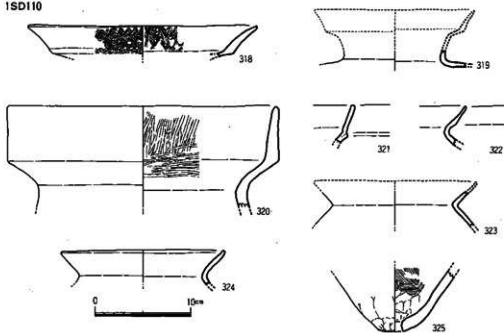
1SD110上層



1SD110下層

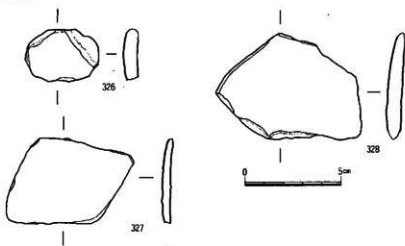


1SD110



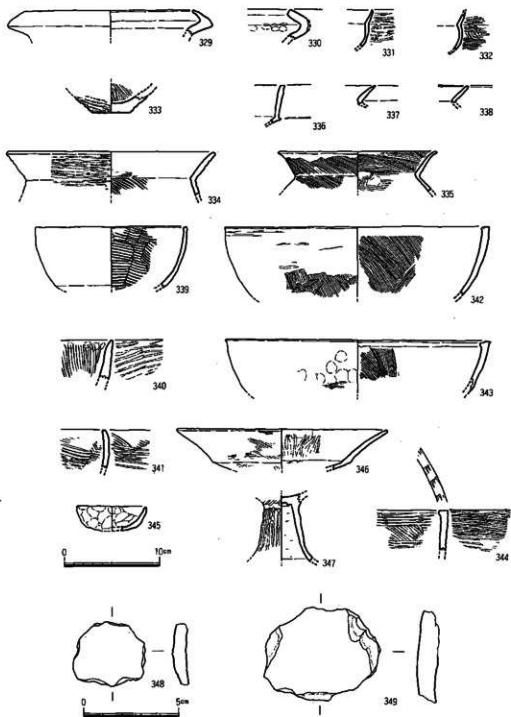
第35図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(7)(1/2・1/4)314~325

1SD110



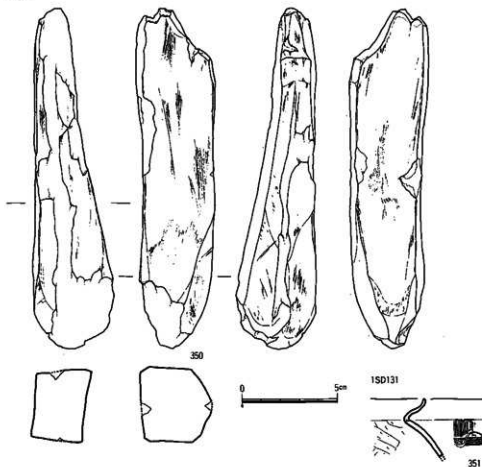
第36図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(8)(1/2)326～328

ISD130

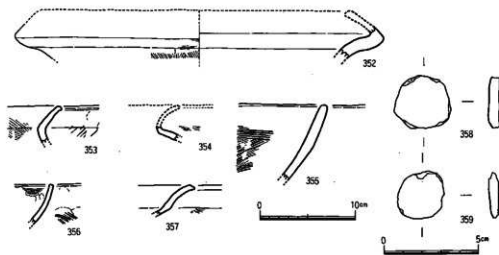


第37図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(9)(1/4・1/2)329~349

1SD130



1SD132

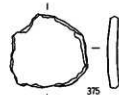
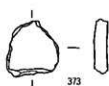
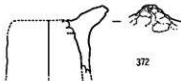
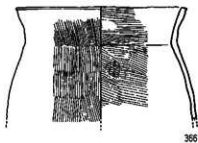
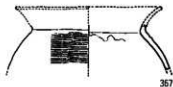
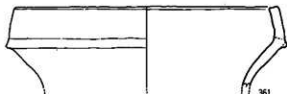


第38図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(10)(1/2・1/4)350~359

ISD134

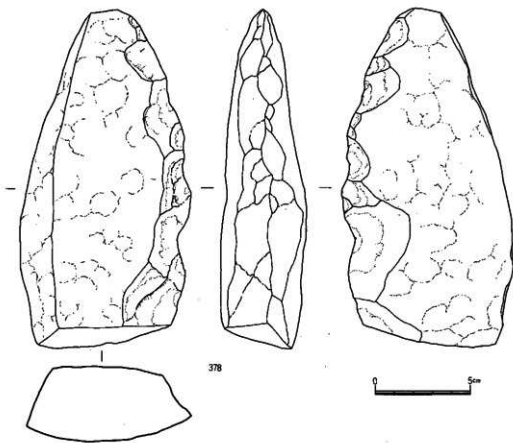


ISD200



第39図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(11)(1/4・1/2)360~377

1SD200



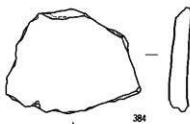
1SD205



ISX112



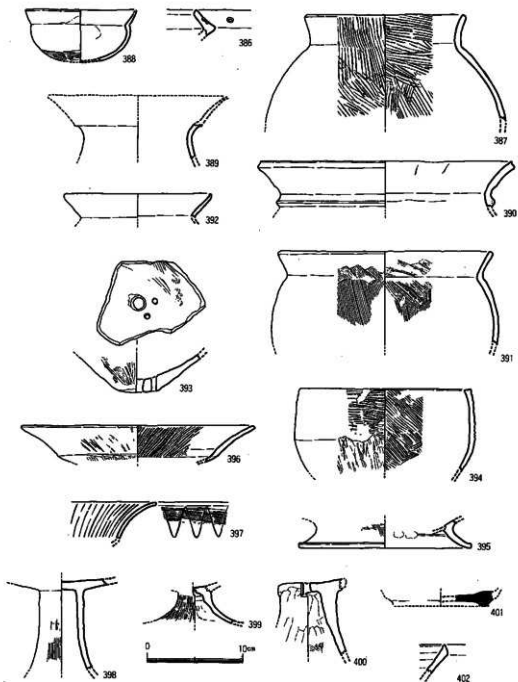
ISX202



第40図 フケ遺跡第1次調査溝出土遺物実測図(12)(1/2・1/4)378  
フケ遺跡第1次調査不明遺構出土遺物実測図(1/4・1/2)379～385

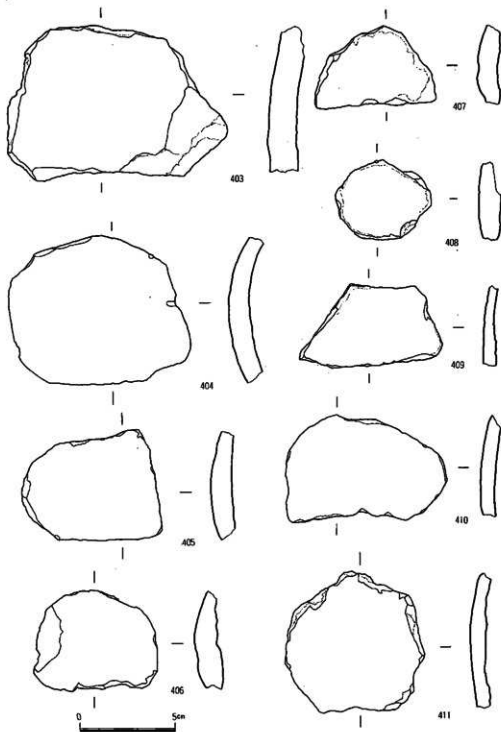


I 灰色土



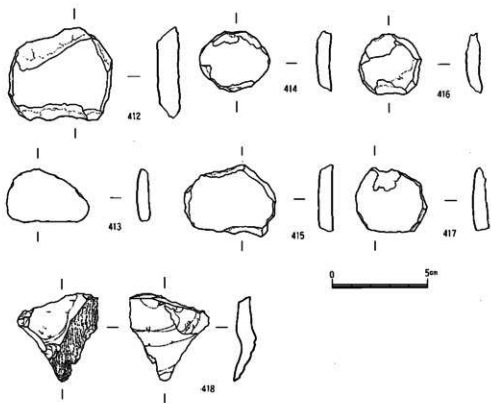
第41図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(1)(1/4)386~402

1 灰色土



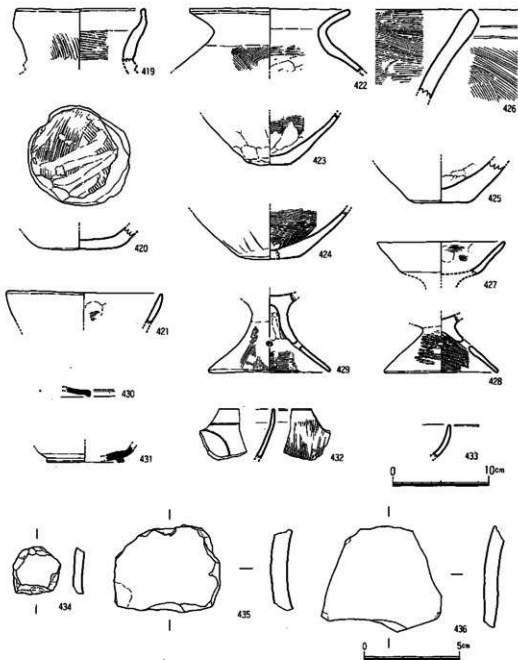
第42図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(2)(1/2)403~411

1灰色土



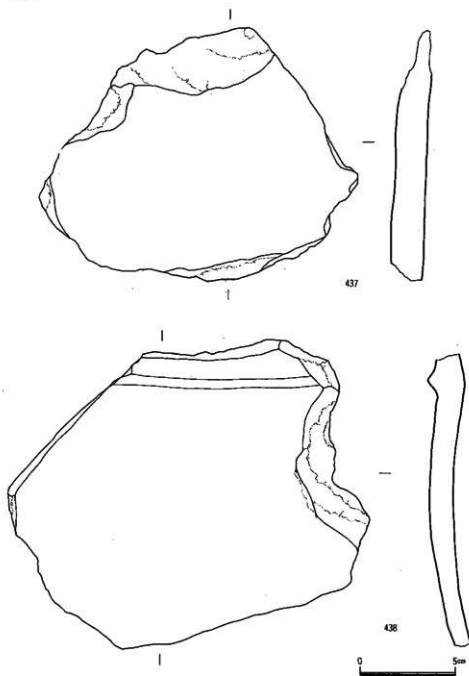
第43図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(3)(1/2)412~418

1表土



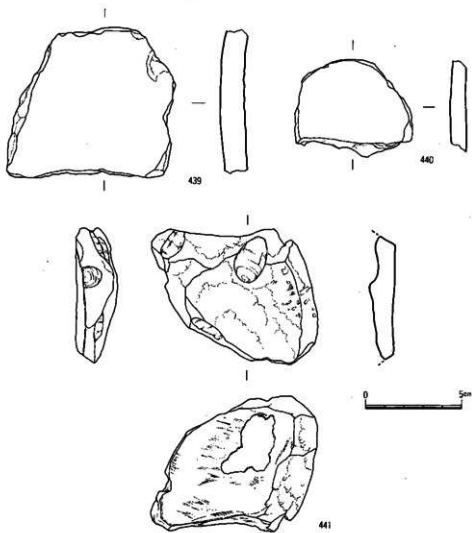
第44図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(4)(1/4・1/2)419~436

1 表土

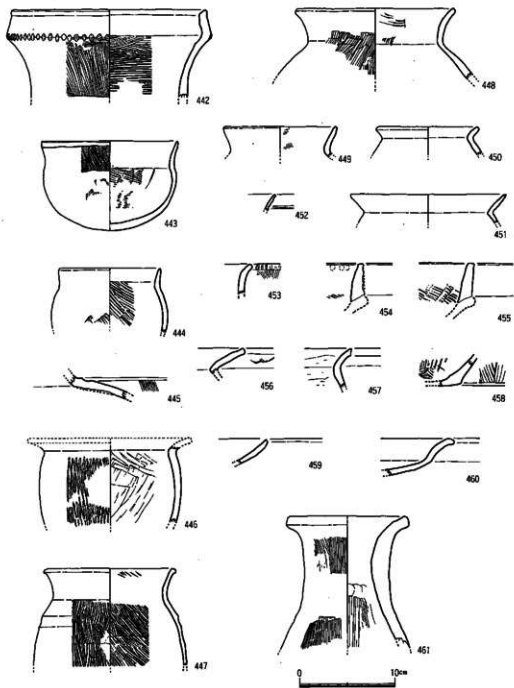


第45図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(5)(1/2)437・438

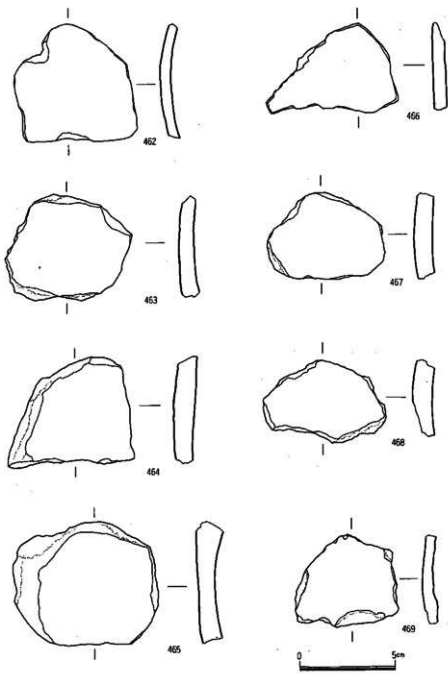
I表土



第46図 フケ遺跡第1次調査各土層出土遺物実測図(6)(1/2)439~441

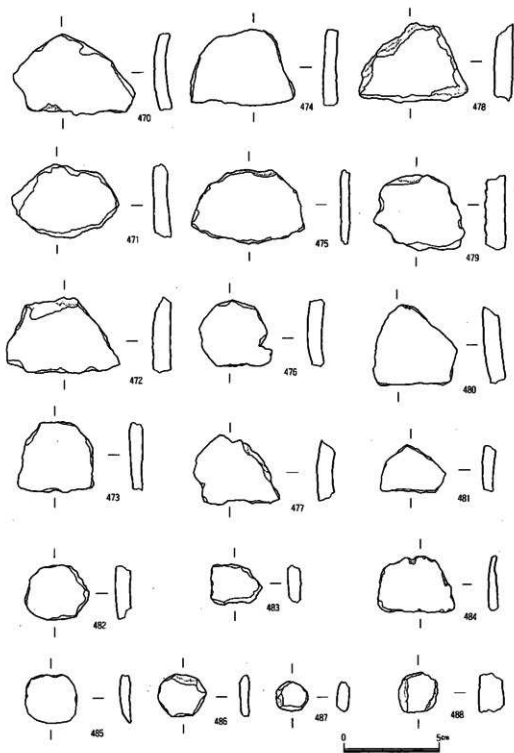


第47図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(1)(1/4)442~461

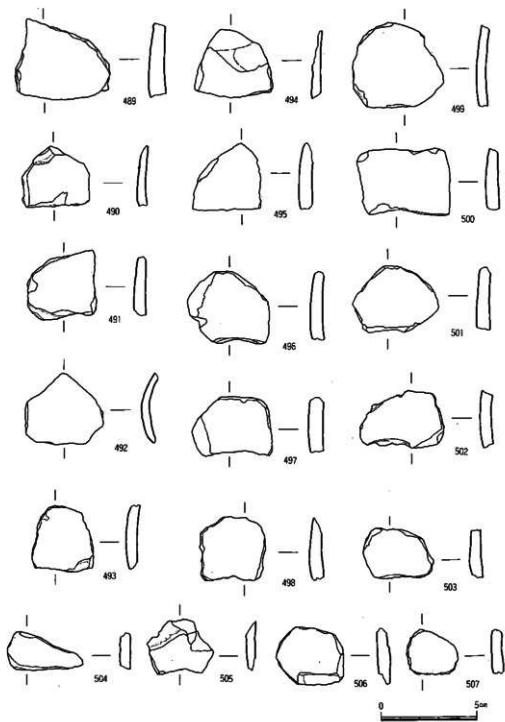


第48図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(2)(1/2)462~469

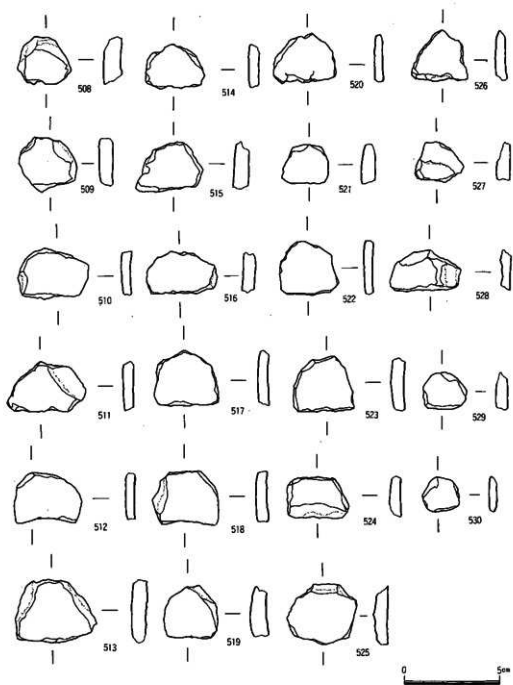




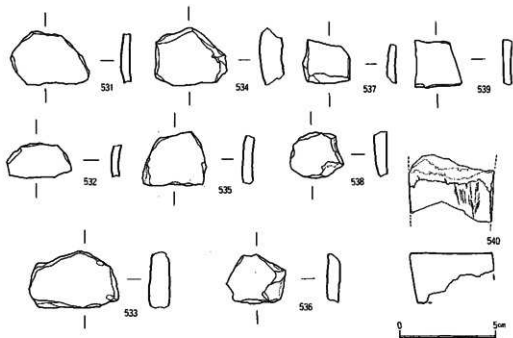
第49図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(3)(1/2)470~488



第50図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(4)(1/2)489~507



第51図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(5)(1/2)508~530



第52図 フケ遺跡第1次調査その他の遺構出土遺物実測図(6)(1/2)531～540

#### 4. 小結

##### 古墳時代初頭の集落相について

フケ遺跡1次調査地点では各遺構が性格別に特定の場所に連続して形成された状況が想定しうる。すなわち北西側の大きなピット群＝掘立柱建物群であり、東側の南北の溝群、そして、南を限る大溝1SD200である。これらの遺構群が形成された時期は遺構埋土の共通した傾向や出土遺物の状況から弥生後期最終末から古墳時代前期の布留式土器古相段階という短い期間に限られると考えられる。1間×1間の建物は住居、1間×2間の建物は住居ないし蔵の可能性があると考えている。調査区の北側は遺構全体が多少削平された状況で検出されているので堅穴式住居の存在の可能性は否定できないが、基本的には堅穴式住居を含まない居住建物群と考えている。この住居エリアから東方向には多少の空間を隔てて円形周溝状遺構（祭祀関連遺構との指摘もある。）と土坑、溝群が集中するエリアへと移行している。このような集落の状況は本遺跡と大佐野川を挟んで存在する弥生後期前半から後半の連続集落である前田遺跡（未報告、存続時期は一部フケ遺跡と重複する）の堅穴式住居を集積するタイプの集落とは系譜が異なると考えられる。また、これら集落の北西にひかえる宮ノ本遺跡の前期古墳群は獣帯鏡を副葬品に持つ12号墳を頂点に布留式新相段階まで営まれる墳墓であり、これらの墳墓造営の契機に新興の畿内系の土器をふんだんに使用するフケ遺跡の集落の人々が関わっていたと考えられる。（宮ノ本遺跡「太宰府・佐野地区遺跡群IV」1993太宰府市教育委員会）（山村）



第53図 フケ遺跡第2次調査遺構略測図(1/400)

フケ遺跡第2次調査遺構番号台帳

S-番号	遺構番号	種類	西-東	地区	S-番号	遺構番号	種類	西-東	地区
1	282001	穴溝		北平塚	67		ビッド群		C17B
2		穴溝内における環まりの地溝		北平塚	68		ビッド群		C18A
3	(282001)	穴溝内における環まりの地溝		北平塚	69		ビッド群		D21B
4		穴溝内における環まりの地溝		北平塚	71		溝		D21
5	283006	溝	3-1	V15	72		ビッド群		D20
6		穴溝内における環まりの地溝		北平塚	73		ビッド群		D47
7		穴溝内における環まりの地溝		北平塚	74	283074	ビッド群		D13
8	283008	溝		B18	76	283076	ビッド群		I09
9	283009	環まりの地溝		B18	77		ビッド		C13
10	283010	コ字溝溝 堀穴直前の溝溝か?		PG13	78		ビッド群		D17
11	280011	溝	11-12	T19~R23	79		ビッド群		D18
12	283012	軒溝穴?	11-12	R21	80		溝?		F9
13		溝穴?		Q23	81		ビッド群		E20
14		ビッド		S19	82		ビッド群		E10
15	283013	土坑		G17	83		ビッド群		E17
16	283016	ビッド		B19	84		ビッド		E13
17		ビッド		Q23	86		ビッド群		F5
18		ビッド	1-18	P23	87		堀穴土溝		E5
19	(283021)	井戸状溝溝		R10	88		ビッド群		F5
20		溝	中環以南	H9~G10	89		ビッド群		F10
21	283021	井戸状溝溝		R10	91		ビッド群		F14
22		土坑	6c代	B13	92		ビッド群		F18
23	283023	溝	近代	R0~F14	93		ビッド群		O6
24	(280025)	溝	調査区及堀により假番号復元	G13~L13	94		土坑?		O8
25	280025	溝		L13~I18	95	283025	土坑		H22
26	283026	土坑	26-21	20-27	R10	96		ビッド群	O9
27	283027	環まりの地溝	S10-11		97	283027	ビッド群		G11
28	282028	溝	D1-32		98		ビッド		G12
29		ビッド群	J21		99	283029	ビッド群		I07
30		土坑?	I18		101	283031	ビッド群		I09
31	283031	溝	I20		102		ビッド		I11
32		ビッド		H09	103		ビッド群		I13
33	283033	土坑	10-34-33	E13	104		ビッド群		F16
34	283034	ビッド	34-33	E12	105		ビッド群		G08
35	283035	溝		I20	106		ビッド群		28
36		ビッド	35-25	E12	107		ビッド群		I1A
37	283037	溝		TU13	108		ビッド群		I12
38		溝?	S-33上環から発生するがその後埋没は不明	U12	109		溝		I17
39	283039	溝		S13~Q14	111		ビッド群		I21
40		ビッド群		U13溝					
42	283041	溝		Q12-14					
43	283043	溝		S11~Q14					
44	283044	ビッド		U13					
45		ビッド		S20					
47	283047	ビッド		P10					
48		平庭前土坑		P10					
49		ビッド		P10					
50		ビッド群		P13溝					
52		土坑		L12					
53	283053	ビッド		Q13					
54		ビッド		CK					
56		ビッド		C3					
57		ビッド		C9					
58		ビッド群		C13溝					
59		ビッド群		B17					
61	283061	ビッド	溝前	C15					
62		ビッド群		C19溝					
63		ビッド群		C18溝					
64		ビッド		C18					
66		ビッド群		C18溝					



第54図 フケ遺跡第2次調査遺構図(1/400)

## (2) 第2次調査

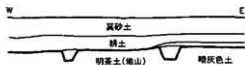
### 1. はじめに

調査地は、太宰府市大字大佐野字フケ106-1、107-1、107-2、1185-2で、1988年度に実施した尾崎遺跡第1次調査地の北側隣接地にあたる。尾崎遺跡の調査で多数の木製品を検出した1SD001とした東西方向の流路の北側に該当し、その折りの調査では流路の北側にも竪穴住居跡や土坑などを確認しており、今次の調査でもその続きとなる集落の一部が確認されるものと思われた。ただ同時に行った周辺部分の試掘調査では、今回の地点の東側隣接地に設定したトレンチで遺構が確認されず、遺構面が削平を受けている可能性も考えられた（『太宰府・佐野地区遺跡群III』1993 太宰府市教育委員会）。

さて今回の調査は区画整理事業の事前調査として実施し、調査地の北半分程度は県道長浜—太宰府線の一部となり、他の部分は宅地として利用される予定である。現地での発掘調査は1991年4月8日から実施したが、降雨が続いたことや残土置き場に制約があり反転作業に時間を要したこと、途中でフケ遺跡第3次調査と筑前国分寺跡第14次調査を行ったことなどから、最終的に器材を撤収したのは9月21日であった。調査対象面積は4,219㎡、調査面積は2,926㎡で、調査は狭川真一、塩地潤一が担当したが、測点移動や実測作業で中島恒次郎、山村信榮の協力を得た。整理作業は1996年度に行った。

### 2. 層位など

当該地点は調査に入る直前には大規模な駐車場として利用されており、そのため表面に強固なアスファルトが施されていたほか、道路面まで地上げするために1m程度の盛り土があり、その



第55図 フケ遺跡第2次調査溝土層模式図

の下に水田であったころの耕作土が検出されるという状況であった。この耕作土を除去すると明茶色土の地山が顔を出し、遺構はこの面から穿たれていた。耕作土と遺構面との間には顕著な包含層は存在せず、南東隅のごく一部で暗灰色土

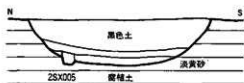
が薄く堆積していた程度である。この状況は、後世の大規模な削平を予想させるものであった。

### 3. 遺構

#### 溝

2SD001 調査区を東西に蛇行しながら貫通する大きな流路である。検出長52m（直線距離）、幅7.5～21.0m、深さ0.3mを測る。第1次調査の1SD200の西側延長部分に該当する。埋土は検出上面から大半が黒色土で構成され、部分的に底部には流れによって形成されたとみられる窪みがあり、暗灰色粘土が堆積していた。黒色土と暗灰色粘土との間には薄く淡黄色砂層の確認できる部分があった。溝北側の肩は西側では自然な傾斜を呈しているが東側では一部オーバーハングする部分があり、急流であったときに抉られたものと推定される。南肩は概ね傾斜は急で





第56図 2SD001堆積土層模式図

砂層の確認できる部分があった。溝北側の方は西側では自然な傾斜を呈しているが東側では一部オーバーハングする部分があり、急流であったときに挟られたものと推定される。南側は概ね傾斜は急であった。布留古相段階に位置付けられ、上面で近世までの遺物が混入している。

2SD008 2SD001の北側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、長さ5.3m(直線距離)、幅0.3~0.45m、深さ0.1m程度を測る。

2SD011 2SD001の北側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、途中で切れているが当初は一本の溝と理解して報告する。長さ約15m、幅0.3~0.6m、深さ0.1~0.2mを測る。埋土は大きく2層に分けられ、上位に黒色土、下位に暗灰色砂が堆積する。下位の層は全面には認められない。出土遺物から時期は古墳時代初頭の布留古相段階に限られる。

2SD020 東西方向の溝で、切り合い関係では周辺の遺構に比べてこの遺構が最も新しい。検出長19.0m、幅1.35~3.75m、深さ0.15m内外を測る。

2SD023 東西方向の溝で、長さ20.8m(直線距離)、幅0.9~2.0m、深さ0.05m内外を測る。埋土は暗灰色土の単一層で、部分的に上面に被る包含層と近似する埋土である。出土遺物から幕末から明治前半期に属するものとみられる。

2SD025 2SD001の南側に沿うように穿たれた数条の溝の一つで、長さ約27.5m、幅0.5~1.2m、深さ0.1m内外を測る。埋土は茶灰色土ないしは暗灰色粘質土で、方向性からみて2SD043と繋がっていたことも想定し得る。なお2SD023に切られている。

2SD028 調査区西端で検出したもので、長さ2.2m以上、幅0.7m、深さ0.1mを測る。さらに西側へ延びるものとみられる。6世紀後半までの遺物が出土する。

2SD031 調査区西端で検出したもので、長さ約3m、幅0.4m、深さ0.1mを測る。検出段階では連続していたが掘り下げると複数のピットが繋がったような形状を呈している。

2SD035 2SD031の南側にある小溝で、長さ2.7m、幅0.3~0.4m、深さ0.15~0.2mを測る。

2SD037 長さ3.7m、幅0.5m、深さ0.1mを測るもので、2SD001に沿うように穿たれている。

2SD039 長さ9.7m(直線距離)、幅0.15~0.3m、深さ0.01~0.05mを測るもので、2SD001に沿うように穿たれており、2SD025・043と2SD001の中間に位置する。

2SD042 L字型の溝で総長8.7m、幅0.15~0.3m、深さ0.03mを測る。2SX053より新しい。

2SD043 長さ7.0m、幅0.1~0.5m、深さ0.03~0.2mを測る小溝で、検出段階では一本の溝と確認できたが、掘り下げると複数のピットが連続するような形状となった。2SD025の北東延長部にあたると思われる。7世紀後半までの遺物が出土する。

土坑

2SK015 検出段階では隅丸長方形であったが、掘り下げるとやや規模が小さくなり長円形を呈する土坑となった。上面での規模は長さ1.1m、幅0.9m、深さ0.3mを測る。上面は茶灰色土、長円形部分の埋土は明茶灰色粘質土で、炭化物をブロック状に含むものである。

2SK026 2SX021に切られる土坑で、当初の規模は明らかではない。

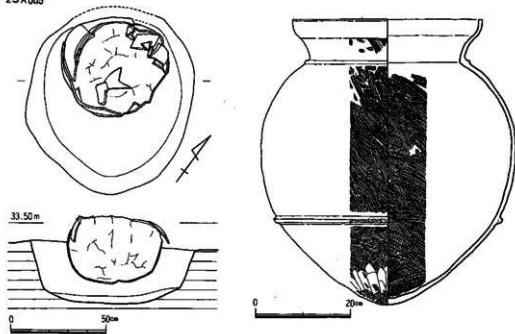
2SK033 長さ1.4m、幅1.1m、深さ0.15mを測る土坑で、2SX034はこの下層で検出されたピットである。

2SK095 調査区西端で検出された略円形の土坑で、長さ0.85m、幅0.75m、深さ0.3mを測る。埋土は土坑の壁際に淡灰色粘質土が堆積し、その上面に薄く炭化物が認められた。これ以外の堆積は暗茶灰色粘質土である。

#### その他の遺構

2SX005 (第57図、Pl.19) 長さ0.95m以上、幅0.85m、深さ0.30mを測る長円形土坑内に甕を埋置した遺構である。甕は土坑内の北寄りに、口縁部を上にしてほぼ正位置に据えられているが、底部は土坑底から0.1mほど浮いた位置にある。甕を埋める埋土は暗灰色粘質土、甕内は底部に黒灰色粘土、その上位に黒灰色砂が堆積していた。遺構の位置は2SD001北肩からやや下ったあたりと推定され、2SD001の底に堆積する腐植土の上面から切り込んでいた。したがって溝が機能している間に穿たれ、据えられたものと理解できる。この遺構は、埋甕としての性格の他に甕棺の可能性も考えておく必要がある(塩地洞一「佐野を掘る6」『都府楼12号』1991 古都太宰府を守る会 にこの遺構についての検討が掲載されているので参照されたい)。なお

2SX005



第57図 2SX005実測図(1/20・1/8)

境内の土壌から残存脂肪分析用サンプルを採集している。将来の分析結果を待って再度性格を検討したい。時期は古墳時代初頭の布留古段階に位置付けられよう。

2SX009 2SD011と008の間にある窪み状の遺構で、長さ3.2m、幅1.7m、深さ0.02～0.10m。

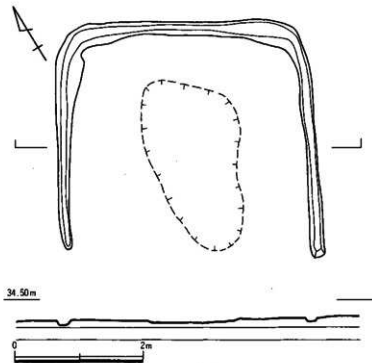
2SX010 (第58図、Pl.20.21) 4.05×3.8mのコ字型を呈する溝状遺構で、幅0.2～0.3m、深さ0.05～0.15mを測る。溝の一部に白色粘土の固まる部分が認められた。これを竪穴住居の壁溝と考えることも可能で、この場合溝によって囲まれた空間には小さなピットは多数あるが、柱穴になるようなピットは確認されていない。またこの空間の中央に2.8×1.55m、深さ0.05mの不定形な窪みがあり、溝遺構と一連のものである可能性も考えられる。遺物は6世紀代に位置付けられる土師器の坏片が出土している。

2SX012 2SD011に接するように穿たれた遺構で、2SD011が古い。遺構は略円形を呈し、長さ1.1m、幅0.8m、深さ0.45mを測る。形状から貯蔵穴の可能性も考えられる。埋土は黒色粘土の単一層で、遺物はその出土状況から南側から投棄されたものと考えられる。

2SX016 2SD011の下層で検出されたピットで、径0.5m、深さ0.1mを測る。

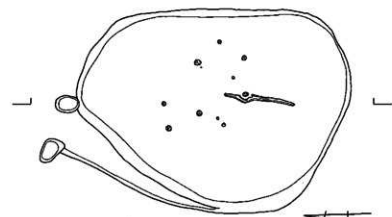
2SX021 (第59図、Pl.22) 長さ2.88m、幅2.16m、深さ0.33mを測る長円形の土坑状を呈している。上面に被る黒灰色土を除去すると土坑中央部に長さ1.5m、幅1.1mで不整形のプランが検出された。プラン内を掘り下げると底部に杭が10本打ち込まれた状況で検出された。杭は

2SX010

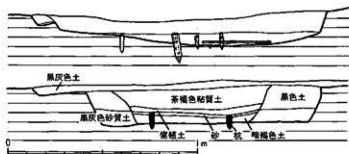


第58図 2SX010実測図(1/60)

2SX021



34.00m



第59図 2SX021実測図(1/20)

く、この間に板状のものが立てられていたとすると、周囲の黒色土は裏込土として理解できる。遺物は6世紀代に位置付けられる土師器の坏片が出土。

2SX027 2SX021の北側にある窪み状遺構で、長さ3.55m、幅2.3m、深さ0.1mを測る。

2SX030 2SD025と重複している土坑状遺構である。検出段階では埋土が近似し前後関係を明確にはできなかった。長さ2.25m、幅1.30m、深さ0.12mを測る。

2SX034 2SK033の下層で検出されたピットで、径0.6m、深さ0.2mを測る。2SK033と直接関連するものかどうかは明確でない。

2SX044 2SD037と2SK033の間に検出されたピットで、径0.45m、深さ0.15mを測る。

2SX047 2SD023の南側で検出されたピットで、径0.75m、深さ0.25mを測る。

2SX053 2SD042の下層で検出されたピットで、径0.5m、深さ0.2mを測る。

2SX058 調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

2SX061 径0.15m、深さ0.05mを測るピットである。

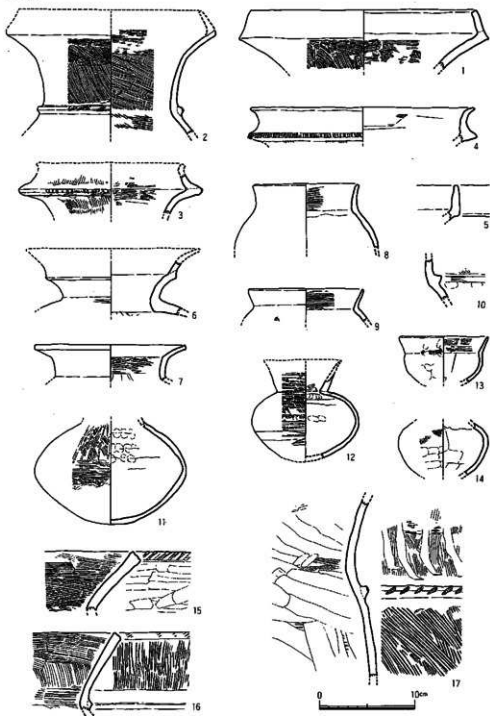
2SX074 調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

2SX076 調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

2SX097 調査区南半部の中央で検出されたピット群である。

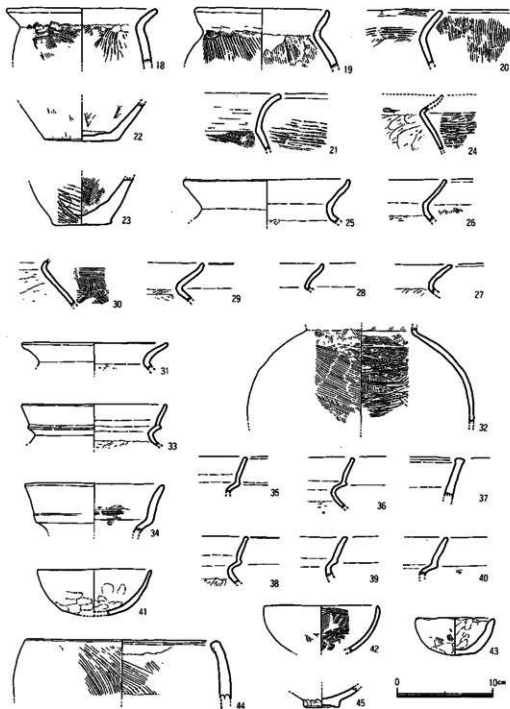
土坑の中央部に集中して打ち込まれていた。埋土は杭の残存する底部付近で暗褐色土、その上位に薄く砂が被りさらに腐植土の堆積が観察される。最終埋没は茶褐色粘質土である。この不整形プランの周囲は黒色土(下層は黒灰色砂質土)で構成される。杭の位置と内側のプランとの隙間は少な

2SD001



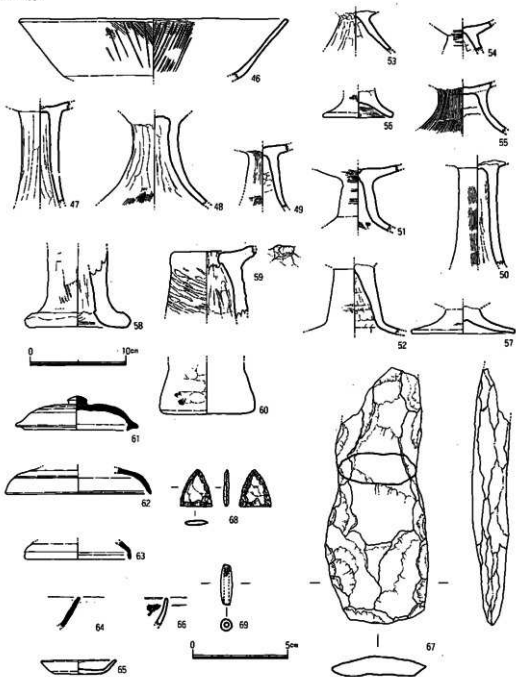
第60図 フケ遺跡第2次調査発出土遺物実測図(1)(1/4)1~17

2SD001



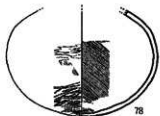
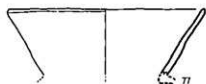
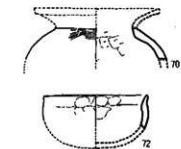
第61図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(2)(1/4)18~45

2SD001

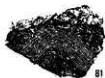
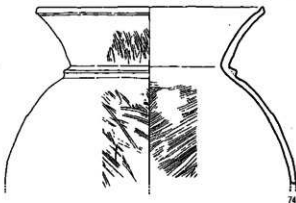
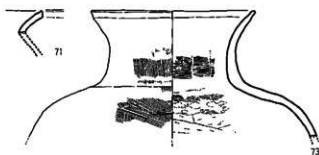


第62図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(3)(1/4・1/2)46~69

2SD008



2SD011

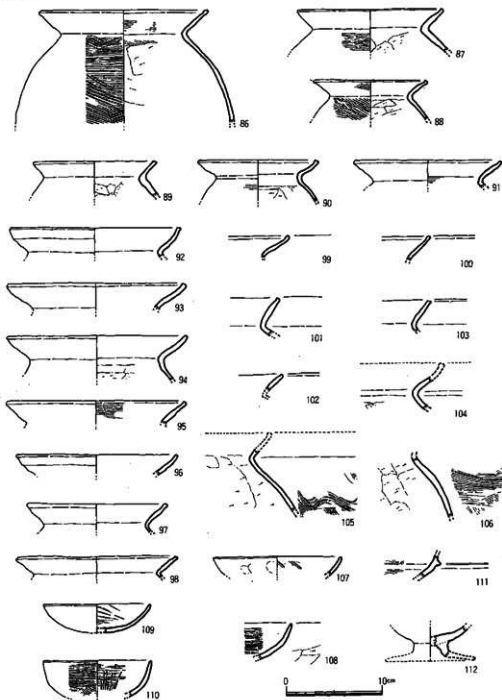


0 10cm

第63図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(4)(1/4)70~85

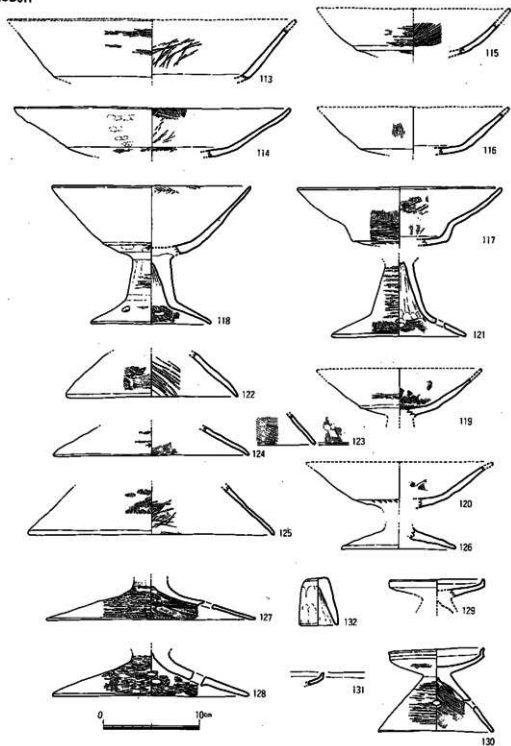


2SD011

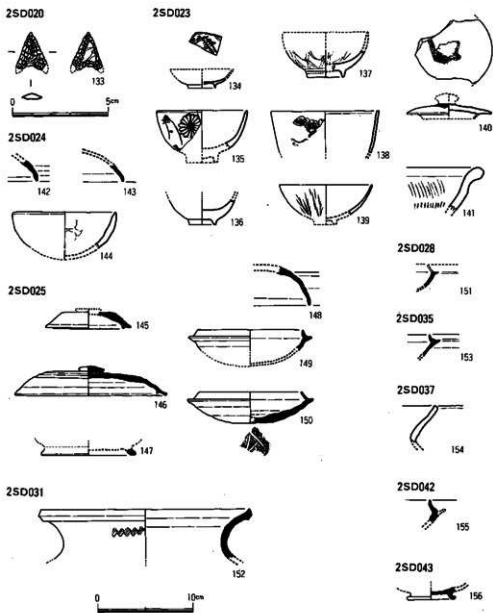


第64図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(5)(1/4)86~112

2SD011

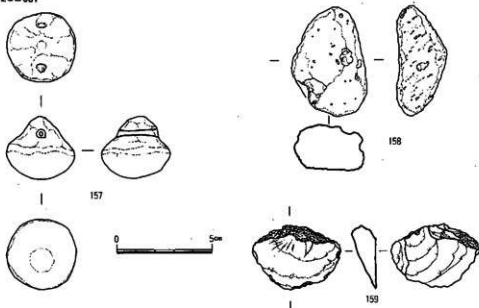


第65図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(6)(1/4)113~132



第66図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(7)(1/4・1/2)133~156

2SD001



第67図 フケ遺跡第2次調査溝出土遺物実測図(8)(1/2)157~159

2SK015

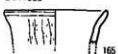


2SK026



第68図 フケ遺跡第2次調査土坑出土遺物実測図(1/4)160~164

2SX005



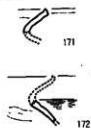
2SX009



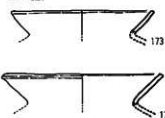
2SX010



2SX016



2SX027

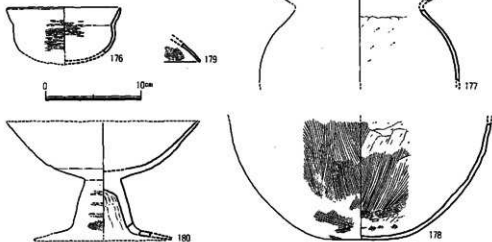


2SX030

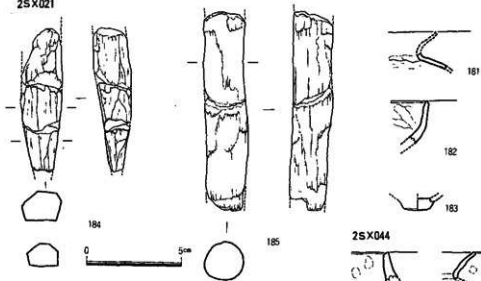


第69図 フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(1)(1/4)165~175

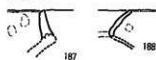
2SX012



2SX021



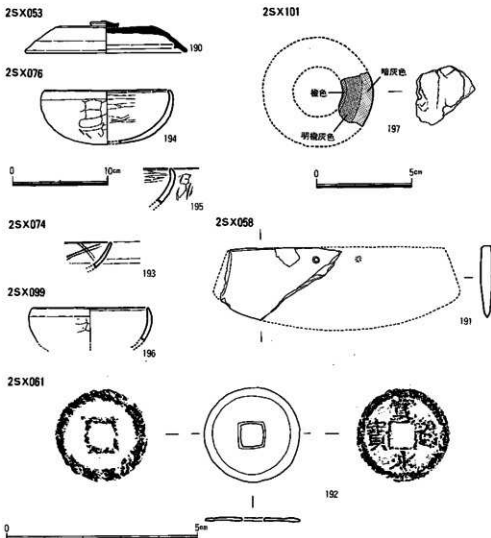
2SX044



2SX034



第70図 フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(2)(1/4・1/2)176~189

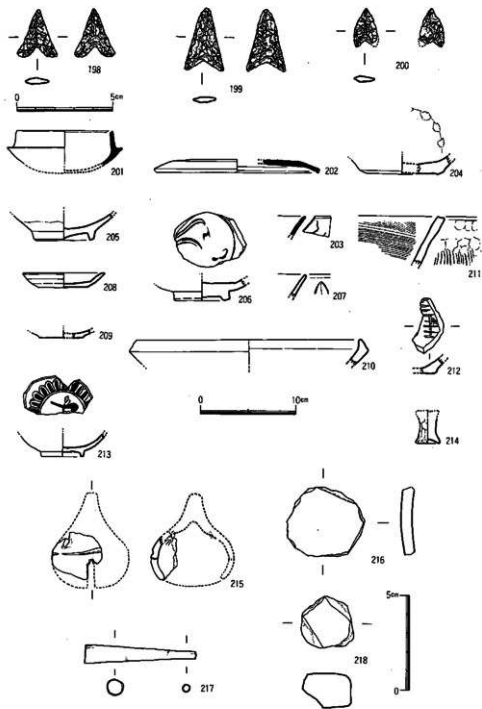


第71図 フケ遺跡第2次調査その他の遺構出土遺物実測図(3)(1/4・1/2・1/1)190～197  
 2SX099 調査区南半部の東端で検出されたビット群である。  
 2SX101 調査区南半部の中央で検出されたビット群である。

小結

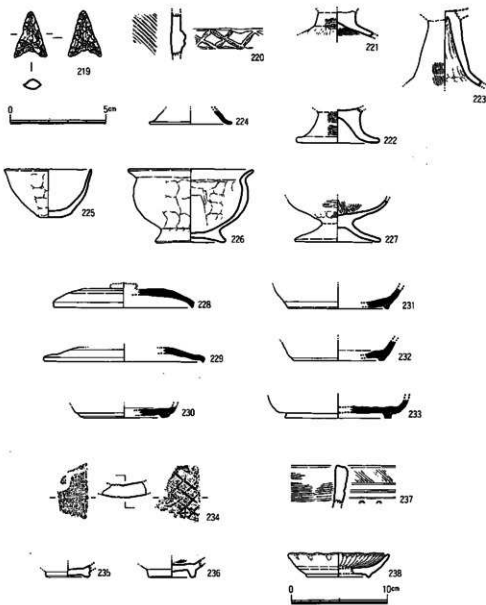
全体的な遺構の展開は、1次調査同様に古墳時代初頭の布留式土器古相段階の2SD001を中心に、引き続き6世紀代の尾崎1次調査区周辺の集落の縁辺施設としての竪穴住居2SX010や7世紀後半の溝2SD025などが、多少时期的隔たりをもって形成されている。遺物からは古代の須恵器、越州窯系青磁、中世前半の中国製青磁・白磁、後半期の明染付、瓦質土器、近世末の陶磁器、寛永通宝などが散見され、緩慢に土地利用がおこなわれたことを示している。(狭川)

2暗灰色土



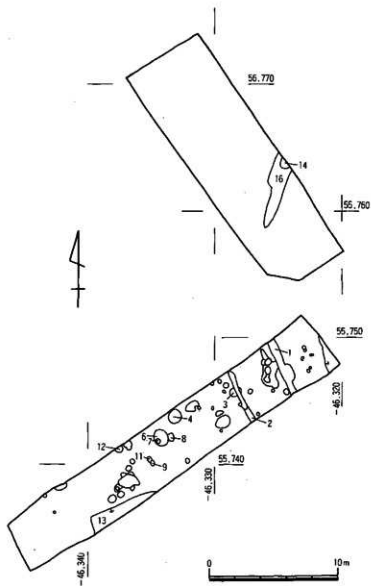
第72図 フケ遺跡第2次調査暗灰色土出土遺物実測図(1/4・1/2)198~218

2耕土



第73図 フケ遺跡第2次調査耕土出土遺物実測図(1/2・1/4)219~238

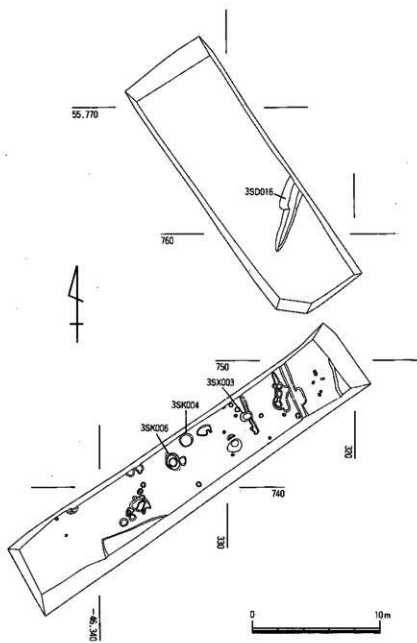




フケ遺跡第3次調査遺構番号台帳

点・番号	遺構番号	種類	台一番	地味	点・番号	遺構番号	種類	台一番	地味
1	溝	掘削土層上	無し		9	ピット	掘削土層上		
3	溝	掘削土層上	3-3		11	ピット	掘削土層上		
5	ピット	掘削土層上、中層まで中の掘削あり			13	ピット	掘削土層上		
4	土渠	上層は掘削土、下層は掘削土層上			17	ピット	掘削土層上		
6	土渠	中層は掘削土、下層は掘削土層上	6-7		14	ピット	掘削土層上	10-14	
7	ピット	掘削土層上	6-7		16	ピット	掘削土層上、下層は掘削土	10-14	
8	ピット	掘削土層上	6-6		20	溝	上層は掘削土、下層は掘削土	10-14	

第74図 フケ遺跡第3次調査遺構略測図(1/300)



第75図 フケ遺跡第3次調査遺構図(1/300)

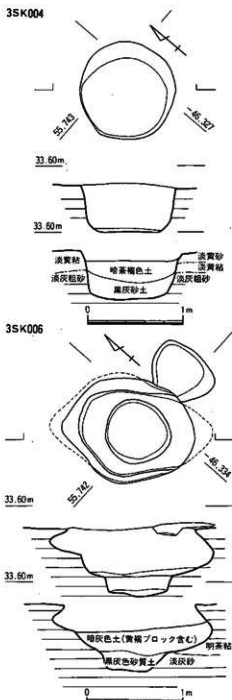
### (3) 第3次調査

#### 1. はじめに

調査地は太宰府市大字大佐野字フケ112-4で、第1次調査と道路を隔てた対面（北側）に当たり、調査前は大衆遊技場が建設されていた。道路面からは1m程度の盛り土が成されており、建物の基礎がある程度で止まっていた場合は遺構の残存している確率は高いものと考えていた。しかし多量の盛り土が存在することから調査を実施するにあたって排土の置く位置やその量、そして遺構の残存状況を把握する観点から、調査着手前に試掘調査を実施することとなった。試掘調査は平成3（1991）年5月7日～10日までの間に実施した。その結果、予想に反して遺構は希薄で、しかも深く且つ巨大な遊技場の基礎がそのまま残存していた。基礎の隙間には遺構は残存せず、その周囲にあけたトレンチから若干検出されたにとどまった。そこで遺構の確認されたトレンチは埋め戻さず、隣接地でフケ遺跡第2次調査を実施していたことからそのまま発掘調査を実施することとなった。調査は続く5月13日から第2次調査の作業のロス時間を縫って行い、最終的に埋め戻し作業が完了したのは6月19日であった。調査面積は267㎡で、狭川真一、塩地潤一が担当した。

#### 2. 層位など

遊技場のアスファルトを除去し、盛り土を除去するとすぐに地山が顔を出す状況で、包含層はまったく確認されなかった。遺構の残存状況からみても大きく削平を受けたものと思われる。特に遺構が南側に偏って検出され、試掘調査部分を含めて北側ではほとんど認められないことから、北側が大きな削平を受けたものと理解しておきたい。



第76図 3SK004・006実測図(1/40)

地山は南側のトレンチ中央部では淡灰色土、西側及び東側部分では淡茶灰色砂、東側のトレンチでは南側が淡灰色砂、北側へ淡茶灰色土、暗茶灰色砂と変化する。

### 3. 遺構

#### 溝

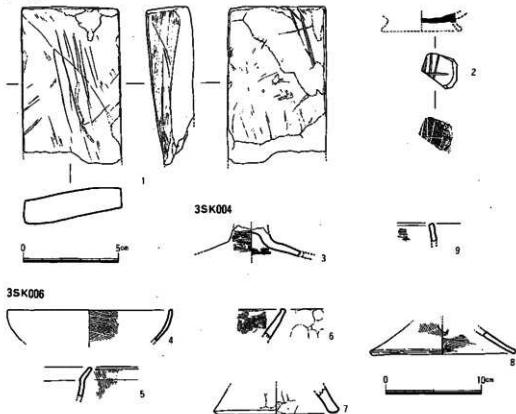
3SD016 東側を開けたトレンチで検出された遺構で、長さ6.0m以上、幅0.8~1.5m、深さ0.1m内外。埋土は上位が淡灰色土、下位が黒灰色土で構成される。7世紀代の須恵器が出土。

#### 土坑

3SK003 (Pla.32) 南側のトレンチで検出された遺構で、楕円形を呈する。長さ0.95m、幅0.68m、深さ0.15mを測り、検出上面で2つのピット状遺構が並んで検出された。ピットは埋土の中程で止まっている。埋土は暗茶褐色土で、新規の南北溝に切られる。

3SK004 (Pla.32) 南側のトレンチで検出された遺構で、ほぼ円形を呈するもので1.03×1.00m、深さ0.5mを測る。埋土は上位が暗茶褐色土、下位が黒灰色砂質土である。布留式土器が出土。

3SK006 (Pla.32) 南側のトレンチで検出された遺構で、検出面での大きさは南北1.40m、東西1.11m、深さは0.71mを測る。土坑上位の壁面は大きくオーバーハングしており、南北3SD016



第77図 フケ遺跡第3次調査出土遺物実測図(1/2・1/4)1~9

1.72mにもなる。埋土は上位が暗灰色土、下位が黒灰色砂質土である。弥生後期後半の所産か。

その他の遺構

3SX008 南側のトレンチで検出されたピットで、 $0.7 \times 0.55\text{m}$ 、深さ $0.13\text{m}$ を測る。3SK006より古い遺構である。

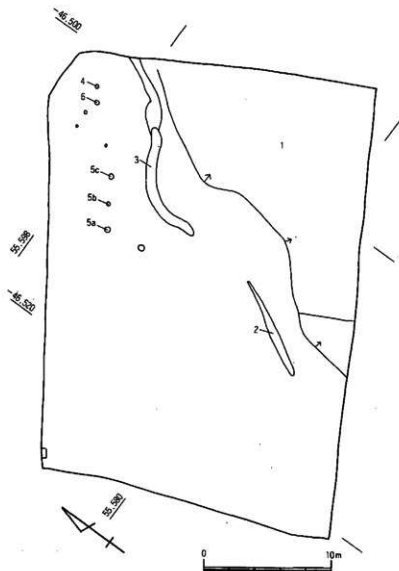
3SX009 南側のトレンチで検出されたピットで、きわめて浅い。

3SX012 南側のトレンチで検出されたピットで、径 $0.7\text{m}$ 、深さ $0.15\text{m}$ を測る。北半分は調査区外に延びている。

### 3. 出土遺物

本文末の遺物観察表を参照のこと。

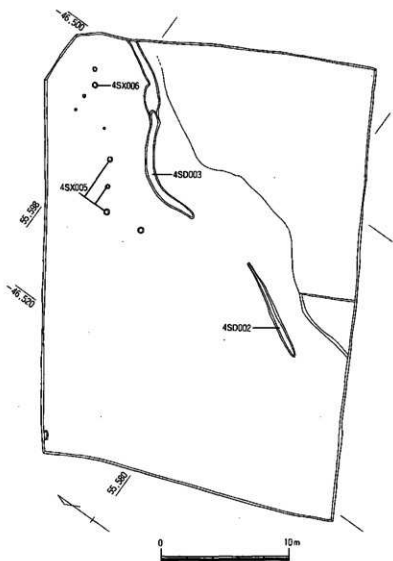
(狭川)



第78図 フケ遺跡第4次調査遺構略測図(1/300)

フケ遺跡第4次調査遺構番号台帳

S-番号	遺構番号	種別	古-新	地区
1	4SD001	大溝	上層灰色粘質土、下層腐植土	
2	4SD002	溝		
3	4SD003	溝		
4		ピット		
5	4SX005	ピット群	欄列の可能性あり。西からa・b・c	
6	4SX006	ピット	炭化物混入	



第79図 フケ遺跡第4次調査遺構図(1/300)

## (4) 第4次調査

### 1. はじめに

調査地は大宰府市大字大佐野字フケ91-1、95-1で、佐野土地区画整理事業の一環として当該対象地を調査した。調査地は周辺の状況から遺構の残存している可能性が低いと考えられていたことから、事前に試掘調査を実施し遺構の有無あるいはその残存範囲を確定してから調査することとした。試掘調査は平成5(1993)年11月12日～15日まで実施した。その結果、対象地の南半分は流路となっていたため調査対象から除外し、若干の遺構を検出した北半分に主体を置き、流路の西屑を検出できる範囲で調査区を設定することとした。発掘調査は続く16日から表土除去を開始し、25日にはすべての作業を終了した。調査対象面積は2,687㎡、調査面積は831㎡である。現地での発掘調査は狭川真一が担当し、測量等で井上信正の協力を得た。

### 2. 層位など

調査前の状況は水田であったため、その耕作土及び床土を除去するとすぐに地山が顔を出す状況であった。地山は茶色砂質土あるいは灰白色粘土であった。遺構はこの地山から直接穿たれる形で検出され、床土との間に明確な包含層は確認されなかった。

### 3. 遺構

#### 溝

4SD001 調査区の東側を略南北に流れる大溝で、溝の西屑を検出したものの東屑は調査区外に求められる。したがって検出部分から推定しても溝の幅は15m以上あったものと思われる。深さは調査した部分に限りがあるため15cm程度を確認したにとどまる。本来はさらに深くなることが予想される。溝の埋土は大きく3層に分けられ、上層から灰色粘土、茶色粘土、腐植土の順で堆積している。弥生中期末、6世紀、8世紀後半の遺物が出土している。

4SD002 長さ8.2m、幅0.2～0.6m、深さ0.1m内外で、当初は4SD003と一つであった可能性が強い。

4SD003 長さ15m、幅0.7～1.3m、深さ0.15m内外で、一部蛇行する部分がある。当初は4SD002と一つであった可能性が強い。この溝は4SD001大溝を意識して穿たれているものとみられ、大溝の西屑に沿う形で存在している。8世紀の須恵器の他、中近世陶器が出土している。

#### その他の遺構

4SX005 径0.3～0.45m、深さ0.13～0.21mのピット群で、ほぼ2.1mの間隔において東西に並んでいる。2間の横列である可能性が考えられる。

4SX006 炭化物が詰まったビットで、径0.4m、深さ0.3mを測る。

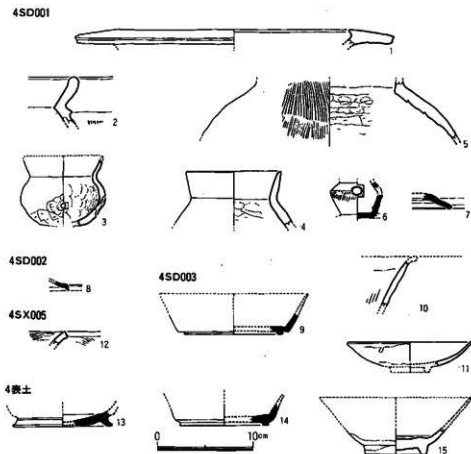
3. 出土遺物

本文末の遺物観察表を参照のこと。

4. 小結

報告したように当該地点は遺構が大きく削平されており、若干の遺構を検出したにとどまる。ただ大溝が古墳時代頃のものともみられ、フケ遺跡第1・2次調査で検出した大溝と繋がる可能性が考えられる（遺物は多少新しいものもある）。その確認の意味でも両者の中間地点での調査が要求されるところである。またこの大溝の肩に沿うように検出された小溝はやはり前記の2つの調査でも類似のものが知られており、この溝の性格について検討する必要性があろう。

(狭川)



第80図 フケ遺跡第4次調査出土遺物実測図(1/4)1~15



## (5) 総括

今回は紙数の関係上各調査地点については十分な記述ができなかった。特に土器の情報については観察表のみの提示となり、不十分さは否めない。ここでは土器の出土傾向を含めて遺跡の動態を総括しておきたい。

弥生前期については板付IないしII式の土器片が尾崎1次やフケ1次(453)などで散見され、伐採具としての石斧素材も見られることから(フケ1次378)、前田遺跡の前期村落形成に係わって開発の機運があったのかも知れない。続く弥生中期についてはフケ4次調査で後半の高坪が出土しているに止まっている。尾崎2次の古墳時代の溝中から壘積片が出ており、殿城戸1次で小児棺が検出されており丘陵裾に当該期に墳墓があったことを示している。

弥生後期は大佐野川を挟んだ北側の緩斜面にある前田遺跡では前半から住居が群で営まれ後半には掘立柱建物を複数ふくむ集落に発展する。川の南側でも鎌川1次の土器の出土状況から前半の段階で低湿地に人の手が及び後半にそのピークが認められる。後半には吉備地域などの瀬戸内地域からの少量の土器の持ち込みが見られ、終末期から古墳時代初頭には畿内V様式系、庄内式系、布留式系(古相段階)、山陰系の日用、祭祀用土器が同時に高比率で消費されるようになる。外來系土器が大半を占める段階ではあるが、平野北部沿岸の比叡、西新遺跡に比すると鼓型器台が欠落するなど、器種構成上受容されなかったものがあつたことが指摘される。この時期に北西隣に接する宮ノ本遺跡で割竹形木棺を主体部に持つ前期古墳が出現する。フケ1次では竪穴住居を含まない掘立柱建物群が展開し、鎌川1次では低湿地の水際に木製品を貯蔵し起耕具を中心とした農具が制作され、新規に農地の開発がおこなわれたと考えられる。また、この水場では銅鋼を用いた祭祀がおこなわれた。反面、水際の堅果類の地下貯蔵施設が鎌川1次、フケ1次で見つかり、福岡平野の複数の村落跡の様相と共通した食事情に不安定な事態があつたことが想定される。この時点での対岸の前田遺跡の村落とフケ・鎌川とがいかなる関係にあつたかは資料不足であるが、少ないながら鎌川遺跡には布留の中、新相の土器片が継続して見られることから二者の終焉には時期差が考えられる。

古墳時代後期の村落はやや時期をおいて6世紀に展開している。尾崎遺跡などでは須恵器の九州編年で6世紀後半に位置づけられる段階に村落のピークがあり、若干、7世紀段階のものも見られるが、通時的な後期の集落変遷はまだ資料的には追えない。尾崎1・2次や臨道遺跡などでは扉をはじめとする建築部材が低湿地に集積された状況が確認されている。

古代前期には鎌川遺跡を官道水城西門ルートが縦断しているはずであるが、積極的にその遺構を指摘し得ない。遺構は基本的に検出されずこの時期には耕作地化されたと見ているが、尾崎1次やフケ2次などでは越州系青磁碗のI・II類が出土している。

中世後期は宮ノ本7次やフケ2次で明染や李朝陶器が、フケでは土師器鉢、瓦質の播鉢、火鉢、古瀬戸菊皿など14世紀から16世紀の遺物が散見され、肥前筑紫氏の「尾崎城」や「和久堂城」など近世村落跡の存在が気にかかるところであるが、具体的な生活遺構の検出は皆無である。

近世後半期から明治前半期には灌漑施設の新規構築などに関連する溝状遺構がフケ遺跡2、3次などで見られる。この時期にはため池の築造や修築がおこなわれた時期でもあり、開発史的視点から近郷農村における一つの変革期として見て取れる。

### 参考文献

- 尾崎遺跡第1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群III」1993太宰府市教育委員会
- 宮ノ本遺跡第7-1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群IV」1993太宰府市教育委員会
- 宮ノ本遺跡第7-2次調査「太宰府・佐野地区遺跡群V」1995太宰府市教育委員会
- 鎌川遺跡第1次調査「太宰府・佐野地区遺跡群VI」1996太宰府市教育委員会

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 1

表土		S-6	
白磁	片 (1)	弥生～土師器	壺 (1)、高環 (1)
瓦類	古代平?瓦片 (1)		布留系甕 (5)、甕×壺 (36)
石製品	黒曜石製フーナ (1) 泥岩製磁石 (1)	S-7	
弥生～土師器	甕、壺、器台、小型丸底壺 高環、鉢	弥生～土師器	甕×壺 (74)、高環 (4) 壺 (2)
灰色土		S-8	
須恵器	片	土師器	甕 (1)
土師器	片	弥生～土師器	壺 (2)、鉢 (2)、支脚 (1) 甕×壺 (53)
須恵質土器	東播系鉢 (1)		
陶器	現代鉄胎 鉢 (1)	S-9	
瓦類	現代瓦片 (3)		
石製品	黒曜石製フーナ (1)	弥生～土師器	片 (7)
弥生～土師器	鉢、壺、器台、小型丸底壺 高環、甕		
S-1		S-10	
弥生～土師器	甕、鉢	弥生～土師器	布留系甕、高環、小型丸底壺
S-2		S-10灰色粘	
弥生～土師器	甕×壺 (26)	弥生～土師器	布留系甕、高環
S-3		S-10炭層直下	
土製品	メンコ (1)	弥生～土師器	布留系 (1)、片 (4)
弥生～土師器	高環 (1)、壺 (6) 甕×壺 (16)	S-10炭層以下	
S-4		土製品	メンコ (13)
弥生～土師器	片 (2)	弥生～土師器	壺×甕 (19)、高環 (1) 壺 (1)、布留系甕 (13)
S-5		S-10緩下層	
土製品	メンコ (2)	弥生～土師器	布留系甕
石製品	辰砂?		
弥生～土師器	壺 (6)、高環 (5)、器台(2) 甕×壺 (12)		
		S-11	
		弥生～土師器	片 (18)

※□は個体数、( )は破片数を示している。

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 2

S-12		S-21	
弥生～土師器	甕×壺 (17)	土製品	メンコ (1)
S-13		弥生～土師器	高坏 (11)、甕×壺 (50) 片 (1)
弥生～土師器	布留系甕 (1)、片 (17)	S-22	
S-14		弥生～土師器	鉢 (1)
弥生～土師器	甕Ⅱ	S-23	
S-15		弥生～土師器	高坏Ⅱ、片 (10)
弥生～土師器	壺Ⅱ(S-15柱痕と接合)、片(3)	S-24	
S-15柱痕		土製品	メンコ (1)
弥生～土師器	甕 (1)、片 (3)	弥生～土師器	甕×壺 (17)、鉢 (1) 脚(1)、在地甕(叩き有) (1)
S-15掘方		S-25	
弥生～土師器	高坏(3)、壺(1)、甕×壺(60)	弥生～土師器	甕(叩き有るもの有)×壺(39)
S-16		S-26	
弥生～土師器	高坏 (1)、甕×壺 (6)	弥生～土師器	甕×壺 (17)、鉢 (1)
S-17		S-27	
弥生～土師器	甕×壺 (8)	弥生～土師器	甕×壺 (3)
S-18		S-28	
土製品	メンコ (4)	弥生～土師器	板(甕 (1)
弥生～土師器	片 (22)	S-29	
S-19		弥生～土師器	壺 (1)、甕 (1)、片 (6)
弥生～土師器	甕 (2)、片 (23)	S-30	
S-20		弥生～土師器	甕×壺 (56)、布留系甕 (1) 器台 (1)
須恵器	坏蓋? (1)		
土製品	メンコ (1)		
弥生～土師器	壺 (2)、高坏 (1)、器台(1) 片 (18)		

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 3

S-31		S-40	
弥生～土師器	在地系壺×甕 (42)、甕 (2) 布留系 (7)、高坏 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (34)、壺 (1) 高坏 (1)、鉢 (1) 布留系甕 (1)
S-32		S-41	
弥生～土師器	甕 (1)、甕×壺 (9)	弥生～土師器	甕×壺 (4)
S-33		S-42	
弥生～土師器	鉢 (1)、甕(叩き有) (1) 甕×壺 (21)、高坏□	土製品	メンコ (3)
S-34		弥生～土師器	甕×壺 (12)、高坏 (1) 甕 (1)
土製品	メンコ (1)	S-43	
弥生～土師器	片 (6)	弥生～土師器	甕 (3)、甕×壺 (17) 壺 (1)
S-35		S-44	
石製品	緑色片岩片 (1)	須恵器	片? (1)
弥生～土師器	甕 (1)、布留系? 甕 (1) 壺 (3)、壺×甕 (69) 鉢 (3)、平底壺 (1) 複合口縁壺□	土製品	メンコ (1)
S-36		弥生～土師器	高坏 (1)、甕×壺 (40) 鉢 (1)
土製品	メンコ (6)	S-45	
弥生～土師器	甕 (3)、壺 (2) 甕×壺 (118)	土製品	メンコ (4)
S-37		弥生～土師器	甕×壺 (33)、支脚 (1) 壺 (1)、甕 (2)
弥生～土師器	片 (6)	S-46	
S-38		弥生～土師器	高坏 (1)、壺×甕 (18) 平底壺 (1)、器台 (1)
弥生～土師器	甕×壺 (12)、高坏? (1) 甕(叩き有) (1)	S-47	
S-39		弥生～土師器	壺 (1)、鉢 (1)、片 (10)
弥生～土師器	甕 (1)、片 (1)	S-48	
		弥生～土師器	甕×壺 (4)、布留系 (2)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 4

S-49		S-60	
石製品	石英片 (1)	土製品	メンコ (2)
弥生～土師器	甕 (1)、片 (10)	弥生～土師器	壺 (1)、器台 (1)、甕 (2) 甕(叩き有) (1)、片 (26)
S-50			
弥生～土師器	甕×壺 (8)、手づくね (1) 壺 (3)	S-61	
		弥生～土師器	片 (3)
S-51		S-63	
弥生～土師器	甕×壺 (4)	弥生～土師器	壺×甕片 (5)
S-52		S-64	
弥生～土師器	甕×壺 (22)	弥生～土師器	甕×壺 (10)
S-53		S-65	
弥生～土師器	甕×壺 (42)、甕 (2)	土製品	杓子型 (1)
S-54		弥生～土師器	壺×甕 (43)、甕 甕(叩き有) (4) 壺(叩き有) (2)
土製品	メンコ		
弥生～土師器	甕×壺 (70)、大甕 (1) 器台 (1)、高坏 (1) 甕 (2)、壺 (1)	S-66	
		弥生～土師器	甕×壺 (6)
S-56		S-67	
弥生～土師器	片 (6)	弥生～土師器	甕×壺 (6)
S-57		S-68	
弥生～土師器	器台 (1)、壺×甕 (3) 壺 (1)	弥生～土師器	壺 (2)、片 (4)
S-58		S-69	
弥生～土師器	小壺 (1)、甕×壺 (32)	弥生～土師器	甕×壺 (10)
S-59		S-70	
土製品	メンコ (5)	土製品	メンコ (1)
弥生～土師器	甕×壺 (25)、高坏 (1) 小壺 (1)	弥生～土師器	甕×壺(叩き有) (10) 壺 (3)、甕 (2)、高坏 (1)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 5

S-71		S-80	
弥生～土師器	甕×壺 (11)、壺 (1)	土製品	メンコ (5)
S-72		弥生～土師器	甕×壺 (39)、高坏 (2)
土製品	メンコ (1)		甕(平行叩き有)(1)、壺(1)
弥生～土師器	片 (5)	S-81	
S-73		弥生～土師器	甕×壺 (3)、甕Ⅱ
弥生～土師器	甕×壺 (31)、大甕 (1)	S-82	
	高坏 (1)、壺 (4)、甕Ⅱ	弥生～土師器	甕×壺 (7)
S-74		S-83	
弥生～土師器	甕×壺 (10)、布留系甕 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (3)、壺 (1)
	甕 (1)、鉢 (1)	S-84	
S-75		土製品	メンコ (1)
弥生～土師器	手づくね坏 (1)、甕 (2)	弥生～土師器	甕×壺 (5)、高坏 (3)
	甕×壺 (18)	S-85	
S-76		土製品	メンコ (3)
土製品	メンコ (6)	弥生～土師器	甕×壺 (20)、高坏 (8)
石製品	泥岩製砥石 (1)		甕Ⅲ
弥生～土師器	甕×壺 (1)、高坏 (1)	S-86	
	壺 (1)、鉢 (1)、器台 (1)	土製品	メンコ (10)
S-77		石製品	石英製台石 (1)
弥生～土師器	甕×壺 (19)、壺 (1)	弥生～土師器	布留系 (3)、甕×壺 (556)
S-78			高坏 (8) うち布留系(1)有り
弥生～土師器	甕×壺 (6)		甕 (12)、鉢 (3)、壺 (3)
			大甕 (1)、器台 (2)
S-79		S-87	
土製品	メンコ (1)	土製品	メンコ (1)
弥生～土師器	甕×壺 (15)、壺 (1)	弥生～土師器	在地系鉢 (1)、甕×壺 (8)
		S-88	
		弥生～土師器	甕 (1)、片 (2)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 6

S-89		S-97	
弥生～土師器	甕×壺 (29)	土製品	メンコ (3)
		弥生～土師器	布留系 (3)、支脚 (1)
S-90			甕×壺 (94)、高坏 (1)
			甕 (1)
弥生～土師器	高坏 (2)、甕×壺 (20)	S-98	
	甕 (2)		
S-91		弥生～土師器	甕 (1)、壺 (1)
			甕×壺 (80)
土製品	メンコ (1)	S-99	
弥生～土師器	甕×壺 (61)、高坏 (1)		
	布留系 (2)、壺 (1)	土製品	メンコ (3)
	甕 (1)	弥生～土師器	布留系 (3)、高坏 (1)
S-92			大甕 (1)、甕×壺 (66)
		S-100	
土製品	メンコ (3)		
弥生～土師器	甕×壺 (23)、支脚 (1)	弥生～土師器	庄内系 (3)、甕×壺 (26)
	複合口縁壺 (1)、器台 (1)		甕 (1)、壺 (1)
S-93		S-102	
弥生～土師器	大甕 (3)、甕×壺 (20)	弥生～土師器	甕×壺 (7)
	甕 (1)		
S-94		S-103	
土製品	メンコ (1)	弥生～土師器	甕×壺 (19)、布留系 (3)
弥生～土師器	甕×壺 (12)	S-104	
S-95			
		弥生～土師器	甕×壺 (14)、布留系 (1)
弥生～土師器	甕×壺 (79)、鉢 (1)	S-105	
	甕(叩き有) (3)		
S-96		土製品	メンコ (3)
		弥生～土師器	壺 (2)、甕×壺 (63)
土製品	メンコ (5)	S-106	
弥生～土師器	高坏 (3)、壺 (3)、甕 (4)		
	布留系 (40)、甕×壺 (148)	土製品	メンコ (2)
	小型丸底壺 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (24)、器台 (1)
	器台(叩き有) (1)		

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 7

S-107		S-110下層L5区	
弥生～土師器	甕×壺(10)、器台(4) 甕(1)、壺(1)	弥生～土師器	布留系甕(14)、高坏(1) 坏(1)、複合口縁壺(3) 甕×壺(32)
S-108		S-111	
土製品	絵画土器(1)	白磁	碗(近代)(1)
弥生～土師器	器台(1)、甕×壺(82)、甕(2)	弥生～土師器	壺(2)、小壺(1) 甕×壺(74)
S-109		S-112	
弥生～土師器	庄内系甕(1)、短頸壺(1) 甕(3)、複合口縁壺(1) 甕×壺(55)、高坏(1) 大甕(1)	土製品	メンコ(3)
		弥生～土師器	庄内系(1)、甕×壺(92) 高坏(1)、甕(2) 叩き有(1)
S-110 4区		S-113	
弥生～土師器	布留系甕(164)、甕×壺(172) 壺(7)、甕(1)、器台(1) 支脚(1)、高坏(2) 山陰系甕(1)、甕(1) 庄内系壺(波状文)Ⅱ	弥生～土師器	甕×壺(18)
		S-114	
S-110 L5区		弥生～土師器	甕×壺(27)、器台(1) 高坏(1)、庄内系?(1) 甕(2)
弥生～土師器	布留系甕(3)、甕×壺(22) 壺(3)、鉢(1)	S-115	
S-110上層54ㄗ		弥生～土師器	甕×壺(21)、甕(1)
土製品	メンコ(1)	S-116	
弥生～土師器	布留系甕(377)Ⅲ、鉢(3) 高坏(24)、小鉢(1) 壺(1)、小型丸底壺(1)Ⅱ 支脚(3)、甕(1)、坏(2) 庄内系甕(1)、庄内系壺(1) 布留系在地甕(2) 甕×壺(884)	土製品	メンコ(1)
		弥生～土師器	甕(1)、片(5)
		S-117	
		弥生～土師器	甕×壺(5)
S-110下層54ㄗ		S-118	
弥生～土師器	布留系甕(54)、器台(1) 山陰系甕(1)、高坏(2) 在地甕(2)、壺(3) 甕×壺(166)	弥生～土師器	甕×壺(4)、器台(2) 甕(2)



フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 8

S-119		S-127	
弥生～土師器	甕×壺 (14)	弥生～土師器	器台 (1)、甕×壺 (11) 高坏 (2)
S-120		S-128	
土製品	メンコ (7)	弥生～土師器	支脚 (1)、甕×壺 (13) 器台 (1)
弥生～土師器	布留系 (7)、庄内系甕 (2) 甕 (4)、高坏 (2)、鉢 (1) 器台 (6)、甕×壺 (453) 複合口縁壺 (1)	S-129	
S-121		土製品	メンコ (1)
弥生～土師器	複合口縁壺 (1)、器台 (1)	弥生～土師器	甕×壺(4)、甕(叩き有) (3)
S-122		S-130	
弥生～土師器	片 (7)	石製品	泥岩製砥石 (1)
S-123		S-130 III区	
弥生～土師器	甕×壺 (6) 甕 (2) うち叩き有 (1)	土製品	メンコ (1)
S-124		弥生～土師器	布留系 (97)、甕×壺 (649) 甕 (10)、壺 (19)、鉢 (6) 高坏 (12)、支脚 (2) 器台 (1)
弥生～土師器	布留系甕 (1)、大甕 (2) 甕×壺 (4)	S-130 H13区	
S-125		弥生～土師器	布留系 (35)、甕×壺 (258) 高坏 (7)、壺 (9)、鉢 (3) 甕 (7)、小型丸底壺 (3) 支脚 (1)
土製品	メンコ (1)	S-130 H14区	
弥生～土師器	甕×壺 (31)、庄内系 (1) 手づくね坏 (1)	弥生～土師器	布留系 (30)、甕×壺 (221) 高坏 (3)、壺 (8)、鉢 (2) 甕 (1)
S-126		S-130 10747	
弥生～土師器	高坏 (1)、布留系 (2) 甕 (1)、甕×壺 (14)	弥生～土師器	布留系 (10)、甕×壺 (149) 高坏 (2)、壺 (7)、鉢 (1)
S-126下層			
弥生～土師器	布留系 (8)、甕×壺 (11) 甕 (1)		

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 9

S-130 II0区		S-136	
弥生～土師器	布留系 (4)、甕×壺 (233)	弥生～土師器	器台 (1)、甕×壺 (8)
	高坏 (2)、壺 (1)、甕 (1)		甕(明き有) (1)
S-131		S-137	
弥生～土師器	高坏 (4)、布留系甕 (21)	弥生～土師器	片 (9)
	器台 (1)、甕×壺 (47)		
	壺 (3)	S-138	
S-132		弥生～土師器	小型丸底壺 (1)、布留系(8)
土製品	メンコ (2)		甕×壺 (28)
弥生～土師器	布留系甕 (25)、鉢 (3)	S-139	
	壺 (3)、壺×甕 (201)	弥生～土師器	片 (4)
	甕 (2)、庄内系甕? (1)		
S-133		S-141	
弥生～土師器	布留系甕 (17)、壺 (2)	弥生～土師器	器台 (1)、庄内系 (1)
	甕×壺 (68)、高坏 (1)		壺 (1)、甕×壺 (20)
S-134		S-142	
弥生～土師器	甕×壺 (4)、壺 (1)	弥生～土師器	布留系 (1)、甕×壺 (5)
S-135		S-143	
弥生～土師器	布留系甕③、大甕片	弥生～土師器	片 (5)
	高坏小、大		
S-135黒灰色土		S-144 B区	
弥生～土師器	布留系甕、甕、高坏小、大	弥生～土師器	甕×壺 (2)
	東九州系複合口縁壺	S-144 L5区	
	庄内系甕、小型丸底壺	弥生～土師器	片 (3)
S-135黒灰色粘		S-146	
弥生～土師器	布留系甕、高坏小、大、器台	弥生～土師器	壺×甕 (11)、高坏 (1)
S-135灰色粘		S-147	
弥生～土師器	山陰系甕、甕×壺	弥生～土師器	器台 (1)、片 (4)

S-148		S-161	
弥生～土師器	布留系 (2)、壺×甕 (11) 甕 (3)	弥生～土師器	壺 (1)、片 (19)
S-149		S-162	
弥生～土師器	壺×甕 (4)	弥生～土師器	壺×甕 (43)、高坏 (1) 壺 (5)、絵画土器? (2)
S-151		S-163	
弥生～土師器	壺 (1)、壺×甕 (7)	弥生～土師器	甕×壺 (7)
S-152		S-164	
弥生～土師器	布留系 (14)、壺×甕 (26) 壺 (4)、鉢 (1)、甕 (1)	土製品	メンコ (4)
		弥生～土師器	甕 (3)、甕×壺 (36)
S-153		S-166	
弥生～土師器	片 (16)	土製品	メンコ (1)
		弥生～土師器	甕×壺 (6)
S-154		S-167	
弥生～土師器	甕×壺 (58)、甕 (1) 布留系高坏 (1)	土製品	メンコ (2)
		弥生～土師器	壺 (1)、片 (1)
S-156		S-168	
弥生～土師器	壺×甕 (21)、短頸壺 (1) 鉢 (1)	土製品	メンコ (1)
		弥生～土師器	壺 (1)、甕×壺 (48) 甕 (1)
S-157		S-169	
弥生～土師器	庄内系甕 (1)、甕 (1) 片 (13)	弥生～土師器	片 (6)
S-158		S-171	
弥生～土師器	高坏 (1)、甕×壺 (6)	弥生～土師器	壺×甕 (18)
S-159		S-172	
弥生～土師器	器台 (1)	土製品	メンコ (2)
		弥生～土師器	甕×壺 (10)、布留系壺 (3) 器台 (1)、壺 (1)

S-173		S-184	
土製品	メンコ (1)	弥生～土師器	高坏 (1)、甕(叩き有) (1)
弥生～土師器	甕×壺 (10)		甕×壺 (19)、布留系 (1)
S-174		S-186	
土製品	メンコ (2)	弥生～土師器	鉢 (1)、布留系甕 (1)
弥生～土師器	布留系甕、片 (5)		甕×壺 (7)
S-176上面		S-187	
弥生～土師器	複合口縁甕 (1)	弥生～土師器	高坏 (1)、甕(叩き有) (2)
			器台 (1)、甕×壺 (46)
S-177		S-188	
弥生～土師器	布留系 (1)、甕×壺 (6)	弥生～土師器	高坏 (1)、甕×壺 (5)
	壺 (1)		甕 (1)
S-178		S-189	
弥生～土師器	鉢 (1)、甕(叩き有) (1)	土製品	メンコ (3)
	片 (2)	弥生～土師器	甕×壺(3)
S-179		S-191	
弥生～土師器	器台 (2)、甕(叩き有) (2)	弥生～土師器	甕×壺 (9)、布留系 (1)
	甕 (1)、片 (4)		
S-181		S-192	
弥生～土師器	甕(叩き有) (6)、甕×壺 (5)	土製品	メンコ (3)
	甕 (1)、壺 (1)	弥生～土師器	甕×壺(24)、高坏 (1)
			器台 (1)、壺 (1)
S-182		S-193	
土製品	メンコ (1)	土製品	メンコ (4)
弥生～土師器	小壺 (1)、甕×壺 (13)	弥生～土師器	甕×壺(76)、高坏 (2)
	壺 (1)		布留系 (23)、庄内系甕(1)
S-183			器台(叩き有) (4)、甕 (2)
土製品	メンコ (1)	S-194	
弥生～土師器	甕(叩き有) (1)、甕×壺(15)	土製品	メンコ (2)
		弥生～土師器	甕×壺(29)、器台 (2)
			甕 (2)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 12

S-196		S-200 灰色土	
土製品	メンコ (1)	石製品	玄武岩製大型刃器 (1)
弥生～土師器	甕×壺(3)、甕 (2)	弥生～土師器	甕×壺 (23)、甕 (1)
S-197		S-201	
弥生～土師器	布留系甕 (2)、庄内系 (2)	弥生～土師器	壺 (2)、甕×壺 (3)
	甕×壺 (26)		
S-198		S-202	
弥生～土師器	甕×壺 (11)、布留系 (2)	弥生～土師器	高坏 (2)、甕×壺 (16)
			壺 (1)
S-199		S-203	
弥生～土師器	甕×壺 (8)	弥生～土師器	甕×壺 (32)、支脚? (1)
			鉢? (1)
S-200 F13区		S-204	
弥生～土師器	壺 (4)、壺×甕 (17)	弥生～土師器	甕×壺 (15)、甕 (1)
	布留系甕 (3)、高坏 (1)		
S-200 F14区		S-205	
弥生～土師器	壺×甕 (16)、布留系 (4)	弥生～土師器	高坏 (2)、甕×壺 (55)
	壺 (2)		鉢 (2)
S-200 G11区		S-206	
土製品	メンコ (2)、瓦玉 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (17)、壺 (1)
弥生～土師器	壺×甕 (170)、布留系甕(9)		
	壺 (14)、甕 (2)、瓶 (1)	S-207	
	高坏 (4)、庄内系壺 (1)		
	器台 (1)、小型丸底甕 (1)	土製品	メンコ (3)
S-200 G12区		石製品	安山岩製フエノ (1)
		弥生～土師器	高坏 (4)、布留系甕 (3)
土製品	メンコ (3)	S-208	
石製品	軽石 (1)		
弥生～土師器	壺×甕 (90)、布留系甕 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (12)、高坏 (1)
	壺 (6)、甕 (2)、高坏 (2)		
	器台 (2)、樽型器台 (1)	S-209	
	鉢 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (21)、甕 (2)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 13

S-210		S-222	
弥生～土師器	布留系甕 (1)、庄内系甕 (2)	土製品	メンコ (1)
	甕×壺 (23)、高坏 (1)	弥生～土師器	片 (1)
S-211		S-223	
弥生～土師器	高坏 (3)、甕×壺 (14)	弥生～土師器	甕×壺 (6)
S-212		S-224	
弥生～土師器	甕×壺 (3)	弥生～土師器	甕×壺 (2)
S-213		S-226	
弥生～土師器	片 (1)	弥生～土師器	甕×壺 (2)
S-214		S-301	
弥生～土師器	高坏 (1)、甕? (1)	弥生～土師器	甕×壺 (44)、布留系甕 (1) 在地布留系 (1)、器台 (1) 壺 (1)
S-216		S-302	
弥生～土師器	壺 (1)、片 (1)	弥生～土師器	壺×甕 (7)、甕 (1)、鉢 (1)
S-217		S-304	
弥生～土師器	甕 (2)、甕×壺 (7) 壺 (2)	弥生～土師器	壺×甕 (12)、壺 (1)
S-218		S-305	
土製品	メンコ (1)	土製品	メンコ (1)
石製品	黒曜石製フネ (1)	弥生～土師器	甕×壺 (1)
弥生～土師器	甕×壺 (20)、庄内系甕 (1) 壺 (1)、高坏 (1)、甕 (1)	S-306	
S-219		弥生～土師器	甕×壺 (6)
弥生～土師器	庄内系 (1)、甕×壺 (21) 甕 (1)	S-307	
S-221		弥生～土師器	壺 (2)、甕×壺 (5)
弥生～土師器	高坏 (2)、壺×甕 (3)	S-308	
		弥生～土師器	大甕 (1)、布留系甕 (1)

フケ遺跡第1次調査出土遺物一覧表 14

S-309	
弥生～土師器	片 (5)
S-310	
土製品	メシコ (2)
弥生～土師器	甕×壺 (13)
S-311	
弥生～土師器	甕×壺 (4)
S-312	
弥生～土師器	鉢 (1)、甕×壺 (6)
	甕 (1)

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 1

耕土		S-1	
須恵器	坏c3、甕	土製品	メンコ (2)
越州窯系青磁	片	弥生～土師器	高坏 (4)、布留系 (5)
龍泉窯系青磁	碗I片、III (1)		壺胴部片 (1)
同安窯系青磁	碗片		
	皿片	S-1 黒色土	
白磁	皿III		
瓦質土器	鉢	須恵器	坏蓋IV、IIB
陶器	ハケ手 坏 (近世～)	土師器	坏、脚付坏
	緑釉 土瓶 (近代)	白磁	皿IX
	古瀬戸 菊皿	青花	肥前系染付皿
	白釉 徳久利 (近世～)	石製品	管玉 (1)、鏝
青花	肥前系皿		安山岩製7ルナ、黒曜石製7ルナ
	明染付碗	弥生～土師器	壺 (15) うち在地 (1)
瓦類	平 (格子叩き)		甕 (19)、甕×壺 (1)
石製品	鏝 (1)		小型丸底壺 (1)、高坏(12)
弥生～土師器	高坏、布留系甕		支脚 (2)、壺×鉢 (1)
			手づくね鉢 (2)、器台 (1)
暗灰色土			小壺 (2)、鉢 (3)
須恵器	坏蓋c1、c2 (IIB)、甕、高坏	S-2 腐食土	
土師器	甕、甕、手づくね笠型		
瓦器	碗、壺	石製品	黒曜石製7ルナ
越州窯系青磁	碗II片	弥生～土師器	片
龍泉窯系青磁	碗I片		
	皿片	S-3 腐食土	
同安窯系青磁	碗片		
土製品	メンコ(近世～近代陶器)、瓦玉	弥生～土師器	ひきこ型壺 (1)
白磁	碗VIII、IV		
	片	S-5 黒灰色粘	
土師質土器	鉢		
瓦質土器	スリ鉢	弥生～土師器	甕×壺片
陶器	襷輪 甕 (近世～)		
	スリ鉢 (近世～)	S-5 埋土	
	盤 (近世～)		
	小壺(新安期中国産か)	弥生～土師器	庄内系甕、短頸壺
青花	肥前系碗、皿		
	赤絵碗	S-8	
	印版手碗		
瓦類	丸、平	弥生～土師器	布留系甕片、小坏、小壺
石製品	黒曜石製7ルナ、安山岩製7ルナ		複合口縁壺
	鏝 (2)		
弥生～土師器	甕	S-9	
		弥生～土師器	布留系甕片、高坏、坏



フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 2

S-10		S-18	
弥生～土師器	布留系甕、平底甕、坏	弥生～土師器	布留系甕片、高坏片
S-10 黒灰色土		S-19 黒灰色土	
弥生～土師器	甕片	須恵器	甕(内面すり消し)
S-11 黒色土		弥生～土師器	布留系甕、大甕(叩き有) 高坏
土製品	当て具?	S-19 茶褐色粘	
石製品	安山岩製7～7	土師器	坏
弥生～土師器	甕、高坏、丸底甕、山陰系甕 小型特殊器台、坏	弥生～土師器	布留系甕片
S-12 黒色粘		S-19 暗褐色土	
土製品	焼土塊	弥生～土師器	布留系片
石製品	砂岩製磁石	S-20	
弥生～土師器	布留系甕、壺、小型丸底甕 高坏	白磁	罐IV (1)
S-13 黒灰色砂		石製品	黒曜石製鏃
須恵器	坏c3、c2	弥生～土師器	甕片、甕片
陶器	ナマコ輪 皿(近代～現代) 碗	S-20 黒色土	
青花	肥前系丸碗	須恵器	甕片、甕片、坏a
弥生～土師器	布留系甕、小型丸底甕、小壺 小型特殊器台	土師器	片
		石製品	黒曜石製7～7
		弥生～土師器	高坏
S-14		S-21 黒色土	
弥生～土師器	布留系甕、大甕	弥生～土師器	甕、布留系甕、庄内系甕
S-15		S-22	
土師器	片	弥生～土師器	片
陶器	垢器 鉢?	S-23	
S-16		土師器	片
弥生～土師器	庄内系甕、布留系甕	白磁	小碗(近世～現代)
S-17		弥生～土師器	片
弥生～土師器	布留系甕、高坏		

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 3

S-23 暗灰色土		S-31	
須恵器	坏蓋2、3、甕、坏c3	須恵器	壺
白磁	皿VI	弥生～土師器	甕
陶器	褐釉 大甕		
	アメ釉 大皿、小皿	S-32	
	緑釉 急須蓋		
	瓦器 スリ鉢	弥生～土師器	片
	ハケ手 大皿(唐津系)		
青花	肥前系 丸碗、徳久利	S-33	
	印版手 碗		
石製品	石英	弥生～土師器	布留系甕、小型丸底壺 山陰系甕、在地高坏片
S-24 茶灰色土			
須恵器	坏蓋、甕(内面すり消し)	S-34	
土師器	坏	弥生～土師器	複合口縁壺
S-25		S-35	
須恵器	坏c1、坏蓋c1、坏(IVB、IIB)	須恵器	甕、甕?、坏(IVB)
土師器	片	土師器	壺
石製品	黒曜石製7r-7	弥生～土師器	片
弥生～土師器	甕片		
		S-36	
S-26		弥生～土師器	高坏片
弥生～土師器	布留系甕片、小坏片		
S-27		S-37	
弥生～土師器	布留系甕、壺	石製品	安山岩製7r-7
		弥生～土師器	庄内系甕、布留系甕、長頸壺
S-28		S-38	
須恵器	坏(IV?)	弥生～土師器	布留系片
弥生～土師器	山陰系甕片、布留系甕片、壺		
		S-39	
S-29		弥生～土師器	布留系片、手づくね坏片
土師器	片		
		S-41	
S-30		弥生～土師器	布留系片、山陰系?
須恵器	坏(IVB)?片		
弥生～土師器	布留系甕片		

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 4

S-42		S-54	
須恵器	坏 (III B~IV A)	土師器	片
弥生~土師器	布留系		
S-43		S-56	
須恵器	坏cl、坏 (IV A?)、壺	弥生~土師器	布留系?
弥生~土師器	甕×壺片、布留系片	S-57	
S-44		土師器	甕片
弥生~土師器	布留系甕、山陰系甕	S-58	
S-46		土師器	甕?片
		土製品	焼土?片
弥生~土師器	布留系甕底部片	石製品	石包丁 (1)
S-47		S-59	
瓦質土器	スリ鉢片	土師器	甕片
弥生~土師器	片	陶器	常滑×備前 (1)
S-48		S-62	
須恵器	甕片	須恵器	坏
土師器	片	黒色土器A	片
S-49		S-63	
土師器	甕片	須恵器	壺片
		土師器	片
S-51		S-64	
須恵器	片	土師器	片
土師器	片	陶器	ナマコ輪 坏?片
S-52		S-66	
弥生~土師器	片	土師器	甕?片
S-53		陶器	天目 碗? (美濃か?)
須恵器	坏菴cl	S-67	
		土師器	甕?片

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 5

S-68		S-79	
土師器	片	土師器	片
		青花	肥前系染付片
S-69		S-80	
須恵器	片	須恵器	甕片
土師器	甕片	白磁	碗片
S-71		弥生~土師器	大甕片
土師器	甕片	S-81	
石製品	泥岩片(もと磁石か)	須恵器	坏片
		土師器	坏片
S-72		S-82	
白磁	片	土師器	片
弥生~土師器	壺片	弥生~土師器	片
S-73		S-83	
土師器	片	土師器	片
弥生~土師器	布留系片	弥生~土師器	片
S-74		S-84	
須恵器	坏片、甕片	須恵器	片
土師器	片	土師器	片
陶器	褐釉 瓶		
	雑釉 坏		
青花	肥前系小皿	S-86	
		土師器	片
S-76		弥生~土師器	片
土師器	坏	S-87	
S-77		須恵器	甕片、坏c
土師器	片	土師器	坏a×b
石製品	輝緑凝灰岩製石包丁	龍泉窯系青磁	碗I-S-b
		瓦質土器	土鈴、スリ鉢
S-78			
須恵器	坏c3		
土師器	片		

フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 6

S-88		S-97	
須恵器	甕片	須恵器	坏?片、甕片
土師器	片	石製品	硯石片
弥生~土師器	片	弥生~土師器	片
S-89		S-98	
弥生~土師器	甕×壺片	須恵器	甕片
S-91		S-99	
須恵器	甕×壺片	土師器	坏
土師器	片		
白磁	片	S-101	
青花	肥前系?片		
弥生~土師器	片	須恵器	片
S-92		土製品	ふいご羽口
		石製品	黒曜石製7レ?
須恵器	甕片(内面すり消し)	弥生~土師器	片
土師器	片	S-102	
金属製品	鉄滓		
S-93		土師器	甕片
		S-103	
土師器	片		
弥生~土師器	布留系	石製品	珪化木片
S-94		弥生~土師器	甕×壺片
		S-104	
須恵器	坏(III~IV?)		
S-95 被灰色粘		弥生~土師器	高坏、坏、甕×壺片
		S-105	
弥生~土師器	壺片		
S-95 暗茶灰色粘		青花	肥前系碗
		S-106	
土師器	坏、高坏		
S-96		須恵器	坏蓋cl
		弥生~土師器	高坏
弥生~土師器	甕×壺	S-107	
		白磁	坏IX
		土師質土器	スリ鉢

## フケ遺跡第2次調査出土遺物一覧表 7

S-108	
須恵器	甕片
弥生～土師器	甕×壺片
S-109	
土師器	小皿イト
青花	肥前系碗
S-111	
土師器	片
青花	肥前系そば猪口片
Z	
弥生～土師器	大甕（口縁部）

フケ遺跡第3次調査出土遺物一覧表

表土		S-7	
須恵器	坏? (1)	弥生~土師器	高坏 (1)
S-1		S-8	
須恵器	片 (3)	土製品	メンコ (1)
土師器	片 (5)	弥生~土師器	甕×壺 (6)
陶器	現代陶器片 (1)		
弥生?	片 (1)	S-9	
S-2		土製品	メンコ (1)
		弥生~土師器	甕×壺 (2)
須恵器	甕片 (2)		
弥生~土師器	小型丸底甕 (1)	S-11	
S-4		弥生~土師器	片 (2)
弥生~土師器	甕×壺 (14)、低脚高坏 (1)	S-12	
S-4 暗茶褐色土		弥生~土師器	鉢 (1)
弥生~土師器	甕×壺 (7)	S-13	
S-4 黒灰色砂土		陶器	褐釉 片 (1)
			鉄釉 片 (1)
弥生~土師器	布留系 (1)、甕×壺 (5)	弥生~土師器	片 (3)
S-6		S-16	
弥生~土師器	甕 (1)、器台 (1)	須恵器	坏c (ヘラ記号有)
	手づくね鉢 (1)、布留系甕(1)	陶器	褐釉 片 (近世~近代)
	甕×壺 (34)	瓦類	片 (近代か?)
		石製品	泥岩製砥石 (1)
S-6 暗灰色土		S-16 黒灰色土	
弥生~土師器	甕×壺(32)、山陰系? 甕片(1)		
	高坏 (3)、壺 (2)、鉢 (2)	須恵器	甕片 (1)
	壺(3)うち内面が? (1)、叩き(1)	弥生~土師器	片 (7)
	器台 (3)		

フケ遺跡第4次調査出土遺物一覧表

表土		S-5a	
須恵器	甕、坏、坏c2、坏c3、壺	弥生～土師器	甕×壺(10)、甕(印き有) (1)
土師器	坏aイト (1)		
龍泉窯系青磁	碗片 (1)	S-5b	
白磁	碗VIII		
陶器	褐釉 壺 (近現代) (1)	土製品	メンコ (1)
青花	染付碗、小皿	弥生～土師器	片 (3)
石製品	安山岩製フルネ		
弥生～土師器	高坏(1)、甕、高坏、長頸壺	S-5c	
大溝		弥生～土師器	布留系 (1)、庄内系 (1) 器台? (1)、甕 (1)、片(9)
須恵器	子持器台 (1)、坏 (1)		
土師器	小壺		
弥生～土師器	高坏 (1)、甕、高坏、壺		
S-1 灰色粘			
須恵器	坏蓋3 (1)、壺 (1)、片(4)		
金属製品	滓 (1)		
弥生～土師器	甕、小壺		
S-2			
須恵器	坏蓋3 (1)		
土師器	片 (1)		
S-3			
須恵器	坏3(1)、甕(3)、壺(1)、片(6)		
白磁	近世～ (2)		
陶器	スリ鉢(近現代) (1)、坏 (2)		
S-4			
弥生～土師器	布留系 (1)、片 (1)		



フケ1次遺物調査票(1)

No.	部 類	産 物	国産品号	写真番号	K番号	口 径	高 さ	底 径	外 面				内 面				備 考 (+は欠損、●は修復済)			
									たたきぬ	なで	ほけ	よこほけ	下手け	字引	みがき	なで		ほけ	けり	字引
1	弥生 甕	ISB215 (S-90)				001	17.6*	3.5*	-											
2	弥生 甕	# (S-80)				006	-	3.0*	-			○								
3	弥生 甕	# (S-60)				001	-	3.8*	-			○								
4	弥生 甕	# (S-60)				006	-	3.2*	-											
5	弥生 甕台	# (S-60)				007	-	5.1*	-											手直し
22	弥生 甕	ISB220 (S-92)				002	-	2.3*	-			○								
23	弥生 甕	# (S-40)				002	-	2.5*	-											
24	弥生 甕	# (S-15 残破)				001	15.8*	7.0*	-							○		○		
25	弥生 甕	# (S-108)				001	-	5.5*	-			○								
26	弥生 甕×甕	# (S-15)				007	-	6.3*	-			○		○						
27	弥生 甕	# (S-40)				004	23.8*	4.7*	-											
28	弥生 甕	# (S-111)				001	7.9*	4.4*	-			○								
29	弥生 甕台	# (S-92)				001	-	7.3*	-											
30	弥生 甕坪	# (S-40)				003	-	2.4*	-			○								
31	弥生 甕坪	# (S-15 縦方向)				001	-	4.0*	-			○								○
32	弥生 甕台	# (S-108)				002	-	3.5*	-											
46	弥生 甕	ISB225 (S-20)				002	-	3.3*	-			○								
47	弥生 甕×甕	# (S-70)				003	-	2.3*	-			○								
48	弥生 甕	# (S-85)				001	17.0*	13.7*	-			○								
49	弥生 甕坪	# (S-20)				003	-	1.7*	-											
50	弥生 甕坪	# (S-85)				002	-	4.4*	-			○								○
54	弥生 甕	ISB230 (S-65)	12	15-1		003	16.8	17.7	6.6											
55	弥生 甕	# (S-65)	12	15-1		004	14.6*	10.5*	-			○		○						
56	弥生 甕	# (S-75)				001	-	2.5*	-			○								
57	弥生 甕	# (S-125)	12	15-1		002	10.2*	5.3	-											手直し
58	弥生 甕	# (S-75)				002	-	3.4*	-											手直し
59	弥生 甕台	# (S-128)				001	-	7.4*	13.0*			○								
60	弥生 ひしやく	# (S-65)	12	15-1		005	11.8	6.2	-			○								
71	弥生 甕	ISB235 (S-54)				004	-	7.7*	-			○								
72	弥生 甕	# (S-54)				003	-	3.7*	-											○
73	弥生 甕	# (S-54)				002	-	2.0*	-			○								
74	弥生 甕台	# (S-114)				002	-	3.3*	-											
75	弥生 甕坪	# (S-114)				001	-	2.5*	-			○								
76	弥生 甕台	# (S-54)				001	-	6.9*	-			○								
85	弥生 甕	ISB245 (S-35)				002	-	3.9*	-											
86	弥生 甕	# (S-109)				003	-	3.7*	-											
87	弥生 甕	# (S-35)				003	-	5.6*	-											
88	弥生 甕	# (S-109)				002	-	4.1*	-			○								
89	弥生 古土甕	# (S-35)				005	-	3.1*	-			○								
90	弥生 甕	# (S-109)				006	-	4.4*	-			○								
91	弥生 甕	# (S-109)				005	-	2.6*	7.1											

フケ1次遺物調査表(2)

No.	遺 物	遺 跡	図記番号	写真番号	尺巻時	口 径	高 さ	底 径	別 記				内 容				備 考		
									たなきめ	なで	はけ	よこはけ	下帯け	すり	あがき	なで		はけ	けすり
92	弥生 土	ISB245	(S-109)			004	-	1.7*	5.6*			○							
93	〃 土	〃	(S-35)			001	-	2.8*	6.6*			○							
94	〃 土	〃	(S-50)			001	-	2.3*	6.9*			○							
95	古土層 土	〃	(S-35)			004	14.7*	5.0*	-			○							
96	〃 土	〃	(S-109)			001	-	2.3*	19.6*										
98	弥生 土	ISX105	(S-105)			006	-	2.3*	-										
104	古土層 土	ISK001	(S-1)			010	-	2.2*	-										
105	〃 土	〃	(S-1)			011	-	1.7*	-			○							
106	〃 土	〃	(S-1)			009	-	2.0*	-			○							
107	弥生 土	〃	(S-1)			007	-	2.4*	10.0*			○							
108	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	001	18.0*	18.4*	7.4*					○					
109	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	002	28.0*	16.9*	-					○					
110	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	003	26.0*	22.6*	-			○		○					
111	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	006	27.9*	22.7*	-										
112	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	004	14.4	3.2	5.1			○		○					
113	〃 土	〃	(S-1)	19	13-1	005	14.5*	6.0	-			○		○					
114	〃 土	〃	(S-1)			008	-	3.9*	-			○							
117	〃 土	ISK010	(S-10 復原)			012	18.0*	6.2*	-			○							
118	古土層 小形丸底土	〃	(S-10 復原)			011	-	5.1*	-										
119	弥生 土	〃	(S-10 復原)			009	-	3.9*	-										
120	古土層 土	〃	(S-10 復原)			013	-	4.5*	-			○							
121	〃 土	〃	(S-10 復原)			005	18.0*	6.5*	-					○					
122	〃 小形丸底土	〃	(S-10 復原)			015	13.0*	3.0*	-										
123	〃 土	〃	(S-10 復原)			006	15.8*	4.1*	-			○							
124	〃 土	〃	(S-10 復原)			002	17.6*	2.9*	-										
125	〃 土	〃	(S-10 復原)			001	17.4*	3.7*	-					○					
126	〃 土	〃	(S-10 復原)			003	15.8*	2.5*	-					○					
127	〃 土	〃	(S-10 復原)			004	14.5*	4.2*	-										
128	〃 土	〃	(S-10 復原)			007	-	5.5*	-			○		○					
129	〃 土	〃	(S-10 復原)			010	-	7.9*	-			○		○					
130	弥生 高坪	〃	(S-10 復原)			017	-	0.9*	14.0*										
131	古土層 高坪	〃	(S-10 復原)			008	21.0*	5.4*	-			○							
132	弥生 高坪	〃	(S-10 復原)			014	-	6.5*	-										
133	〃 高坪	〃	(S-10 復原)			016	-	2.0*	-			○							
137	古土層 土	〃	(S-10 地下層)			001	18.0*	10.3*	-			○		○					
138	〃 小形丸底土	〃	(S-10)	21	13-2	004	12.3	9.4*	-			○		○					
139	〃 土	〃	(S-10)	21	13-2	003	16.0	22.4*	-			○		○					
140	〃 土	〃	(S-10)	21	13-2	002	15.6	17.4*	-			○		○					
141	〃 土	〃	(S-10)	21	13-2	001	15.0	12.6*	-			○		○					

フケ1次遺物調査表 (3)

No.	遺 物	産 所	図版番号	写真番号	互番号	口 徑 cm	高 さ cm	底 径 cm	外 形				内 形				備 考 (+は欠損、*は復原)			
									丸たきめ	なで	ほけ	よこほけ	下平けずり	みどき	なで	ほけ		けずり	みどき	
142	古土師 壺	ISK010 (S-10)				007	-	8.8+	-			○								
143	〃 壺	〃 (S-10)				006	-	4.0+	-											
144	〃 高坪	〃 (S-10)	21	13-2		005	-	3.9+	9.0			○								
152	弥生 甕	ISK135 (S-135 黒灰土)				005	-	8.3+	-											
153	古土師 小形丸蓋	〃 (S-135 黒灰土)				004	9.0*	5.6+	-			○								外部補綴文
154	〃 小形丸蓋	〃 (S-135 黒灰土)				006	13.2*	4.4	-											
155	〃 壺	〃 (S-135 黒灰土)				003	-	2.5+	-											
156	弥生 割付鉢	〃 (S-135 黒灰土)				001	-	4.5+	22.2*			○								
157	〃 鉢	〃 (S-135 黒灰土)	23	14-1		002	13.6*	9.5	3.4											
158	古土師 高坪	〃 (S-135 黒灰土)				007	-	3.2+	-											
159	〃 高坪	〃 (S-135 黒灰土)				009	-	7.6+	-											
160	弥生 高坪	〃 (S-135 黒灰土)	23	14-1		008	-	12.7+	-			○								
161	古土師 甕	ISK135 (S-135 黒灰土)				007	16.5*	4.2+	-											
162	弥生 甕	〃 (S-135 黒灰土)				008	-	5.1+	3.8*			○								
163	〃 甕	〃 (S-135 黒灰土)				005	-	3.9+	-											
164	〃 鉢	〃 (S-135 黒灰土)				006	-	3.7+	-			○								
165	古土師 高坪	〃 (S-135 黒灰土)				002	20.4*	5.4+	-											
166	〃 高坪	〃 (S-135 黒灰土)	23	14-1		001	-	7.6+	11.5											
167	〃 高坪	〃 (S-135 黒灰土)				003	-	1.9+	18.8*											
168	弥生 高坪	〃 (S-135 黒灰土)				004	-	1.8+	-			○								
169	古土師 甕	〃 (S-135)	24	14-1		037	15.1	29.7	-											
170	〃 小形丸蓋	〃 (S-135)				028	-	3.5+	-											
171	〃 壺	〃 (S-135)	24	14-1		018	17.3	28.0	-			○								外部へう書文
172	弥生 甕	〃 (S-135)				031	-	3.0+	-											
173	〃 甕	〃 (S-135)				029	-	3.6+	-			○								
174	〃 甕	〃 (S-135)				030	-	3.7+	-											
175	〃 甕	〃 (S-135)				032	-	2.3+	-			○								
176	〃 鉢?	〃 (S-135)				024	-	3.5+	-											
177	〃 鉢?	〃 (S-135)				026	-	2.7+	-											
178	〃 鉢	〃 (S-135)				025	-	2.9+	-			○								
179	〃 高坪	〃 (S-135)				027	-	3.3+	-											
180	古土師 高坪	〃 (S-135)				023	-	4.8+	-											
181	弥生 高坪	〃 (S-135)	24	14-1		019	-	10.4+	11.8			○								
182	古土師 高坪	〃 (S-135)	24	14-1		020	-	5.8+	-											
183	弥生 高坪	〃 (S-135)				021	-	8.5+	-											
184	〃 高坪	〃 (S-135)				022	-	4.0+	-											
185	〃 高坪?	〃 (S-135)				033	-	1.7+	-											
206	〃 甕	ISK217 (S-217)				001	17.6*	3.9+	-			○								
208	〃 甕	ISK218 (S-218)				007	-	4.5+	-											
209	〃 甕	ISK218 (S-218)				001	-	6.7+	-											
215	古土師 小形丸蓋	ISD120 (S-96)				002	12.8*	4.8+	-			○								

フケ1次選物観覧表(4)

No.	品名	選別	国際番号	写真番号	尺番号	口	高さ	底径	外 径					内 径				備 考			
									たたきめ	なで	ほげ	よこほげ	下手け字引	あがき	なで	ほげ	けずり		あがき		
						cm	cm	cm										(+は尺数、*は復原値)			
216	養生 罎	ISD120 (S-194)			001	-	5.1+	9.0*													
217	* 罎	# (S-96)			001	18.0*	6.6+	-		○	○							○			
218	* 罎	# (S-194)			002	-	3.8+	-		○	○							○			
219	粘土罎	# (S-120)			009	-	1.2+	-	○	○								○	○		
220	* 罎	# (S-120)			010	-	1.5+	-	○	○								○	○		
221	養生 罎	# (S-96)			004	7.6*	1.7	-													手直し
222	粘土罎 小型特殊罎台	# (S-96)			003	-	2.9+	-		○											
223	養生 罎台	# (S-120)			011	-	5.0+	11.0*			○								○		
224	* 罎台	# (S-120)			005	-	6.3+	20.0*	○		○								○		
248	* 罎	ISD036 (S-36)			003	11.9*	3.4+	-						○	○						○
255	* 罎	ISD086 (S-86)			009	-	2.7+	5.6*													
256	* 罎	# (S-86)			013	-	6.3+	-			○									○	
257	* 罎	# (S-86)			012	-	7.8+	-			○									○	
258	* 罎	# (S-86)			003	-	5.6+	-			○									○	
259	* 罎	# (S-86)			011	15.0*	4.1+	-			○									○	
260	* 罎	# (S-86)			020	-	2.7+	-													
261	* 高坪	# (S-86)			001	24.1*	4.2+	-			○										○
262	* 高坪	# (S-86)	31	15-1	002	-	12.9+	16.1*												○	
263	* 高坪	# (S-86)			008	-	5.8+	15.4*													
264	* 高坪	# (S-86)			007	-	10.4+	-													
265	* 罎台	# (S-86)			015	16.8*	5.2+	-			○	○								○	
266	* 罎台	# (S-86)			014	16.7*	4.2+	-			○	○								○	
277	* 鉄弁 土罎	# (S-86)	32	30-1	024	4.1	3.0	1.0													
					023																
278	養生 罎	ISD110 (S-110 上層)			009	-	2.5+	-			○									○	
279	* 罎	# (S-110 上層)			014	-	4.3+	-		○										○	
280	* 罎	# (S-110 上層)			032	-	3.6+	-			○									○	
281	粘土罎 小型丸底罎	# (S-110 上層)			025	11.3*	4.0+	-			○									○	
282	* 小型丸底罎	# (S-110 上層)			010	-	4.2+	-												○	
283	* 小型丸底罎	# (S-110 上層)	33	14-2	024	9.7*	5.0+	-			○	○								○	
284	* 小型丸底罎	# (S-110 上層)			037	-	3.5+	-			○	○								○	
285	養生 罎	# (S-110 上層)			011	21.6*	10.0+	-			○	○								○	
286	粘土罎	# (S-110 上層)	33	14-2	006	18.2*	14.3+	-			○	○								○	
287	* 罎	# (S-110 上層)	33	14-2	033	15.6*	10.3+	-												○	
288	* 罎	# (S-110 上層)			008	14.7*	3.6+	-			○	○								○	
289	* 罎	# (S-110 上層)			035	17.4*	3.4+	-			○	○								○	
290	* 罎	# (S-110 上層)			007	15.4*	3.2+	-			○	○								○	
291	養生 罎	# (S-110 上層)			023	-	3.4+	-			○									○	
292	粘土罎	# (S-110 上層)			012	14.5*	2.0+	-												○	
293	* 罎	# (S-110 上層)			034	15.0*	3.5+	-			○									○	
294	養生 罎	# (S-110 上層)	33	14-2	001	12.8*	3.2	-												○	

フケ1次遺物観察表 (5)

No.	部 類	産 額	図説番号	写真番号	R番号	口 径	高 さ	注 記	外 形				内 面				備 考 (+は欠損、*は原厚値)				
									たたまめ	なで	ほけ	よこほけ	下半けずり	あがき	なで	ほけ		けずり	あがき		
295	養生 坪	ISD110 (S-110上層)				002	12.6*	3.7	-												
296	古土層 高坪	* (S-110上層)	34	14-2		013	-	11.1+	-					○	○						
297	養生 高坪	* (S-110上層)				027	20.8*	5.2+	-												
298	* 高坪	* (S-110上層)				031	-	2.9+	-			○									
299	* 高坪	* (S-110上層)				005	-	1.9+	14.0*		○										
300	* 高坪	* (S-110上層)				004	-	1.3+	11.6*		○										
301	* 高坪	* (S-110上層)	34	14-2		036	-	8.7+	14.4*												
302	* 高坪	* (S-110上層)				026	-	2.1+	19.0*							○					
303	* 高坪	* (S-110上層)				028	-	7.3+	-								○				
304	* 面台	* (S-110上層)				003	-	3.3+	-			○					○				
315	古土層 壁	* (S-110下層)				001	15.4*	4.8+	-												
316	* 壁	* (S-110下層)				003	-	3.4+	-							○	○				
317	養生 脚付柱	* (S-110下層)				002	-	2.8+	16.0*			○									
318	古土層 壁	* (S-110)	35	14-2		002	24.2*	3.3+	-							○					
319	* 壁	* (S-110)				009	-	1.7+	-												
320	* 壁	* (S-110)				001	28.6*	10.7+	-								○				
321	* 壁	* (S-110)				006	-	4.1+	-												
322	養生 壁	* (S-110)				004	-	4.3+	9.0												
323	古土層 壁	* (S-110)				008	-	3.8+	-												
324	* 壁	* (S-110)				007	17.4*	3.4+	-												
325	養生 柱	* (S-110)				003	-	6.7+	-								○				
329	* 壁	ISD130 (S-130)				017	17.4*	3.0+	-								○	○			
330	* 壁	* (S-130)				009	-	3.2+	-												
331	* 壁	* (S-130)				005	-	4.1+	-												
332	* 壁	* (S-130)				006	-	3.9+	-												
333	* 壁?	* (S-130)				008	-	1.9+	4.2			○									
334	* 壁	* (S-130)				011	22.0*	4.2+	-			○									
335	* 壁	* (S-130)				001	16.8*	4.4+	-				○								
336	古土層 壁	* (S-130)				018	-	4.1+	-												
337	養生 壁	* (S-130)				021	-	2.0+	-												
338	古土層 壁	* (S-130)				019	-	1.9+	-												
339	養生 柱	* (S-130)				004	16.0*	6.6+	-												
340	* 柱	* (S-130)				012	-	4.3+	-												
341	* 柱	* (S-130)				016	-	4.2+	-			○									
342	* 柱	* (S-130)				013	28.0*	7.5+	-				○								
343	* 柱	* (S-130)				007	28.0*	5.7+	-				○								
344	* 柱	* (S-130)				015	-	4.4+	-												
345	* 坪	* (S-130)				002	7.4*	2.6	-												
346	* 高坪	* (S-130)				003	20.4*	4.3+	-				○								手摺柱
347	* 高坪	* (S-130)				010	-	7.1+	-												
350	石製品 板石	* (S-130)				020	18.0	3.9	3.9												

フケ 1 次 遺 物 調 査 表 (6)

No.	種 類	測 量	照像番号	写真番号	尺番号	口 徑			外 径				内 径				備 考 (+は欠損。●は復原品) 外周に織状文					
						cm	cm	cm	たつきめ	なで	はげ	よこはげ	下厚けずり	みがき	なで	はげ		けずり	みがき			
351	古土師 甕	ISD131 (S-131)			001	-	3.8+	-			○	○										
352	弥生 甕	ISD132 (S-132)			008	-	3.7+	-			○					○						
353	* 甕	# (S-132)			007	-	3.9+	-				○										
354	古土師 甕	# (S-132)			005	-	1.5+	-	○													
355	弥生 鉢	# (S-132)			006	-	3.2+	-														
356	* 鉢	# (S-132)			004	-	4.2+	-			○											○
357	* 高坪	# (S-132)			003	-	3.2+	-			○											○
360	* 甕	ISD134 (S-134)			001	-	2.4+	7.8*														
361	* 甕	ISD200 (S-200)			001	28.0*	8.6+	-			○											
362	古土師 小型丸底甕	# (S-200)			010	-	4.7+	-			○					○						
363	* 小型丸底甕	# (S-200)			006	10.0*	4.5+	-														○
364	弥生 甕	# (S-200)			004	-	2.2+	-			○											
365	* 甕	# (S-200)			016	-	2.4+	-														
366	* 甕	# (S-200)			003	18.0*	11.8+	-			○											
367	古土師 甕	# (S-200)			011	-	4.2+	-	○													
368	* 甕	# (S-200)			009	-	2.6+	-														
369	古土師 甕	ISD200 (S-200)			005	13.0*	2.8+	-			○											○
370	弥生 鉢	# (S-200)			002	9.0*	4.1+	-														手直し
371	古土師 高坪	# (S-200)			007	-	2.8+	-			○											
372	弥生 磨台	# (S-200)			008	-	7.3+	-														
374	石製鉢 平脚銅鉢	# (S-200)			018	1.4	1.7	0.75														
378	* 石鉢	# (S-200)			017	17.9	9.0	4.0														
379	弥生 鉢	ISD205 (S-205)			001	12.0*	4.2+	-														
380	* 高坪	ISX112 (S-112)			001	-	4.1+	-														○
381	* 磨台	# (S-112)			002	-		-			○	○										
385	* 甕	ISX202 (S-202)			001	-	5.7+	-			○											
386	* 甕	灰色土 (灰色土)			015	-	2.9+	-														行書文あり
387	* 甕	# (灰色土)			002	17.0*	11.4+	-			○											
388	古土師 小型丸底甕	# (灰色土)			007	11.8*	5.4+	-			○	○										
389	* 甕	# (灰色土)			033	-	4.0+	-			○											
390	弥生 甕	# (灰色土)			019	27.0*	5.0+	-			○											
391	* 甕	# (灰色土)			005	22.7*	10.0+	-			○	○										
392	古土師 甕	# (灰色土)			027	15.6*	2.5+	-														
393	弥生 甕	# (灰色土)			008	-	4.3+	-			○											
394	* 鉢	# (灰色土)			031	18.1*	8.9+	-	○				○									
395	* 鉢	# (灰色土)			017	-	3.0+	-			○	○										
396	* 高坪	# (灰色土)			003	24.6*	3.3+	-			○	○										
397	* 高坪	# (灰色土)			004	-	4.0+	-			○	○										
398	* 高坪	# (灰色土)			006	-	9.7+	-			○											
399	* 高坪	# (灰色土)			016	-	3.9+	-			○											
400	* 支脚	# (灰色土)	41	15-1	009	6.9+	7.9+	-			○											

フケ1次遺物整理表(7)

No.	品名	遺物	図面番号	写真番号	尺番号	口径	高さ	底径	外 径				内 径				備 考 (+は欠損、*は復原品)	
									たたきめ	なで	ほけ	よこほけ	下ホけ	ナリ	みがき	なで		ほけ
401	灰 皿+片c	灰色土 (灰色土)			001	-	1.7+	7.4*										
402	磨石 鉢	# (灰色土)			018	-	3.0+	-										
418	石製器 削片	# (灰色土)			032	4.6	4.2	1.15										安山岩
419	弥生 甕	黄土 (黄土)			008	13.6*	5.6+	-			○	○						
420	* 甕	# (黄土)			013	-	2.1+	8.4*							○			
421	* 鉢	# (黄土)			017	16.5*	3.2+	-			○							
422	* 甕	# (黄土)			001	17.0*	6.5+	-			○							
423	古土師 甕	# (黄土)			003	-	5.3+	5.5										○
424	* 甕	# (黄土)			005	-	5.0+	5.6*			○							
425	弥生 甕	# (黄土)			004	-	4.0+	6.4*										
426	* 甕	# (黄土)			012	-	9.5+	-										
427	* 高坪	# (黄土)			002	13.4*	3.6+	-			○							
428	古土師 小埴輪高坪	# (黄土)	44	15-1	006	-	6.1+	12.0*										
429	弥生 高坪	# (黄土)			007	-	8.3+	13.0*			○							
430	甕 蓋?	# (黄土)			018	-	1.0+	-										
431	* 片c	# (黄土)			019	-	1.9+	8.2*										
432	青磁 甕	# (黄土)			016	-	5.2+	-										陶器製品
433	陶器 甕	# (黄土)			015	-	3.5+	-										近世
441	石製器 碓石	# (黄土)			023	7.2	8.7	1.4										
442	弥生 甕	その他 (S-176)			001	20.6*	9.4+	-			○	○						須賀文
443	* 丸底甕	# (S-44)	47	15-1	001	14.4*	9.5	-			○	○						
444	古土師 小埴丸底甕	# (S-47)			001	14.0*	6.1+	-			○	○						
445	弥生 甕	# (S-176)			002	-	2.6+	-			○	○						
446	* 甕	# (S-116)			001	-	8.1+	-			○	○						
447	* 甕	# (S-73)			001	13.9*	10.4	-			○	○						
448	* 甕	# (S-74)			001	16.8*	7.5+	-			○	○						
449	* 甕	# (S-14)			002	12.0*	3.3+	-			○							
450	* 甕	# (S-39)			001	10.8*	3.1+	-				○						
451	古土師 甕	# (S-219)			001	16.4*	3.0+	-										
452	* 甕?	# (S-6)			002	-	1.1+	-				○						
453	弥生 甕	# (S-28)			001	-	3.2+	-			○							
454	* 甕	# (S-6)			001	-	3.2+	-										須賀文
455	弥生 甕	# (S-3)			001	-	4.2+	-			○							
456	* 甕	# (S-8)			001	-	2.7+	-				○						
457	* 甕	# (S-196)			001	-	4.3+	-										
458	* 甕	# (S-176)			003	-	2.8+	-										
459	* 鉢	# (S-74)			002	-	2.7+	-			○							宇波山
460	* 高坪	# (S-112)			001	-	4.1+	-			○							
461	* 磨石	# (S-159)			001	12.9*	13.4+	-			○	○						
540	石製器 碓石	# (S-76)			008	2.6	4.4	2.2										

フケニ次道物製表(1)

No.	品名	通商	規格番号	年番	寸番号	口徑		底徑	外 徑			内 徑			備 考			
						cm	cm		たたきめ	なで	ほけ	よこほけ	下平ほけ	ありき		なで	ほけ	けずり
1	弥生 鍍	2SD001	(S-1)黒色土	60	24-1	007	23.8*	6.4*	-		○	○						
2	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	004	22.0*	11.1*	-	○	○				○	○		錆目
3	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	011	-	4.4*	-						○	○		錆目
4	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	003	23.7*	3.7*	-	○	○				○			錆目
5	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			010	-	3.8*	-									
6	吉土脚 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	008	-	5.8*	-	○					○		○	
7	弥生 鍍	〃	(S-1)黒色土			005	15.7*	3.9*	-						○	○		
8	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	067	11.2*	6.8*	-	○					○	○		
9	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			066	12.1*	3.6*	-		○				○	○		
10	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			001	-	4.5*	-		○							
11	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	23-1	016	-	11.1*	-	○	○	○			○	○		
12	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	23-1	036	-	9.4*	-			○	○		○	○		
13	吉土脚 小型丸底鍍	〃	(S-1)黒色土			017	9.4*	5.0*	-		○				○	○		
14	弥生 鍍	〃	(S-1)黒色土			039	-	5.7*	-		○			○	○			
15	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	002	-	6.3*	-	○					○			
16	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	001	-	8.2*	-	○	○							
17	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			006	-	19.0*	-		○				○	○		錆目
18	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			054	16.0*	5.9*	-	○	○				○	○		
19	吉土脚 鍍	〃	(S-1)黒色土			056	13.9*	6.0*	-	○	○				○	○		
20	弥生 鍍	〃	(S-1)黒色土			055	-	5.8*	-		○				○	○		
21	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			013	-	5.9*	-	○	○				○	○		
22	〃 鍍×鍍	〃	(S-1)黒色土			014	-	4.3*	7.8*		○				○	○		
23	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			020	-	5.0*	6.3	○					○	○		
24	吉土脚 鍍	〃	(S-1)黒色土			057	-	4.4*	-	○					○	○		
25	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	053	17.6*	4.7*	-	○					○	○		
26	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	050	-	4.4*	-		○				○	○		
27	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	61	24-1	051	-	3.2*	-	○					○	○		
28	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			052	-	2.8*	-	○					○	○		
29	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			049	-	4.1*	-	○					○	○		
30	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			059	-	4.7*	-		○				○	○		錆目文
31	弥生 鍍	〃	(S-1)黒色土			015	15.4*	2.9*	-	○					○	○		
32	吉土脚 鍍	〃	(S-1)黒色土			012	-	10.3*	-		○				○	○		
33	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	61	24-1	062	15.4*	4.5*	-	○					○	○		
34	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	60	24-1	064	14.8*	5.2*	-	○					○	○		
35	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			060	-	3.9*	-		○				○	○		
36	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	61	24-1	061	-	5.3*	-	○					○	○		
37	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			065	-	4.3*	-						○	○		
38	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			059	-	4.9*	-	○					○	○		
39	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			063	-	4.5*	-		○				○	○		
40	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土			009	-	4.2*	-	○	○							
41	〃 鍍	〃	(S-1)黒色土	61	23-1	024	12.0*	4.8*	-	○			○		○			手取む



フケ2次選別集積表(2)

No.	品名	選別	選別番号	原産品番号	仕口	径		底径	外 径				内 径				備 考	
						cm	cm		たつき	ゆけ	よこゆけ	下手ゆけ	みがき	なで	ゆけ	ゆけ		みがき
42	袋込 餅	2SD001	(S-1)黒色土			098	12.0*	4.9*	-		○	○						
43	＊ 餅	#	(S-1)黒色土	61	23-2	025	8.0	4.0	-									手組む
44	＊ 餅	#	(S-1)黒色土			068	20.6*	6.4*	-									
45	古土餅 餅+餅	#	(S-1)黒色土	61	23-2	021	-	2.2*	3.7					○				
46	養生 高坪	#	(S-1)黒色土			034	28.4*	6.3*	-			○						○
47	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	035	-	10.6*	-									
48	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	037	-	9.5*	-			○						
49	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	022	-	6.7*	-					○				
50	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	030	-	11.1*	-									
51	古土餅 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	028	-	6.8*	-			○						
52	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	029	-	7.4*	-				○					
53	養生 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	023	-	4.2*	-			○						
54	古土餅 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	032	-	3.0*	-									○
55	養生 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	031	-	5.3*	-									
56	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	018	-	2.5*	7.4			○						
57	＊ 高坪	#	(S-1)黒色土	62	23-2	027	-	2.5*	11.0*			○						
58	＊ 養生	#	(S-1)黒色土			026	-	8.3*	11.1*			○						
59	＊ 支脚	#	(S-1)黒色土	62	23-1	019	-	7.7*	-			○						
60	＊ 支脚	#	(S-1)黒色土			033	-	5.6*	10.0*					○				
61	＊ 坪裏cl	#	(S-1)黒色土			043	12.9	3.5	-									
62	＊ 坪裏	#	(S-1)黒色土	62	24-2	042	15.1*	2.8*	-									
63	＊ 坪裏	#	(S-1)黒色土			044	11.2*	1.9*	-									
64	＊ 坪裏+c	#	(S-1)黒色土			041	-	3.3*	-									
65	白磁 皿IX-1	#	(S-1)黒色土	62	24-2	040	7.9*	1.5	5.2									中国産品
66	陶付 丸皿	#	(S-1)黒色土			045	-	3.0	-									肥前産品
67	石製品 石舟	#	(S-1)黒色土	62	30-1	048	13.5	5.4	1.7									黄色片付置
68	＊ 石製	#	(S-1)黒色土			046	1.9	1.7	0.25									
69	＊ 笠玉	#	(S-1)黒色土	62	30-1	069	2.2	0.6	0.6									
157	土製品 平皿土製品	#	(S-1)黒色土	67	25-1	072	3.7	3.6	3.3									
158	石製品 椰子	#	(S-1)黒色土	67	30-1	047	5.8	4.0	2.4									積石
70	古土餅 袋	2SD008	(S-8)			003	-	3.3*	-					○				
71	養生 袋	#	(S-8)			002	-	2.6*	-									
72	＊ 丸底袋	#	(S-8)			001	11.0*	3.3*	-			○						
73	土製 袋	2SD011	(S-11)黒色土	63	25-2	052	17.3*	18.4*	-									
74	養生 袋	#	(S-11)黒色土	63	25-2	048	24.1*	18.7*	-					○				
75	＊ 袋	#	(S-11)黒色土			006	-	4.8*	-					○				
76	＊ 袋	#	(S-11)黒色土			004	-	2.2*	-			○						
77	＊ 袋	#	(S-11)黒色土	63	25-2	009	20.7*	6.9*	-			○						
78	古土餅 袋	#	(S-11)黒色土	63	25-2	035	-	11.2*	-					○				
79	＊ 小袋丸底袋	#	(S-11)黒色土	63	25-2	003	10.6	3.7*	-					○				
80	＊ 袋	#	(S-11)黒色土	63	25-2	042	-	7.7*	-			○						積石文

フケ2次産物検査表(国)

品 種	産 地	産別	産別番号		口 径	高 さ	底 径	外 径				内 径				備 考	
			1	2				たつきぬ	なで	ほけ	よこほけ	下平ほけ	みがき	なで	ほけ		けずり
			cm	cm	cm	cm	cm										
81	市土師 産	2SD01	(S-11)黒色土	63	26-2	053											※本のみ
82	市土師 産		(S-11)黒色土	63	26-2	055											
83	市土師 産		(S-11)黒色土	63	26-2	057											
84	市土師 産		(S-11)黒色土	63	26-2	056											
85	市土師 産		(S-11)黒色土	63	26-2	054											
86	市土師 産		(S-11)黒色土	64	25-2	016	17.9*	11.9+	-	○	○			○	○	○	
87	市土師 産		(S-11)黒色土	64	26-2	020	15.4*	5.7+	-	○							
88	市土師 産		(S-11)黒色土	64	26-2	023	12.0*	4.2+	-	○							
89	市土師 産		(S-11)黒色土			025	13.0*	3.1+	-		○			○	○		
90	市土師 産		(S-11)焼灰砂			008	12.8*	4.2+	-			○					
91	市土師 産		(S-11)黒色土			024	15.6*	2.7+	-		○						
92	市土師 産		(S-11)黒色土			018	18.0*	3.0+	-					○			
93	市土師 産		(S-11)黒色土			034	18.8	2.8+	-								
94	市土師 産		(S-11)黒色土			033	19.0*	4.3+	-					○		○	
95	市土師 産		(S-11)黒色土			030	18.9*	2.3+	-						○		
96	市土師 産		(S-11)黒色土			031	17.0*	2.1+	-								
97	市土師 産		(S-11)黒色土			032	14.8*	2.9+	-					○			
98	市土師 産		(S-11)黒色土			037	17.0*	2.2+	-					○			
99	市土師 産		(S-11)黒色土			038	-	2.2+	-					○			
100	市土師 産		(S-11)黒色土			039	-	2.6+	-					○			
101	市土師 産		(S-11)黒色土			029	-	4.0+	-					○			
102	市土師 産		(S-11)黒色土			040	-	1.7+	-								
103	市土師 産		(S-11)黒色土			041	-	3.2+	-								
104	市土師 産		(S-11)焼灰砂			007	-	5.3+	-								
105	市土師 産		(S-11)黒色土	64	26-2	001	-	6.6+	-			○	○				※状況
106	市土師 産		(S-11)黒色土	64	26-2	002	-	6.2+	-			○					平行条線
107	市土師 産		(S-11)黒色土			044	13.5*	1.9+	-					○	○		
108	市土師 産		(S-11)黒色土			046	-	3.8+	-								○
109	市土師 産		(S-11)黒色土	64	25-2	043	11.2*	3.0+	-					○			○
110	市土師 産		(S-11)黒色土	64	25-2	045	11.4*	3.8+	-					○	○		○
111	市土師 産		(S-11)黒色土			007	-	2.3+	-					○			○
112	市土師 産		(S-11)黒色土			017	-	3.1+	-					○			○
113	市土師 産		(S-11)黒色土			060	-	5.0+	-								○
114	市土師 産		(S-11)黒色土			014	29.2*	5.1+	-					○	○		○
115	市土師 産		(S-11)黒色土			013	-	3.5+	-					○			○
116	市土師 産		(S-11)黒色土			012	-	4.4+	-					○			○
117	市土師 産		(S-11)黒色土			010	21.5*	6.1+	-					○	○		○
118	市土師 産		(S-11)黒色土	65	26-1	050	21.0	14.5+	12.6					○			○
119	市土師 産		(S-11)黒色土			015	-	3.5+	-					○	○		○
120	市土師 産		(S-11)黒色土			011	-	4.4+	-					○			○
121	市土師 産		(S-11)黒色土	65	26-1	021	-	8.2+	14.2*					○	○	○	○

フケ2次運物集積表(4)

No.	種 類	運 積	原産番号	原産品名	R番号	口 径 cm	高 さ cm	底 径 cm	外 観				内 装			備 考 (※欠損、※注釈等)			
									たたきめ	なで	ほけ	よこほけ	下半ほけ	みめ	なで		ほけ	けずり	みめ
122	古土研 高坪	2SD011 (S-11)黒色土				019	-	4.7*	18.0*			○							
123	赤土 高坪	" (S-11)黒炭砂				003	-	3.0*	-		○	○							
124	* 高坪	" (S-11)黒色土				099	-	3.0*	20.6*		○	○							
125	* 高坪	" (S-11)黒色土				026	-	5.1*	26.0*			○							○
126	古土研 高坪	" (S-11)黒色土				028	-	3.8*	12.0*		○								
127	* 高坪	" (S-11)黒色土	65	26-1		005	-	4.2*	22.0*			○							
128	* 高坪	" (S-11)黒色土	65	26-1		004	-	5.0*	20.6*			○							
129	* 小塚特集積台	" (S-11)黒色土				027	10.0*	1.8*	-										
130	* 小塚特集積台	" (S-11)黒色土	65	26-1		022	10.0	7.7	12.1			○							
131	* 小塚特集積台	" (S-11)黒色土				008	-	1.3*	-										
132	赤土 跡状土層	" (S-11)黒色土				032	-	5.1	4.2		○								
139	石膏片 削片	" (S-11)黒色土				047	3.4	4.6	1.3										安山岩
133	* 石膏	2SD020 (S-20)				001	2.0	1.7	0.3										黒曜石
134	削片 削	2SD023 (S-23)焼灰土	66	27-2		006	-	1.1*	3.0*										肥前磁器 近代
135	* 削	" (S-23)焼灰土	66	27-2		004	9.6*	4.1*	-										肥前磁器
136	* 小皿	" (S-23)焼灰土	66	27-2		001	-	2.7*	2.9										肥前磁器 削付?
137	* 皿	" (S-23)焼灰土	66	27-2		005	-	2.9*	4.0*										肥前磁器
138	* 鉢	" (S-23)焼灰土	66	27-2		003	11.5*	4.4*	-										肥前磁器
139	研鉢 鉢	" (S-23)焼灰土	66	27-2		002	9.8*	3.2*	-										肥前磁器
140	研鉢 研鉢 皿	" (S-23)焼灰土	66	27-2		007	8.9*	1.4*	-										肥前磁器
141	* 研鉢	" (S-23)焼灰土	66	27-2		008	-	4.6*	-										肥前磁器
142	研 研鉢	2SD025 (S-24)赤灰土				003	-	2.4*	-										
143	* 研鉢	" (S-24)赤灰土				002	-	2.0*	-										
144	赤土 研	" (S-24)赤灰土				001	11.0*	3.9*	-										赤土・土研鉢
145	研 研鉢	" (S-25)				005	9.0*	1.7*	-										
146	* 研	" (S-25)	66	28-1		006	16.0	3.2	-										
147	* 研c 研台	" (S-25)				003	10.0*	0.8*	-										
148	* 研	" (S-25)				001	-	4.1*	-										
149	* 研	" (S-25)	66	28-2		002	13.0*	2.2*	-										
150	* 研鉢	" (S-25)	66	28-2		004	13.2*	3.3	-										へう記号あり
151	* 研鉢	2SD028 (S-28)	66	28-2		001	-	1.8*	-										
152	* 研	2SD031 (S-31)				001	21.8*	5.3*	-										
153	* 研鉢	2SD035 (S-35)				001	-	2.3*	-										
154	古土研 研	2SD037 (S-37)				001	-	4.0*	-										黒色研鉢
155	研 研	2SD035 (S-35)				001	-	-	-										
156	* 研	2SD043 (S-43)				001	-	1.3*	5.2*										
160	研鉢 研鉢 研・研	2SK015 (S-15)焼灰土				001	-	5.0*	-										研鉢研鉢
161	古土研 研	2SK026 (S-26)				001	13.2*	3.1*	-										
162	古土研 小塚丸研鉢	2SK033 (S-33)				002	-	3.8*	-			○							
163	赤土 研	" (S-33)				001	-	3.3*	-			○							
164	土研 研	2SK095 (S-95)焼灰研鉢				001	14.0*	4.3*	-										

フクニ次 遺物 調査表 (9)

No.	種 類	測 量	採取番号	写真番号	目録番号	口 径		高 さ	底 径	外 面				内 面				備 考			
						cm	cm			たたまめ	なで	ほり	よこほり	下すぼり	みがき	なで	ほり		げすり	みがき	
165	弥生 釜	2SX005 (S-5) 埋土				001	10.9*	3.7*	-		○										
166	" 不明	2SX009 (S-9)				002	24.1*	3.7*	-												○
167	" 不明	" (S-9)				003	-	2.3*	-												
168	土師 埴	" (S-9)				001	12.9	3.1*	-				○				○				
169	弥生 釜	2SX010 (S-10)				001	-	2.8*	-			○					○				
170	土師 埴	" (S-10)				002	-	2.5*	-												
171	" 釜	2SX016 (S-16)				002	-	2.6*	-												
172	古土師 埴	" (S-16)				001	-	2.6*	-			○								○	
173	弥生 釜	2SX027 (S-27)				002	15.0*	3.5*	-												
174	" 釜	" (S-27)				001	17.0*	3.3*	-												
175	埴 埴	2SX030 (S-30)				001	1.7*	-	-												
176	古土師 小壇丸蓋	2SX012 (S-12) 褐色粘	70	27-1		006	12.0*	4.8*	-												○
177	" 釜	" (S-12) 褐色粘	70	27-1		003	18.0*	10.2	-												
178	弥生 釜	" (S-12) 褐色粘	70	27-1		005	-	12.5*	-			○	○					○			
179	古土師 高埴	" (S-12) 褐色粘				004	-	-	-												
180	" 高埴	" (S-12) 褐色粘	70	27-1		001	-	12.1*	-			○								○	
181	弥生 釜	2SX021 (S-21) 褐色土				002	-	2.1*	-			○	○								
182	土師 埴	" (S-19) 褐色粘				001	-	3.5*	-											○	
183	弥生 釜	" (S-21) 褐色土				001	13.0*	2.7	-												○
184	木製品 杖	" (S-19) 粘				001	4.4	4.0	-												
185	" 杖	" (S-19) 粘				002	4.7	4.0	-												
186	弥生 釜	2SX034 (S-34)				001	23.8*	6.1*	-			○	○								
187	" 釜	2SX044 (S-44)				001	-	3.1*	-												○
188	古土師 釜	" (S-44)				002	-	3.1*	-			○									
189	瓦葺 漆鉢	" (S-47)				001	-	0.4*	-												
190	埴 釜	2SX053 (S-53)	71	28-1		001	17.1	3.4	-												
191	石製品 石椀丁	2SX058 (S-58)	71	30-1		001	3.8	6.4	0.6												
192	金銅 銅鑊	2SX061 (S-61)	71	30-1		001	2.5	2.5	0.1												
193	胡蓋 埴付蓋	2SX074 (S-174)				001	-	2.8*	-												貯蔵磁器
194	土師 埴	2SX076 (S-76)				001	13.2*	5.7*	-					○						○	褐色陶片内層塗布
195	" 埴	2SX076 (S-76)				002	-	3.9*	-					○							○
196	" 埴	2SX099 (S-99)				001	12.2*	3.7*	-					○							
197	土師埴 フイゴ類口	2SX101 (S-101)				001	3.1	3.2	1.8												
198	石製品 石鑊	褐色色土	72	30-2		016	2.5	2.1	0.4												
199	" 石鑊	" 褐色色土	72	30-2		017	3.8	2.1	0.4												
200	" 石鑊	" 褐色色土	72	30-2		010	2.1	1.2	0.3												黄山竹
201	埴 埴	" 褐色色土				015	10.1*	3.7*	-												
202	" 埴	" 褐色色土				018	17.5*	1.4	-												
203	" 釜	" 褐色色土				003	-	2.2*	-												へろ跡き
204	青磁 甕	" 褐色色土	72	29	008	-	1.9*	9.0*	-												緑褐色系青磁
205	白磁 甕	" 褐色色土	72	29	002	-	2.8*	6.4*	-												中国産品

フケミ次遺物調査表(40)

No.	品名	産地	国産番号	写真番号	R番号	口徑			外 径								備 考			
						cm	cm	cm	たたまみ	なで	ほけ	よこほけ	下半ほけ	みどき	なで	ほけ		けずり	みどき	
206	青磁 鉢	焼灰色土 焼灰色土	72	29	002	-	2.3+	6.0*												(+は欠割、*は数値)
207	＊ 蓋	＊ (S-7)			001	9.0*	4.1+	-												熊本県系青磁
208	白磁 蓋 IX-1	＊ 焼灰色土	72	29	005	8.6*	1.5	5.2*												中級磁器
209	＊ 蓋 VII	＊ 焼灰色土			006	-	0.9+	4.2*												中級磁器
210	赤黄 鉢	＊ 焼灰色土	72	29	001	25.2*	2.7+	-												
211	土師黄 鉢	＊ 焼灰色土	72	29	014	-	5.1+	-												
212	赤黄 鉢	＊ (S-7)			002	-	1.6+	-												
213	黒村 鉢	＊ 焼灰色土	72	29	009	-	2.4+	4.4												明神村
214	古土師 白台探遺品	＊ 焼灰色土			012	-	2.8+	2.6*												手捏ね
215	瓦葺 鉢	＊ (S-7)	72	30-1	003	2.5	2.6	0.3												
217	金剛 キセル	＊ 焼灰色土	72	30-1	004	1.0	5.9	-												
218	瓦 瓦葺	＊ 焼灰色土			013	2.7	2.8	1.9												
219	石製品 石製	焼土 焼土			021	2.4	1.7	0.5												
220	粘土 火罏	＊ 焼土			017	-	4.4+	-		○										
221	黄土鉢 蓋并	＊ 焼土			011	-	2.7+	-				○								
222	＊ 蓋并鉢下	＊ 焼土			013	-	-	-					○		○					
223	＊ 蓋并	＊ 焼土			012	-	8.0+	-			○									
224	蓋 蓋并鉢	＊ 焼土			009	-	1.5+	8.8*												
225	赤土 鉢	＊ 焼土			014	9.2*	5.0	3.4												手捏ね
226	土師 鉢	＊ 焼土	73	28-2	015	13.3*	7.7	7.4												
227	＊ 蓋并鉢	＊ 焼土			010	-	4.5+	9.0*			○									
228	田 蓋	＊ 焼土			008	14.8*	2.0+	-						○						
229	＊ 蓋	＊ 焼土			018	17.0*	1.4+	-												
230	＊ 坪	＊ 焼土			005	-	1.2+	9.3*												
231	＊ 坪	＊ 焼土			006	-	2.4+	10.6*												
232	＊ 坪	＊ 焼土			004	-	2.2+	9.8*												
233	＊ 坪	＊ 焼土			007	-	2.0+	11.2*												
234	瓦 平瓦	＊ 焼土			020															種子畑
235	白磁 蓋 IV	＊ 焼土	73	29	003	-	1.3+	4.6*												中級磁器
236	青磁 鉢	＊ 焼土	73	29	002	-	1.8+	5.0												阿波県系青磁
237	瓦葺 火罏	＊ 焼土			019	-	3.9+	-												
238	陶器 蓋	＊ 焼土	73	29	001	10.6*	2.5	6.6*												古瀬戸

フケ3次運物調査表

No.	品 種	産 額	国産品可容積番号	JIS番号	口 径	高 さ	底 径	外 面				内 面				備 考 (+は欠損、*は取付損)		
								たたきめ	なで	ほけ	よこほけ	下手けずり	あがき	なで	ほけ		けずり	あがき
1	石製品 磁石	3SD016 (S-16)		002	8.3	5.2	1.9											
2	炭 炭	# (S-16)		001	-	1.0+	-											
3	粘土練 高坪	3SX004 (S-4)		001	-	2.8+	-			○			○	○				
4	* 練	3SX006 (S-6)焼成色土		001	17.2*	3.2+	-		○		○			○				
5	* 丸底炭	# (S-6)		002	-	3.2+	-		○	○				○				
6	養生 舞台	# (S-6)		003	-	3.2+	-							○				
7	粘土練 舞台	# (S-6)		001	-	2.8+	13.2*		○						○			
8	* 高坪	# (S-6)焼成色土		002	-	3.2+	15.3*		○	○					○			
9	養生 練	3SX012 (S-12)		001	-	2.3+	-		○						○			

フケ4次遺物観察表

No.	品 種	産 所	図録番号	写真番号	目録 cm	高 さ cm	底 径 cm	外 径				内 径				備 考 (+は欠属、*は復原物)	
								たたきめ	なで	ほげ	よこほげ	下平ほげ	みがき	なで	ほげ		ほげ
1	弥生 高坪	4SD001 (S-1)灰色粘土			003	33.7*	1.6+	-									
2	〃 罎	〃 (S-1)灰色粘土			004	-	5.1+	-	○	○			○				
3	土師 高坪罎	〃 (S-1)灰色粘土			005	-	7.1+	-					○				
4	〃 罎	〃 (S-1)灰色粘土			001	10.0*	5.9+	-	○				○				
5	〃 罎	〃 (S-1)灰色粘土			006	-	6.1+	-									
6	灰 縄文土罎	〃 (S-1)灰色粘土			002	-	3.9+	3.8									
7	〃 埴輪	〃 (S-1)灰色粘土			001	-	1.6+	-									
8	〃 埴輪	4SD002 (S-2)			001	-	0.8+	-									
9	〃 埴	4SD003 (S-3)			002	-	2.1+	10.2+									
10	弥生 罎	〃 (S-3)			001	-	4.6+	-									復原物
11	〃 罎	〃 (S-3)			003	13.2*	2.5+	-									復原物
12	弥生 罎	4SX005 (S-5c)			004	-	1.4+	-	○				○				復原物
13	弥生 罎	灰土 灰土			001	-	1.5+	10.4*									
14	弥生 罎	〃 灰土			003	-	2.3+	9.2*									
15	白根 罎 VII	〃 灰土			002	-	2.8+	6.5*									中津輪

フケ1次加工土膜片製品表(1)

No.	種 類	通 稱	加膜番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	No.	種 類	通 稱	加膜番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
6	加工土膜片	ISB215 (S-02)			003	5.7	6.6	0.7	70	加工土膜片	ISB230 (S-65)			012	2.6	3.3	0.7
7	"	(S-92)			002	4.1	5.4	0.8	77	"	ISB235 (S-162)			001	4.6	6.2	0.6
8	"	(S-95)			001	3.6	5.1	0.9	78	"	" (S-54)			008	5.1	6.1	1.1
9	"	(S-80)			002	4.6	5.1	0.7	79	"	" (S-114)			003	4.3	5.4	0.6
10	"	(S-80)			001	5.3	5.7	0.7	80	"	" (S-54)			007	2.2	3.3	0.7
11	"	(S-80)			003	3.4	4.8	1.0	81	"	" (S-54)			006	3.1	3.5	0.8
12	"	(S-95)			004	2.8	4.3	0.8	82	"	" (S-54)			009	3.3	2.6	0.5
13	"	(S-60)			002	2.5	4.3	0.8	83	"	" (S-162)			002	2.5	3.1	0.7
14	"	(S-95)			006	2.2	2.9	0.5	84	"	" (S-54)			005	3.1	4.1	1.0
15	"	(S-95)			005	2.5	3.6	0.8	97	"	ISB245 (S-109)			007	3.9	5.2	1.2
16	"	(S-80)			005	2.0	2.0	0.5	99	"	ISX105 (S-105)			002	4.1	4.5	0.8
17	"	(S-60)			005	2.3	2.6	0.8	100	"	" (S-105)			001	4.0	5.0	0.6
18	"	(S-60)			004	2.5	3.4	0.9	101	"	" (S-105)			004	1.9	3.0	0.7
19	"	(S-95)			002	2.3	3.1	0.6	102	"	" (S-105)			003	3.2	4.7	0.6
20	"	(S-95)			003	2.1	2.1	0.6	103	"	" (S-105)			005	2.3	3.7	0.6
21	"	(S-80)			004	2.7	3.1	0.7	115	"	ISK001 (S-1)			012	2.8	3.0	0.6
33	"	(S-30)			001	2.7	3.6	0.6	116	"	" (S-1)			013	2.4	3.4	0.6
34	"	(S-15)			003	2.8	3.6	0.7	134	"	ISK010 (S-10膜厚以下)			001	4.1	4.9	0.9
35	"	(S-15)			002	2.6	3.9	0.7	135	"	" (S-10膜厚以下)			002	4.2	4.8	0.6
36	"	ISB220 (S-108)			003	2.3	3.8	0.7	136	"	" (S-10膜厚以下)			003	1.9	2.1	0.6
37	"	(S-92)			003	5.7	7.8	1.4	145	"	ISK135 (S-135膜厚色粘)			018	3.9	6.1	0.9
38	"	(S-15)			004	2.2	4.0	0.7	146	"	" (S-135膜厚色粘)			016	4.6	5.7	1.0
39	"	(S-94)			001	2.2	3.4	0.7	147	"	" (S-135膜厚色粘)			017	4.3	5.3	1.0
40	"	(S-15)			005	2.1	3.2	0.8	148	"	" (S-135膜厚色粘)			015	5.5	6.1	0.7
41	"	(S-15)			006	1.9	4.1	0.6	149	"	" (S-135膜厚色粘)			002	5.0	6.3	0.6
42	"	(S-92)			005	2.0	3.3	0.9	150	"	" (S-135膜厚色粘)			001	5.3	5.9	1.0
43	"	(S-92)			004	3.5	4.5	0.8	151	"	" (S-135膜厚色粘)			003	5.1	7.0	0.9
44	"	(S-15)			001	3.1	3.1	0.9	186	"	" (S-135)			034	6.3	8.0	0.7
45	"	(S-40)			001	3.7	5.0	0.9	187	"	" (S-135)			008	5.9	7.1	1.0
51	"	ISB225 (S-200)			001	3.6	4.3	1.5	188	"	" (S-135)			002	4.4	5.7	0.8
52	"	(S-20)			001	4.1	5.1	1.3	189	"	" (S-135)			003	6.0	7.4	0.9
53	"	(S-70)			002	3.7	5.3	0.9	190	"	" (S-135)			004	4.2	6.3	0.7
61	"	ISB230 (S-65)			006	4.8	4.9	0.6	191	"	" (S-135)			017	4.0	5.5	1.0
62	"	(S-65)			010	3.8	5.0	0.6	192	"	" (S-135)			035	3.8	4.7	0.6
63	"	(S-65)			009	3.2	5.2	0.6	193	"	" (S-135)			036	4.5	5.1	0.6
64	"	(S-65)			002	4.2	4.8	0.8	194	"	" (S-135)			001	4.6	4.7	1.2
65	"	(S-65)			007	4.8	6.9	0.6	195	"	" (S-135)			005	4.5	5.6	0.8
66	"	(S-65)			008	4.4	5.0	0.7	196	"	" (S-135)			016	3.7	4.4	0.4
67	"	(S-65)			011	3.3	4.1	0.8	197	"	" (S-135)			010	4.6	4.9	0.5
68	"	(S-125)			001	3.2	3.5	1.0	198	"	" (S-135)			009	2.8	4.0	0.8
69	"	(S-65)			001	2.2	1.9	0.8	199	"	" (S-135)			011	3.8	4.0	0.6



フケ1次加工土膜片調製表(2)

No.	品名	通称	調製番号	写真番号	R番号	縦	横	厚さ	No.	品名	通称	調製番号	写真番号	R番号	縦	横	厚さ
						cm	cm	cm							cm	cm	cm
200	加工土膜片	ISK135 (S-135)			006	4.3	4.3	0.9	267	加工土膜片	ISD086 (S-86)			005	5.6	5.3	1.5
201	"	" (S-135)			013	3.2	4.2	0.5	268	"	" (S-86)			022	4.8	5.2	0.9
202	"	" (S-135)			012	3.9	4.7	0.8	269	"	" (S-86)			021	3.4	4.0	0.8
203	"	" (S-135)			007	3.3	4.4	0.4	270	"	" (S-86)			004	4.1	4.5	0.6
204	"	" (S-135)			014	2.9	3.3	0.8	271	"	" (S-86)			010	4.2	4.7	0.7
205	"	" (S-135)			015	3.2	3.7	0.5	272	"	" (S-86)			016	3.5	4.8	0.7
207	"	" (S-217)			002	7.8	10.1	1.3	273	"	" (S-86)			018	2.9	2.9	4.4
210	"	" (S-218)			004	5.7	9.8	0.8	274	"	" (S-86)			017	2.4	2.6	0.5
211	"	" (S-218)			003	7.3	12.3	0.8	275	"	" (S-86)			019	2.1	4.3	0.8
212	"	" (S-218)			006	11.5	11.8	0.9	276	"	" (S-86)			006	2.1	2.6	1.2
213	"	" (S-218)			002	11.0	1.4	1.5	305	"	ISD110 (S-110上層)			030	3.0	3.5	0.6
214	"	" (S-218)			005	3.3	3.7	0.7	306	"	" (S-110上層)	34	14-2	019	3.5	4.3	1.1
225	"	ISD120 (S-193)			004	5.0	5.4	1.3	307	"	" (S-110上層)			017	4.6	5.8	0.8
226	"	" (S-120)			002	5.0	6.6	1.2	308	"	" (S-110上層)	34	14-2	029	4.6	4.4	0.9
227	"	" (S-193)			001	5.4	6.8	0.6	309	"	" (S-110上層)			022	3.3	4.5	0.5
228	"	" (S-120)			006	4.7	6.8	1.6	310	"	" (S-110上層)			016	3.3	3.3	0.6
229	"	" (S-120)			001	5.9	7.6	0.7	311	"	" (S-110上層)			021	3.6	6.8	0.8
230	"	" (S-194)			004	6.2	7.6	0.9	312	"	" (S-110上層)			018	4.5	6.0	0.5
231	"	" (S-193)			003	3.5	4.2	0.5	313	"	" (S-110上層)			020	3.2	4.8	0.7
232	"	" (S-193)			002	3.5	4.7	0.6	314	"	" (S-110上層)	35	14-2	015	11.3	13.9	0.8
233	"	" (S-96)			008	3.2	4.2	0.5	326	"	" (S-110上層)			008	2.8	3.9	0.8
234	"	" (S-120)			008	3.8	4.1	0.5	327	"	" (S-110上層)			011	4.5	6.7	0.5
235	"	" (S-120)			003	4.1	4.6	0.6	328	"	" (S-110上層)			010	5.7	7.7	0.8
236	"	" (S-96)			006	4.0	4.6	0.9	348	"	ISD130 (S-130)			022	3.5	3.8	0.8
237	"	" (S-96)			005	4.1	5.1	1.4	349	"	" (S-130)			014	5.0	6.1	1.1
238	"	" (S-96)			007	3.5	4.4	0.8	358	"	ISD132 (S-132)			001	2.8	3.0	0.6
239	"	" (S-97)			001	3.2	4.2	0.8	359	"	" (S-132)			002	2.5	2.5	0.5
240	"	" (S-120)			007	3.0	3.5	0.7	373	"	ISD200 (S-200)			015	2.9	2.7	0.7
241	"	" (S-97)			002	3.6	3.8	0.9	375	"	" (S-200)			013	3.9	4.0	0.5
242	"	" (S-120)			004	2.9	3.2	0.5	376	"	" (S-200)			014	3.9	3.4	0.4
243	"	" (S-97)			003	3.3	3.9	1.6	377	"	" (S-200)			012	4.0	5.2	0.7
244	"	" (S-96)			010	2.5	3.1	0.5	382	"	ISX112 (S-93)			001	3.3	4.2	0.8
245	"	" (S-96)			011	2.0	3.6	0.7	383	"	" (S-112)			004	3.9	4.5	0.8
246	"	" (S-194)			003	4.9	6.5	0.9	384	"	" (S-112)			003	5.6	7.1	1.0
247	"	" (S-96)			009	2.9	3.6	0.5	403	"	灰色土			020	7.9	11.5	1.5
249	"	ISD066 (S-36)			004	2.2	2.3	0.3	404	"	" (灰色土)			022	7.8	9.2	1.1
250	"	" (S-36)			007	1.8	1.9	0.6	405	"	" (灰色土)			023	5.8	7.2	1.1
251	"	" (S-36)			006	2.1	2.0	0.5	406	"	" (灰色土)			013	3.2	6.4	1.3
252	"	" (S-36)			005	1.8	2.2	0.4	407	"	" (灰色土)			021	4.1	6.4	1.1
253	"	" (S-36)			001	2.7	3.4	0.5	408	"	" (灰色土)			010	4.2	5.0	1.2
254	"	" (S-36)			002	2.9	5.0	0.8	409	"	" (灰色土)			012	4.4	7.3	0.7

フケ1次加工土器片調査表(3)

No.	品名	産地	図録番号	写真番号	口径号	縦	横	厚さ	No.	品名	産地	図録番号	写真番号	口径号	縦	横	厚さ
						cm	cm	cm							cm	cm	cm
410	加工土器片	灰赤土 (灰赤土)			014	5.3	8.4	0.8	488	加工土器片	その他 (S-5)			004	2.1	2.0	1.3
411	"	" (灰赤土)			024	7.2	7.3	0.8	489	"	" (S-189)			003	4.3	5.0	0.9
412	"	" (灰赤土)			011	4.7	5.3	1.2	490	"	" (S-42)			003	3.2	3.5	0.5
413	"	" (灰赤土)			026	2.7	4.3	0.7	491	"	" (S-45)			003	3.7	3.6	0.6
414	"	" (灰赤土)			029	3.2	3.7	0.7	492	"	" (S-21)			002	3.8	4.1	4.0
415	"	" (灰赤土)			025	3.5	4.8	0.8	493	"	" (S-5)			003	3.4	3.2	0.6
416	"	" (灰赤土)			030	3.1	3.1	0.7	494	"	" (S-182)			002	3.6	4.2	0.5
417	"	" (灰赤土)			028	3.4	3.7	0.8	495	"	" (S-173)			001	3.5	3.6	0.7
434	"	黄土 (黄土)			020	5.0	4.9	1.0	496	"	" (S-21)			001	3.8	4.2	0.6
435	"	" (黄土)			010	4.6	5.5	0.9	497	"	" (S-167)			001	3.1	4.2	0.8
436	"	" (黄土)			011	5.1	6.2	0.7	498	"	" (S-179)			002	3.3	3.4	0.7
437	"	" (黄土)			021	13.4	16.8	1.8	499	"	" (S-5)			002	4.5	4.8	0.5
438	"	" (黄土)			022	16.4	19.0	2.0	500	"	" (S-59)			001	3.6	4.9	0.7
439	"	" (黄土)			014	7.9	8.9	1.3	501	"	" (S-34)			001	3.4	4.5	0.7
440	"	" (黄土)			009	5.1	6.2	0.9	502	"	" (S-192)			002	3.1	4.5	0.7
462	"	その他 (S-76)			002	6.1	6.2	0.6	503	"	" (S-34)			001	2.6	3.6	0.7
463	"	" (S-116)			002	5.6	6.7	0.9	504	"	" (S-14)			001	2.0	3.8	0.6
464	"	" (S-166)			001	5.6	6.7	1.1	505	"	" (S-44)			002	2.9	3.5	0.5
465	"	" (S-179)			001	6.5	7.7	1.4	506	"	" (S-106)			001	3.0	3.6	0.6
466	"	" (S-76)			001	4.6	6.9	0.7	507	"	" (S-167)			002	2.4	2.7	0.7
467	"	" (S-305)			001	4.5	6.1	1.0	508	"	" (S-59)			006	2.5	2.9	1.0
468	"	" (S-222)			001	4.4	6.5	1.1	509	"	" (S-91)			001	2.9	3.1	0.7
469	"	" (S-192)			001	4.9	5.4	0.7	510	"	" (S-192)			004	2.6	3.7	0.5
470	"	" (S-76)			004	4.1	5.9	0.7	511	"	" (S-172)			002	2.6	4.1	0.6
471	"	" (S-182)			001	3.9	5.6	0.8	512	"	" (S-79)			001	2.6	3.6	0.7
472	"	" (S-189)			002	4.0	5.9	0.9	513	"	" (S-45)			002	3.4	4.3	0.9
473	"	" (S-134)			001	3.7	4.0	0.7	514	"	" (S-42)			002	2.4	3.1	0.6
474	"	" (S-172)			001	4.0	5.5	0.7	515	"	" (S-59)			001	2.7	3.5	0.9
475	"	" (S-187)			001	4.0	5.9	0.4	516	"	" (S-196)			002	2.2	3.8	0.7
476	"	" (S-98)			001	3.5	3.3	0.9	517	"	" (S-164)			001	3.0	3.4	0.6
477	"	" (S-192)			003	3.6	4.5	0.8	518	"	" (S-72)			001	2.7	3.5	0.6
478	"	" (S-189)			001	4.2	5.7	0.9	519	"	" (S-164)			002	2.8	2.9	0.9
479	"	" (S-76)			005	4.0	4.6	1.1	520	"	" (S-42)			001	2.7	3.3	0.5
480	"	" (S-168)			001	4.3	4.4	0.9	521	"	" (S-99)			002	2.1	2.4	0.7
481	"	" (S-45)			004	2.6	3.4	0.6	522	"	" (S-207)			001	2.9	3.1	0.9
482	"	" (S-310)			001	2.9	3.4	0.8	523	"	" (S-106)			002	2.9	3.2	0.8
483	"	" (S-207)			002	2.1	2.7	0.7	524	"	" (S-59)			003	2.2	3.3	0.7
484	"	" (S-76)			003	2.9	4.0	0.5	525	"	" (S-76)			006	3.2	3.5	0.8
485	"	" (S-310)			002	2.5	2.7	0.5	526	"	" (S-76)			007	2.7	2.9	0.6
486	"	" (S-3)			001	2.2	2.6	0.5	527	"	" (S-164)			003	2.1	2.5	0.8
487	"	" (S-164)			004	1.6	1.7	0.6	528	"	" (S-187)			002	2.2	3.7	0.6

フケ1次加工土器片観察表(4)

No.	器種	産地	図版番号	写真番号	K番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
529	加工土器片	その他 (S-99)			003	2.0	2.3	0.7
530	"	" (S-84)			001	1.9	1.9	0.5
531	"	" (S-59)			002	2.8	4.1	0.5
532	"	" (S-183)			001	1.8	3.4	0.4
533	"	" (S-52)			001	3.0	4.7	1.1
534	"	" (S-45)			001	3.0	2.8	1.3
535	"	" (S-174)			002	2.9	3.3	0.6
536	"	" (S-59)			004	2.6	3.1	0.7
537	"	" (S-59)			005	2.3	2.5	0.5
538	"	" (S-44)			004	2.4	2.8	0.7
539	"	" (S-44)			003	2.5	2.5	0.5

フケ2次加工土器片観察表

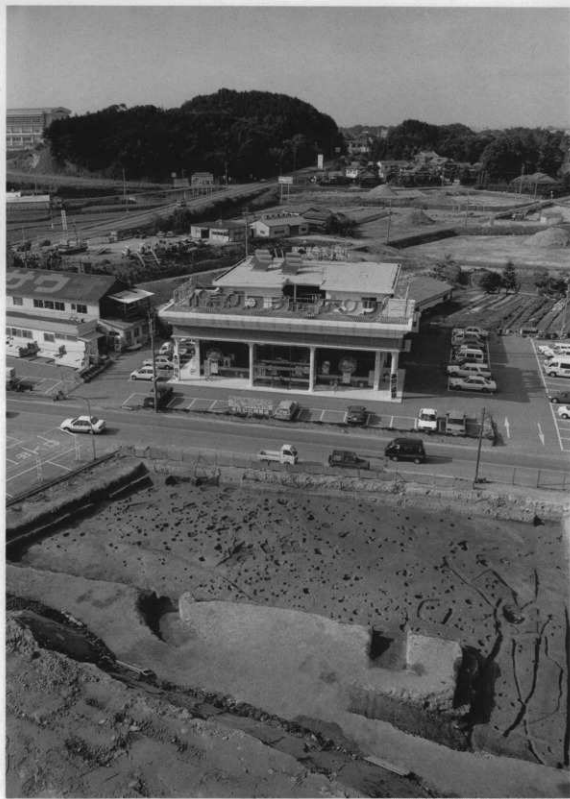
No.	器種	産地	図版番号	写真番号	K番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	2SD001 (S-1黒色土)			070	4.1	6.4	1.1
	"	" (S-1黒色土)			071	4.3	4.7	0.4
	"	" (S-1)			001	3.9	6.1	0.8
	"	2SD008 (S-8)			004	3.2	5.1	0.5
	"	" (S-8)			005	4.2	5.8	0.8
	"	2SD011 (S-11黒色土)			061	3.4	3.3	0.3
	"	" (S-1増沢砂)			001	5.3	7.7	0.4
	"	" (S-1増沢砂)			002	4.3	4.1	0.8
	"	" (S-1増沢砂)			003	6.5	9.2	0.8
	"	" (S-1増沢砂)			004	7.1	5.5	0.8
	"	2SD037 (S-37)			002	3.0	3.8	0.8
	"	" (S-37)			003	2.9	4.7	0.7
	"	2SD042 (S-42)			002	3.4	4.4	0.8
	"	" (S-42)			003	3.4	4.3	0.6
216	加工陶器片	増沢色土 増沢色土	72	29-1	007	3.6	4.1	0.6

フケ3次加工土器片観察表

No.	器種	産地	図版番号	写真番号	K番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	3SK006 (S-16)			004	4.3	5.1	0.5
	"	3SX008 (S-8)			001	2.4	2.8	0.5
	"	3SX009 (S-9)			001	2.3	2.6	0.85

フケ4次加工土器片観察表

No.	器種	産地	図版番号	写真番号	K番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm
	加工土器片	4SX005 (S-5a)			001	6.5	7.4	0.9
	"	" (S-5c)			001	2.4	4.2	0.3
	"	" (S-5c)			002	2.5	3.1	0.5
	"	" (S-5c)			003	4.7	6.2	0.8



1. フケ遺跡第1次調査全景（南東から）



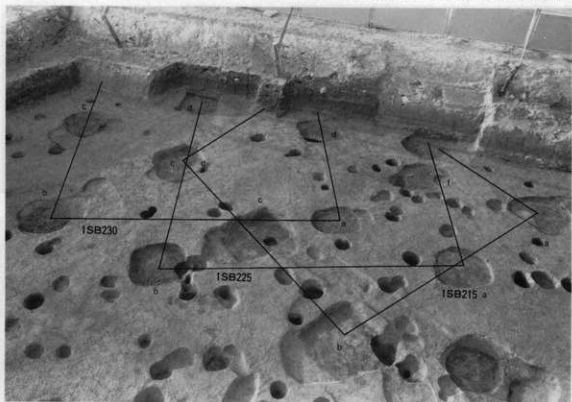
1. フケ遺跡第1次調査全景（南東から）



2. フケ遺跡第1次調査区西側建物群（南東から）



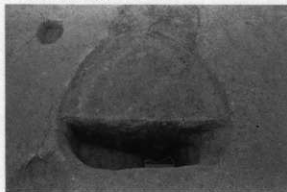
1. フケ遺跡第1次東側調査区 (東北から)



2. フケ遺跡第1次掘立柱建物群 (東から)



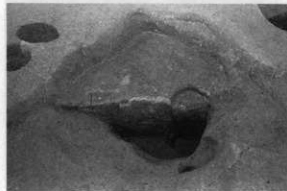
1. ISB245検出状況 (南から)



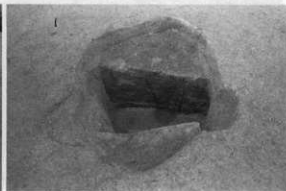
2. ISB215a土層断面 (南から)



3. ISB215b土層断面 (南東から)



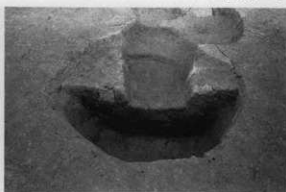
4. ISB215c土層断面 (南から)



5. ISB215d土層断面 (東から)



1. ISB215f土層断面 (南から)



2. ISB220a土層断面 (東から)



3. ISB220b土層断面 (南から)



4. ISB220c土層断面 (南から)



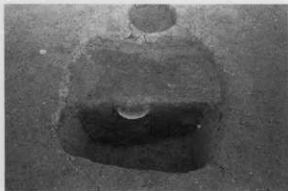
5. ISB220d土層断面 (南から)



6. ISB220e土層断面 (南から)



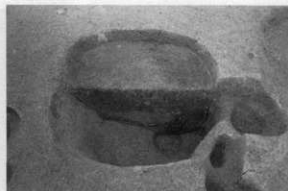
図版 6



1. 1SB220f土層断面 (東から)



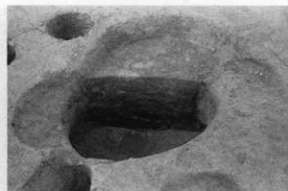
2. 1SB225a土層断面 (南から)



3. 1SB225b土層断面 (南から)



4. 1SB225d土層断面 (南から)



5. 1SB225f土層断面 (東から)



6. 1SB230b土層断面 (南東から)



1. 1SB230c土層断面 (東から)



2. 1SB230d土層断面 (南東から)



3. 1SB245a土層断面 (南から)



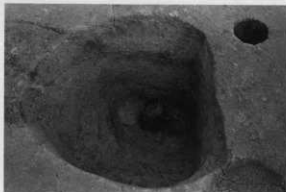
4. 1SB245b土層断面 (南から)



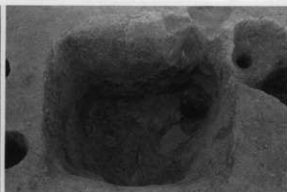
5. 1SB245c土層断面 (南から)



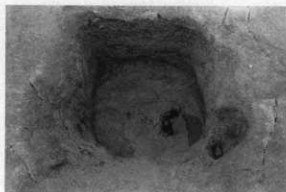
6. 1SB245d土層断面 (南から)



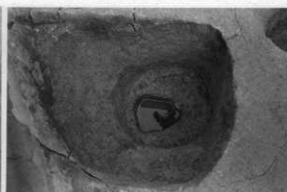
1. ISB215a完掘状況 (西から)



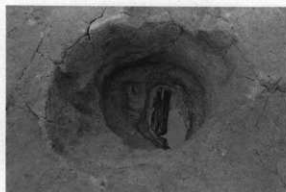
2. ISB215b完掘状況 (南から)



3. ISB215c完掘状況 (南から)



4. ISB215f完掘状況 (西から)



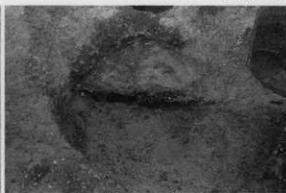
5. ISB230e土層断面 (南から)



6. ISX093土層断面 (南から)



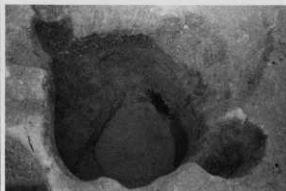
1. ISX202土層断面 (南から)



2. ISX210土層断面 (西から)



3. ISX302土層断面 (南から)



4. ISX302完掘状況 (南から)



5. ISX105完掘状況 (東から)



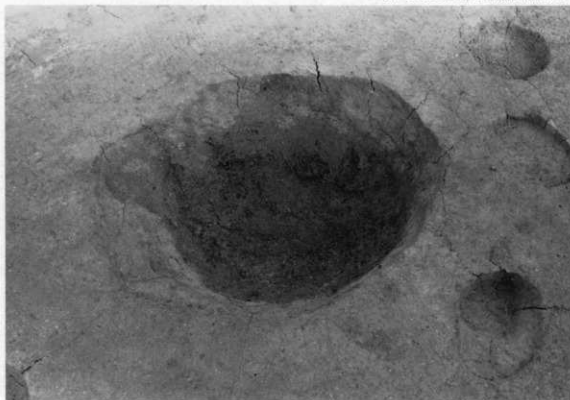
1. 1SK001遺物出土状況（北から）



2. 1SK001遺物出土状況（西から）



1. ISK010遺物出土状況（南から）



2. ISK010完掘状況（南から）



1. ISK135遺物出土状況（南から）



2. ISK135完掘状況（東から）



1. フケ1次 SK001出土遺物



2. フケ1次 SK010出土遺物





1. フケ1次 SK135出土遺物



2. フケ1次 SD110出土遺物



1. フケ1次調査出土遺物 (54.55.57.60はSB230出土遺物)



2. フケ遺跡第2次調査周辺航空写真 (南東から)



1. フケ遺跡第2次調査北側調査区全景 (上が北)



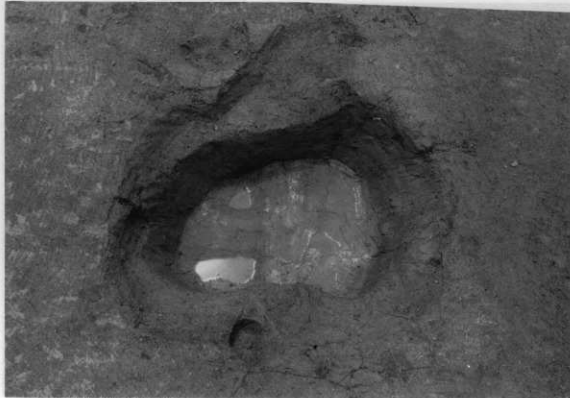
2. フケ遺跡第2次調査北側調査区全景 (南東から)



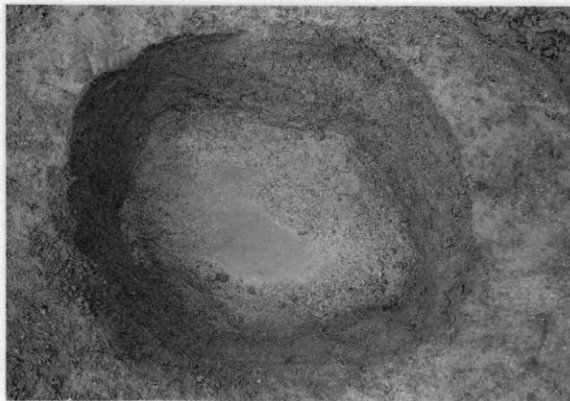
1. フケ遺跡第2次調査南側調査区全景 (南東から)



2. フケ遺跡第2次調査南側調査区全景 (空中写真・上が北)



1. 2SK015完掘状況 (北から)



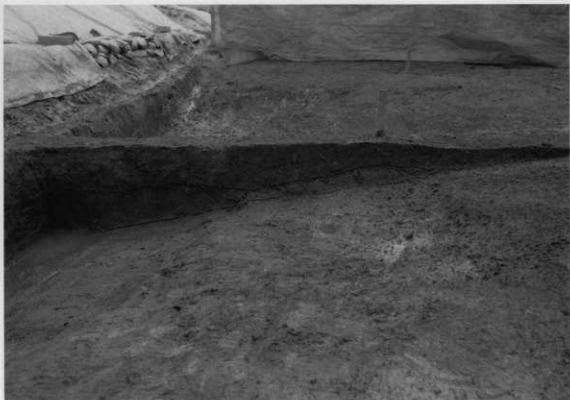
2. 2SK095完掘状況 (東から)



1. 2SX005甕検出状況（南から）



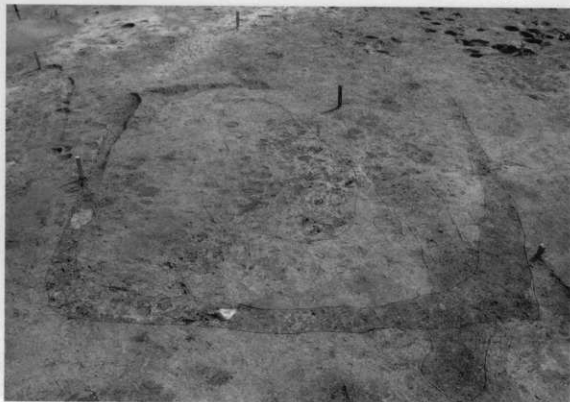
2. 2SX005甕検出状況（西から）



1. 2SD001土層観察（西から）



2. 2SX010完掘状況（真上から）



1. 2SX010検出状況（北東から）



2. 2SX010完掘状況（北東から）





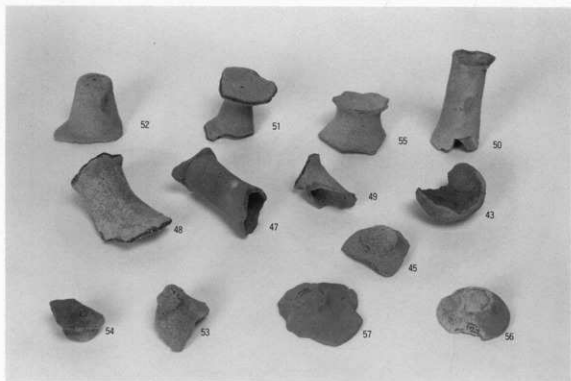
1. 2SX012土器検出状況（北から）



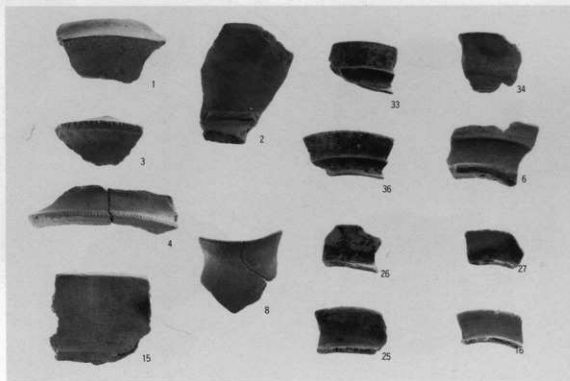
2. 2SX021杭検出状況（東から）



1. フケ2次 SD001出土遺物



2. フケ2次 SD001出土遺物



1. フケ2次 SD001出土遺物



2. フケ2次 SD001出土遺物



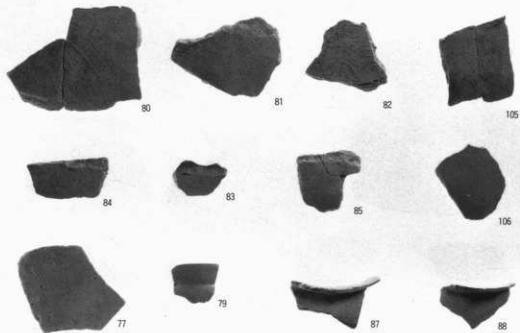
1. フケ2次 SD001出土遺物



2. フケ2次 SD011出土遺物



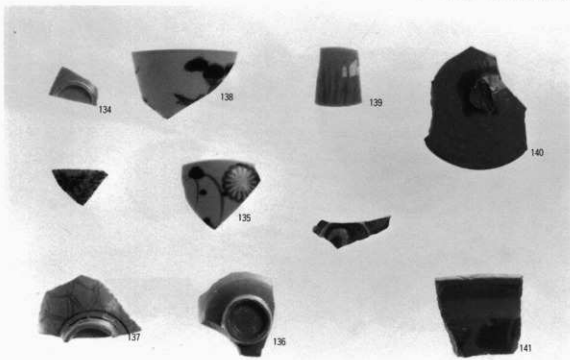
1. フケ2次 SD011出土遺物



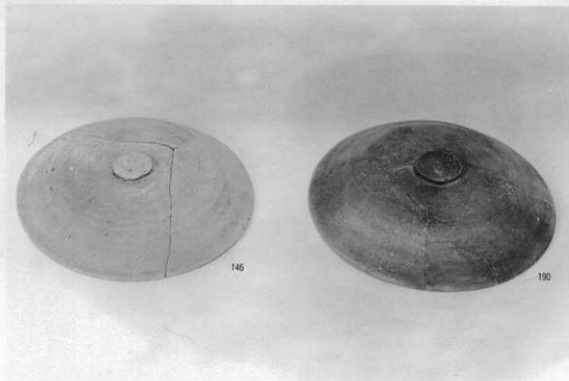
2. フケ2次 SD011出土遺物



1. フケ2次 SX012出土遺物



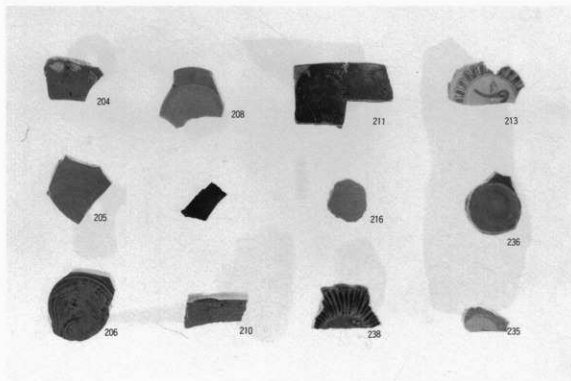
2. フケ2次 SD023出土遺物



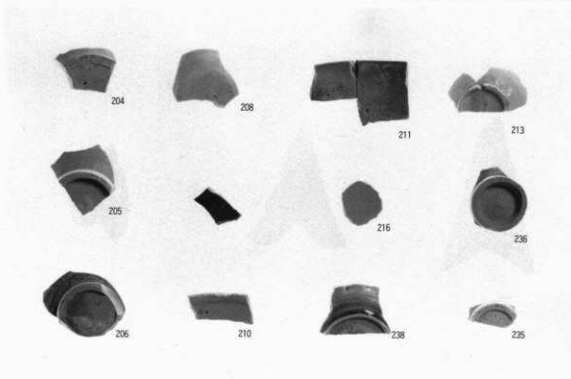
1. フケ2次調査出土遺物



2. フケ2次調査出土遺物

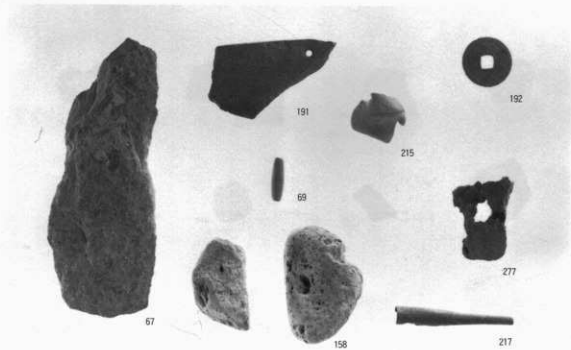


1. フケ2次 暗灰土・耕土出土遺物

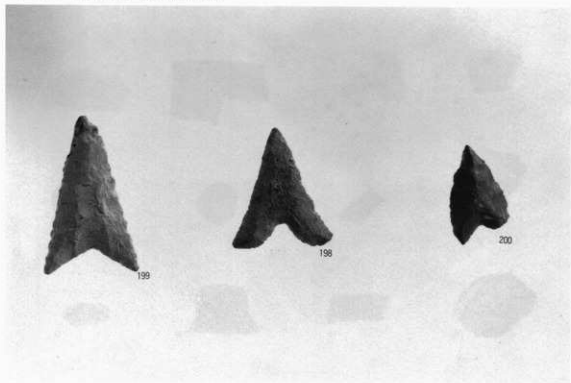


2. フケ2次 暗灰土・耕土出土遺物





1. フケ1・2次石製品・鉄製品出土遺物



2. フケ2次 暗灰土出土遺物



1. フケ遺跡第3次調査全景 (南東から)



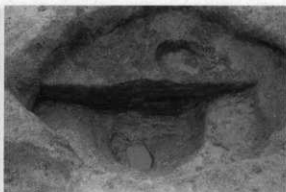
2. フケ遺跡第3次南側トレンチ全景 (空中写真・真上から)



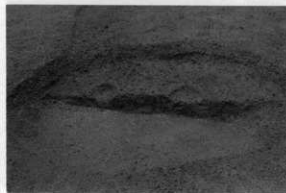
1. 3SK003ピット検出状況（北から）



2. 3SK003土層断面（北から）



3. 3SK004土層断面（南から）



4. 3SK006土層断面（東から）



1. フケ遺跡第4次調査全景（南から）



2. フケ遺跡第4次調査全景（西から）

--46.400

--46.350

--46.300



尾崎遺跡1次

フケ遺跡2次

フケ遺跡3次

フケ遺跡1次

+55.600

+55.650

+55.700

太宰府・佐野地区遺跡群VII

-フケ遺跡第1.2.3.4次調査報告-  
太宰府市の文化財 第35集

1997年3月

編集 太宰府市教育委員会

発行 太宰府市観世音寺1-1-1

印刷 福博総合印刷株式会社